取扱説明書

HITACHI
Inspire the Next

事業所用デジタルコードレス電話システム

デジタルコードレス電話機

ＨＩ－Ｄ１０ＰＳＷＰ

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、内容を理解してからお使いください。
お読みになったあとも、大切に保管し、いつでも見られる場所においてお使いください。

●本製品は日本国外ではご利用できません。
This product is exclusively for use in Japan.

株式会社 日立情報通信エンジニアリング

MANU(Ver1.0)

主な特長

連続通話：約７時間
連続待ち受け：約600 時間
充電は約５時間で完了します。

エコ充電機能
電池残量が少ない時のみ充電する設定にすることによって、充電による消費電力を低減することができます。

メロディ着信
着信音は５種類のトーン、５種類の効果音の他に、１０種類のメロディを着信音に選択することができます。

アンテナサーチ機能
電波の強い接続装置を選択することで、より安定した環境でご利用できます。

電話帳
１０００件までの名前や電話番号などが登録できます（※）。また、簡単に相手の方の電話番号が検索できます。
※電話帳１件につき３番号まで登録できます。

簡易メール送受信機能
全角４０文字（半角８０文字）までの文字情報を送受信できます。

予約アラーム（スケジューラ）機能
予定を登録・管理できます。

留守録（メモ録音）機能
着信に自動応答して、相手の方の用件を録音できます。（１件あたり約１５秒、最大４件）

セキュリティ機能
・ダイヤルロック
・オートロック
・リモートロック
・電話帳アクセス禁止

事業所間ローミング機能
ＰＢＸ（※）（構内交換機：以下、主装置という）が共通線で結ばれている場合、どこの事業所へ行ったときでも、デジタルコードレス電話機で電話をかけたり、受けたりできます。
※ＰＢＸには、クラウド型ＰＢＸを含みます。

ワンタッチ発信機能
よくかける電話番号や特番ダイヤルなどをワンタッチボタンに登録することでクイックダイヤルとして、ワンタッチ発信ができるようになります。

かけ直し応答機能
着信時に会議中などで応答できない時、一時的に相手に応答メッセージを送出して発信者へ知らせることができます。

目次

主な特長 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
目次 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
安全にお使いいただくために必ずお読みください 4
防水のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

第１章　はじめに

付属品を確認する ・・・・・・・・・・・・・・・ 17
デジタルコードレス電話機を使う前に ・・・・ 18
各部の名称と働き ・・・・・・・・・・・・・・・ 19
　電話機本体 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
　充電器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
ＬＣＤ表示部の見かた ・・・・・・・・・・・・ 21
電池パックを取り付ける（交換する） ・・・・ 23
電話機を充電する ・・・・・・・・・・・・・・・ 25
　充電器を使用する場合 ・・・・・・・・・・・ 25
　ＵＳＢケーブルで直接充電する場合 ・・・・ 25
ストラップを取り付ける ・・・・・・・・・・・ 27
電源を入れる ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
アンテナサーチ ・・・・・・・・・・・・・・・・ 28

第２章　基本的な使い方

電話をかける ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
　電話をかける ・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
　ワンタッチキーを使って電話をかける ・・・ 31
　クイックダイヤル設定が「機能あり」の場合 31
　クイックダイヤル設定が「機能なし」の場合 31
電話をかけ直す ・・・・・・・・・・・・・・・・ 32
　発信履歴からかけ直す（リダイヤル） ・・・ 32
　着信履歴からかけ直す ・・・・・・・・・・・ 32
発信履歴／着信履歴を削除する ・・・・・・・ 33
電話を受ける ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
　電話を受ける ・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
　クイックサイレント ・・・・・・・・・・・・ 35
　かけ直し応答 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
電話を保留する／転送する ・・・・・・・・・・ 36
　電話を保留する ・・・・・・・・・・・・・・・ 36
　電話を転送する ・・・・・・・・・・・・・・・ 36

第３章　文字の入力

文字の入力方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 38
ダイヤルボタンと文字の割り当て ・・・・・・ 40

第４章　電話帳の使い方

電話帳を登録する ・・・・・・・・・・・・・・・ 42
発信／着信履歴から電話帳に登録する ・・・・ 45
　新規登録をする場合 ・・・・・・・・・・・・ 45
　追加登録をする場合 ・・・・・・・・・・・・ 46
電話帳のグループを設定する ・・・・・・・・ 47
　グループ名称を設定する ・・・・・・・・・・ 47
　グループ着信音を設定する ・・・・・・・・・ 48
　グループ着信色を設定する ・・・・・・・・・ 49
電話帳を検索する ・・・・・・・・・・・・・・・ 50
　名前検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 50
　グループ検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 51
　電話番号検索 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 52
　メモリ番号検索 ・・・・・・・・・・・・・・・ 53
電話帳を検索して電話をかける ・・・・・・・ 54
電話帳を編集する ・・・・・・・・・・・・・・・ 55
電話帳に個別着信鳴り分けを設定する ・・・・ 56
電話帳を削除する ・・・・・・・・・・・・・・・ 57
電話帳へのアクセスを禁止する ・・・・・・・ 58
電話帳の登録件数を確認する ・・・・・・・・ 59

第５章　簡易メール機能

簡易メールを作成／送信する ・・・・・・・・ 61
簡易メールを閲覧する ・・・・・・・・・・・・ 63
　受信した簡易メールを閲覧する ・・・・・・ 63
　受信／送信ＢＯＸの簡易メールを閲覧する ・ 64
簡易メールを返信する ・・・・・・・・・・・・ 65
簡易メールを再編集する ・・・・・・・・・・・ 67
簡易メールを保護する ・・・・・・・・・・・・ 68
　保護を解除する場合 ・・・・・・・・・・・・ 69
送信ＢＯＸの上書き可否を設定する ・・・・・ 70
簡易メールを削除する ・・・・・・・・・・・・ 71

第６章　時刻アラームと予約アラーム

時刻アラームを設定する ・・・・・・・・・・・ 73
予約アラームを作成する ・・・・・・・・・・・ 75
予約アラームを確認／修正する ・・・・・・・ 78
予約アラームの登録件数を確認する ・・・・・ 79
予約アラームを削除する ・・・・・・・・・・・ 80
　１件削除する場合 ・・・・・・・・・・・・・ 80
　すべて削除する場合 ・・・・・・・・・・・・ 81

目次（つづき）

第７章　留守録・メモ録音機能

留守録を設定する・・・・・・・・・・・・・・・83
メモ録音をする・・・・・・・・・・・・・・・84
留守録・メモ録音を再生する・・・・・・・・・85
留守録・メモ録音を削除する・・・・・・・・・86

第８章　いろいろな機能の設定／登録

待ち受け画面を設定する・・・・・・・・・・・88
画面の明るさを調整する・・・・・・・・・・・89
自分の内線番号を常時表示させる・・・・・・90
使用者名称を設定する・・・・・・・・・・・・91
表示文字を大きくする・・・・・・・・・・・・92
切断理由表示機能を設定する・・・・・・・・・93
不在着信表示機能を設定する・・・・・・・・・94
着信音を設定する・・・・・・・・・・・・・・95
着信音量を調節する・・・・・・・・・・・・・96
受話音量を調節する・・・・・・・・・・・・・97
　通話中／発信中に受話音量を調節する・・・97
　待ち受け中に受話音量を調節する・・・・・97
バイブレータを設定する・・・・・・・・・・・98
キータッチ音が鳴らないようにする・・・・・99
電池アラーム音が鳴らないようにする・・・100
側音を調整する・・・・・・・・・・・・・・101
エコーサプレスを設定する・・・・・・・・・102
ハンドオーバ音が鳴らないようにする・・・103
着信音の鳴動先を設定する・・・・・・・・・104
受話音高域カット機能を設定する・・・・・105
自営システムを切り替える・・・・・・・・・106
パスワードを変更する・・・・・・・・・・・107
ダイヤルロックを設定する・・・・・・・・・109
リモートロックを設定する・・・・・・・・・110
オートロックを設定する・・・・・・・・・・111
キーロックを設定する・・・・・・・・・・・112
いろいろな機能の設定内容を初期化する・・113
　機能設定のみを初期化する・・・・・・・113
　電話帳などすべての設定を初期化する・・114
　初期化対象項目表・・・・・・・・・・・・115
時刻を設定する・・・・・・・・・・・・・・117
エコ充電機能を設定する・・・・・・・・・・118
自分の内線番号を確認する・・・・・・・・・119
ワンタッチ割付設定をする・・・・・・・・・120
サブアドレス付き発信を可能にする・・・・121
クイック応答機能を設定する・・・・・・・・122
クイック発信機能を設定する・・・・・・・・123
着信自動応答を設定する・・・・・・・・・・124
送信パワーダウンを設定する・・・・・・・・125
リモート発信を設定する・・・・・・・・・・126
特番を設定する・・・・・・・・・・・・・・127
ワンタッチ発信ができるようにする・・・・128
かけ直し応答機能を設定する・・・・・・・129
設定内容を確認する・・・・・・・・・・・・130
　表示とその意味・・・・・・・・・・・・・131
マナーモードを設定する・・・・・・・・・・133
電卓を使う・・・・・・・・・・・・・・・・134
電話機を他の事業所で使う・・・・・・・・・135

第９章　ご参考に

故障かな？と思ったら・・・・・・・・・・・137
主な仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・138
索引・・・・・・・・・・・・・・・・・・・139
メニュー一覧表・・・・・・・・・・・・・・141

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この説明書には、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項が示されています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、お買い求めになった販売店にお問い合わせください。

表示・図記号の説明

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	行ってはいけない（禁止）内容を示します。
	分解してはいけない（禁止）内容を示します。
	濡れた手で扱ってはいけない（禁止）内容を示します。
	水に濡らしてはいけない（禁止）内容を示します。
	触れてはいけない（禁止）内容を示します。
	必ず実行していただく（強制）内容を示します。
	電源プラグをコンセントから抜いていただく（強制）内容を示します。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記憶内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、設定されたデータが変化または消失することがありますが、これらのデータ修復により生じた損害・免失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 重要なデータ（登録した方の名前や電話番号など）は紙などに控えておくことをおすすめします。万一、登録されたデータが変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承願います。
- 本書および本製品の内容については、改良・仕様変更のため予告なく変更することがあります。
- 本書に記載されている会社名・製品名等は、各社の商標もしくは登録商標です。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

電話機本体、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）

⚠危険

	●電話機本体の充電等に使用する機器は、必ず専用の機器をご利用ください。専用の機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。 ・電池パック：ＨＩ－Ｄ６ＢＴ ・充電器：ＨＩ－Ｄ８ＣＧ ・充電用ＡＣアダプタ：ＨＩ－ＡＤＰＡ ・充電用ＵＳＢケーブル：ＨＩ－Ｄ１０ＵＳＢＣＢＬ
	●高温になる場所（火のそば、ストーブのそば、直射日光の強い場所、炎天下の車内など）での使用や放置はしないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。 ●ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。 ●充電器用接触端子やその他接続端子をショートさせないでください。また、充電器用接触端子やその他接続端子に誘電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入ったりしないようにしてください。火災や故障の原因となる場合があります。 ●金属製のアクセサリーやストラップをご使用になる場合は、充電の際に充電器や電池パックの端子などに触れないよう、十分ご注意ください。感電・発火・障害・故障の原因となります。 ●電子レンジや高圧容器などの中に入れないでください。発火・破裂・故障・火災の原因となります。 ●火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。
	●分解したり、改造したりしないでください。故障・発火・感電・障害の原因となります。また、本製品を分解したり、改造したりすることは法律で禁止されています。

⚠警告

	●投げつけたり、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・漏液・故障の原因となります。 ●屋外で雷鳴が聞こえた時は使用しないでください。落雷・感電の恐れがあります。 ●充電器用接触端子やその他接触端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・障害・故障の原因となる場合があります。 ●落下などによって破損し、電話機内部が露出した場合、露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをすることがあります。 ●電話機、充電器、AC アダプタの上やそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
	●本製品の本体が濡れている状態で充電しないでください。感電や、電子回路のショートなどによる故障・火災の原因となります。
	●所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

電話機本体、電池パック、充電用機器の取り扱いについて（共通）（つづき）

⚠注意

	●高温になる場所（直射日光のあたる場所や自動車内など）、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。 ●不安定な場所（ぐらついた台の上や傾いた所など）に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。また、衝撃などにも十分ご注意ください。 ●乳幼児の手の届くところには置かないでください。誤って飲み込んで窒息するなど、事故や障害の原因となる場合があります。 ●外部から電源が供給されている状態の電話機本体・電池パック・充電用機器に、長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。 ●本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますのでご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。 ●コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線等で定格を超えると、発熱による火災の原因となります。 ●電池カバーを外したまま使用しないでください。 ●腐食性の薬品のそばや、腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。 ●振動・衝撃の多い場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 ●調理台や加湿器のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。 ●電話機、充電器、AC アダプタや電源コードを熱器具に近づけないでください。電話機、充電器、AC アダプタの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
	●子供が使用する場合は、危険な状態にならないように保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても指示通りに使用しているかをご注意ください。けがの原因となります。 ●使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きた場合は、すぐに使用するのをやめてください。異常が起きたときに、充電中であれば充電用機器をコンセントから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して修理に出してください。

電話機本体の取り扱いについて

⚠警告

	●自動車・原動機付自転車・自転車運転中に使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律等で罰せられる場合があります。 ●航空機内での使用は法律で禁止されています。電源をお切りください。 ●ストラップを持って本電話機を振り回さないでください。本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障・破損の原因となります。 ●医療用電子機器（心臓ペースメーカ等）を装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。本電話機を医療用機器などの近くで使用すると、電波の影響で医療用電気機器などの誤作動や故障の原因となる恐れがあります。 ●本電話機の隙間などに金属や異物を差し込まないでください。感電や故障の原因となります。 ●歩行中に使用しないでください。転倒、交通事故などの原因となることがあります。 ●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源を切り、電池パックを外して修理に出してください。
	●高精度な電子機器の近くでは本電話機の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与える恐れがある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他医療用電子機器・火災報知機・自動ドアなど。医療用電子機器をお使いの場合は、機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。） ●病院内でのご利用にあたっては、必ず、医療機関の指示に従ってください。医療用電子機器に影響をおよぼす場合があります。 ●満員電車の中などの混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本電話機の電源を切るよう心がけてください。 ●心臓の弱い方は着信音量やバイブレータの設定に注意してください。着信音や振動が身体に影響を与える原因になります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

電話機本体の取り扱いについて（つづき）

⚠注意	
🚫	●磁気カードなど（キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスク）を本電話機に近づけないでください。磁気データが消えてしまうことがあります。 ●ズボンなどの後ろポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。破損や故障の原因となります。 ●本電話機を胸ポケットに入れたままかがまないでください。本電話機が落下して、故障あるいは人に当たり、けがの原因となることがあります。 ●本電話機に乗らないでください。転倒や破損など、けがや故障の原因となることがあります。 ●電話機本体のアンテナを誤って目にささないようにしてください。
❗	●自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。 ●外部から電気雑音の影響を受けて、通話中にノイズが入ったり、通話ができなくなることがあります。このようなときは、本電話機を雑音源から遠ざけてください。雑音源としては、テレビ・ラジオ・パソコン・ファクシミリ・複写機などのＡＶ・ＯＡ機器および自動車・オートバイなどがあります。 ●本電話機は、電波障害や電池消耗の影響を受けますので、主装置などのオフィスシステムの補助的なものとしてご使用ください。本電話機だけでは重要な連絡が取れなくなる場合があります。

電池パックの取り扱いについて

⚠危険	
🚫	●電池パックの（＋）と（－）の端子を針金などの金属類などで接続しないでください。電池パックがショート状態となり、過大な電流が流れ、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。また、金属製ネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。 ●電池パックを電話機本体に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・発熱・火災の原因となります。また、うまく接続できないときは、無理せず接続部を十分確認してから接続してください。 ●くぎを刺したりハンマーで叩いたりしないでください。発火や破損の原因となります。 ●落としたり、踏みつけたりしないでください。 ●破損や漏液した電池パックを使用しないでください。 ●火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所や炎天下などでの使用、放置はしないでください。 ●火の中に投げ入れたり、加熱しないでください。絶縁物が溶けたり、電解液に引火したりして、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。
❗	●内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、障害を起こす恐れがあるので、すぐに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明の恐れがあるので、こすらずに、水で洗った後すぐに医師の診断を受けてください。 ●電池パックの充電には、必ず専用の充電用機器を使用してください。改造した充電器などを使用すると、電池パックが過度に充電されたり、異常な電流で充電されたりして、電池パック内部で異常な化学反応が起こり、発熱・発煙・破裂・発火の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

電池パックの取り扱いについて（つづき）

	●電池パック内部の液が漏れだした場合は、絶対に素手で触れないでください。素手で触るとやけどをする場合があります。また、目に入った場合は失明の恐れがあるので、こすらずに、水で洗った後すぐに医師の診断を受けてください。
	●分解・改造したり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛びだし、目に入ったりして、失明などの事故や、発熱・発火・破裂の原因となります。
	●水や海水、ペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。発熱・発煙・破裂・発火や感電・故障の原因となります。誤って水などに落としたときは、すぐに電源を切り、電池パックを外してください。濡れた電池パックは使用や充電をしないでください。

⚠警告	
	●漏液したり、異臭がするときはすぐに火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火・破裂の原因となります。 ●電池パックには寿命があります。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですので、ご使用をおやめになり、新しい専用の電池パックと交換してください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態により異なります。
	●濡れた手で電池パックを交換しないでください。発火や故障の原因となります。

⚠注意	
	●一般のごみと一緒に捨てないでください。発火・環境破壊の原因となることがあります。不要になった電池パックは、お買い求めの販売担当者にお渡しいただくか、電池パックの端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワーク・マークのあるお店にお持ちください。または、回収を行っている市町村の指示に従ってください。
	●電池パックの充電温度範囲は０℃～４０℃です。この温度範囲以外で充電すると、液漏れや発熱の原因となったり、電池パックの性能や寿命を低下させることがあります。

充電用機器の取り扱いについて

⚠警告	
	●電源コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだコードは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。 ●充電器の接触端子に、手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・障害・故障の原因となる場合があります。 ●電源端子を絶対にショートさせないでください。故障・けが・感電・火災の原因となります。 ●雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。 ●湿気の多い場所（風呂場など）では絶対に使用しないでください。感電の原因になります。 ●充電中は充電用機器を安定した場所においてください。また、布や布団で覆ったり包んだりしないでください。電話機本体が外れたり、熱がこもり、火災・故障の原因となります。 ●充電用機器のすきまなどに金属や異物を圧し込まないでください。感電や故障の原因となります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

充電用機器の取り扱いについて（つづき）

	●ＡＣアダプタには必ず、日本国内家庭用ＡＣ１００Ｖをご使用ください。誤った電圧で使用すると、発火・火災・発熱・感電などの原因となります。 ●電源プラグはコンセントに確実に根元まで差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。 ●電源プラグについたほこりは拭き取ってください。火災の原因となります。
	●長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。 ●お手入れをするときには、充電用機器の電源プラグをコンセントから抜いてください。抜かないでお手入れすると、感電やショートの原因となります。 ●万一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。感電・発熱・火災の原因となります。 ●充電用機器から煙が出たり、異臭がするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、安全な場所に移動してください。そのままご使用になると、火災や感電の原因となります。また、お客様による修理は危険ですので、絶対におやめください。
	●分解・改造はしないでください。感電・火災・故障の原因となります。
	●充電用機器は濡らさないでください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、充電中に液体がかかってしまった場合には、すぐに電源プラグを抜いてください。
	●濡れた手で充電用機器やコンセントに触れないでください。感電の原因となります。

⚠注意	
	●充電器を床に放置しないでください。踏みつけたり、転倒した際に、けがや事故などの原因となります。 ●ＡＣアダプタのコードの上に重いものを載せたり、改造しないでください。感電や火災の原因となります。 ●濡れた電池パックを充電しないでください。発熱・発火・破裂の原因となります。
	●充電用機器の電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷する恐れがあります。

安全にお使いいただくために必ずお読みください（つづき）

取扱い上のお願い

●本製品は総務省の技術基準に適合しています。製品に貼り付けてある銘板をはがさないでください。製品を分解して改造することは法律により禁止されています。不法に改造を加えてご使用になると、法律により罰せられることがあります。

●本電話機はデジタル信号を利用した傍受されにくい製品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合には、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してお使いください。

●多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣服のポケットに入れて座ると、液晶画面・内部基板などの破損・故障の原因となります。無理な力がかかるような場所には置かないでください。

●落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

●お手入れは、乾いた柔らかい清潔な布を使用してください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤を布にふくませ、かたく絞ってから拭いてください（コネクタ部は除く）。ベンジンやシンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色や変形の原因となることがあります。

●いちじるしく温度の高くなるところや、逆に極端に低くなるところではお使いにならないでください。

●寒い戸外から急に暖かい室内に本電話機を持ち込むと、急激な温度変化により、本体内部に水滴がつくことがあります。これを、結露といいます。結露が生じたときは、電源を切って、水滴が蒸発するまでしばらく放置しておいてください。結露したままでお使いになると、故障の原因となります。

●水滴がついたときは、なるべく早く乾いた布などで拭き取ってください。レシーバやマイクに水滴がついたままでお使いにならないでください。そのまま放置すると、水滴が内部に入り込み、錆びや腐食、故障の原因となります。

●塵、ほこり、鉄粉、有害ガスなどが発生する場所への設置は避けてください。故障の原因となります。

●温泉地など、硫化水素の発生するところや、海岸などの塩分の多いところなど腐食性ガスが発生する場所に設置した場合、動作の保証は致しません。また、本電話機の寿命が短くなる恐れがあります。

●本電話機を汚れやすいところに置かないでください。

●電気製品・ＡＶ・ＯＡ機器など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところ、高周波を発する機器(超音波洗浄器、超音波溶接機、超音波ミシン等)があるところに置かないでください（コンピュータ、電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジは影響を受けることがあります）。テレビ、ラジオに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。また、テレビやラジオの電波が強すぎるときは、本電話機が使用できないことがあります。

●周囲の環境(壁、金属製のドア、家具など)によっては使用範囲が狭くなります。本電話機のＬＣＤ表示上で電波表示を確認して通話できる範囲を確かめてください。また、通話も電波の状態の良好なところで行ってください。

●電池パックは長時間使用しない場合でも、６ヶ月に一度は充電してください。

●本品を廃棄時にはデータの初期化や物理的な破壊をした上で廃棄してください。

●アンテナは物にあてたり、無理な力を加えないでください。破損してしまうことがあります。

●長期間(1～2 ヶ月以上)使用しないときは、電池パックの劣化を防ぐため,電話機本体から電池パックを外して保管してください。

●水につけたりしないでください。また、水などの水滴がかからないようにしてください。

●汗や水がついたときには、すぐに乾いた柔らかい清潔な布で拭いてください。

防水のご注意

電話機本体は、電池カバーを取り付けてヘッドセットジャックおよびＵＳＢコネクタのキャップをしっかり閉めた状態で、IPX5 相当/IPX7 相当の防水性能（当社試験方法による）を有しておりますが、これは完全防水を保証するものではありません。下記の注意事項をお読みのうえ、適切な方法でご利用されるようお願いいたします。

防水性能について

IPX5 相当の防水性能

防水性能 IPX5 相当とは、本電話機の電池カバーを取り付けて、ヘッドセットジャックのキャップおよびＵＳＢコネクタのキャップをしっかり閉めた状態で、内径 6.3mm のノズルを用いて、約 3m の距離から約 12.5 リットル/分の水を 3 分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての機能を保つことを意味します。

IPX7 相当の防水性能

防水性能 IPX7 相当とは、本機を常温の水道水、かつ水深 1m の静水に、電池カバーを取り付けて、ヘッドセットジャックのキャップおよびＵＳＢコネクタのキャップをしっかり閉めた状態で静かに沈め、30 分間放置後に取り出した後に電話機としての機能を保つことを意味します。

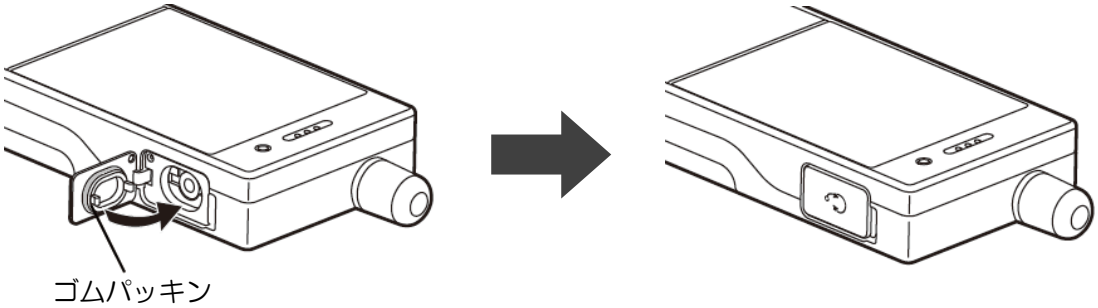
※耐水圧設計ではありませんので、高い水圧で水をかけたり、長時間水中に放置したりなどはしないでください。
　実際の使用に当たって、すべての状況で動作を保証するものではありません。修理依頼時などに調査した結果、お客様の不適切な使用による故障と判明した場合には、保証対象外となります。

ご使用の前には

防水性を保持するために、キャップ周辺部分にゴムパッキンが付いていることを確認してから、しっかりと閉じてください。

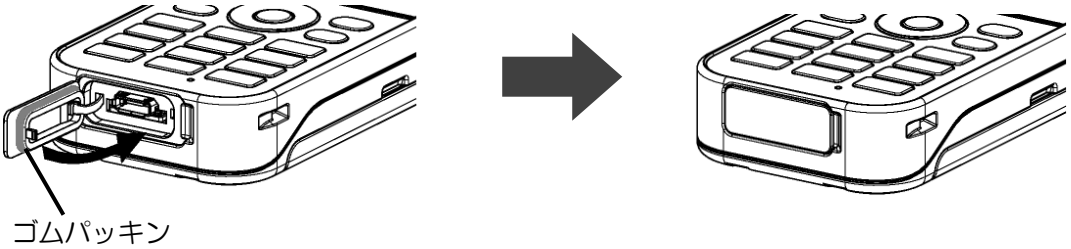
●ヘッドセットジャックのキャップ

キャップを押し込む。　　きちんと閉まっていることを確認する。



●ＵＳＢコネクタのキャップ

キャップを押し込む。　　きちんと閉まっていることを確認する。

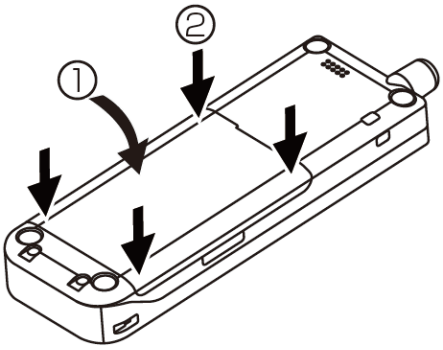


防水のご注意（ＨＩ－Ｄ１０ＰＳＷＰ）（つづき）

ご使用の前には（つづき）

●電池カバー

電池カバーを閉じ、四隅を上から押してしっかりと閉めてください。
（電池パックのコードを挟まないように十分注意してください。）



ご注意

●電池カバーを閉じるときに、電池パックのコードを挟まないように十分注意してください。

●電池カバー、ヘッドセットジャックおよびＵＳＢコネクタのキャップの開閉などをするときはしっかりと閉じて使用してください。また、電池カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。

●ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ（髪の毛１本、砂粒１個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となります。微細なゴミが付着している場合には、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

防水のご注意（ＨＩ－Ｄ１０ＰＳＷＰ）（つづき）

防水上の注意事項

●電池カバーを電話機に取り付けてください。またヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップをしっかり閉めてください。電池カバーやキャップが浮いているところがないことを確認してからご使用ください。すき間に髪の毛１本程度の微細なものでも挟まった場合、水が付着した際に本体内部に浸水することがあります。

●電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、本体内部に浸水し、感電や故障の原因となることがあります。その場合には、使用を中止し、電源を切り、電池パックを外し、販売店へご連絡ください。

●水につけた状態では使用（キャップ等の開閉やキー操作も含む）しないでください。また水中に長時間放置しないでください。故障の原因になります。本電話機は水に浮きません。

●手が濡れているときや本電話機に水滴が付いている状態で、電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップの開閉をしないでください。

●電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップのゴムパッキンに水滴や汚れ、砂粒、泥などがわずかでも付着している場合、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

●海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品などの入った水には絶対につけないでください。もし、誤って付着した場合、そのままにせず、すみやかに洗面器などに溜めた水道水で洗ってください。洗う際にはブラシなどは使用せず､電池カバーをしっかりロックした状態で､ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップが開かないように押さえたままで洗ってください。 また、蛇口からの流水は直接当てないでください。洗濯機や超音波洗浄機等で洗わないでください。

●受話口（レシーバ）、送話口（マイク）、スピーカなどを先がとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる原因となります。

●受話口（レシーバ）送話口（マイク）、スピーカに水滴を残さないでください。通話不良の原因となる恐れがあります。

●電話機本体は耐熱設計ではありません。熱湯をかけたり、サウナで使用したり、またドライヤーなどの熱風を当てたりしないでください。

●電話機本体は防湿設計ではありません。お風呂場、キッチンなど、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

●電話機本体の防水性能は、常温の真水・水道水にのみ対応しています。

●電話機本体を落下させると、衝撃により傷の発生や防水性能を劣化させることがあります。落下して本電話機が破損した場合には、防水性能の保証を負いかねます。取扱いには十分ご注意ください。

●電池カバーが破損した場合には内部に水が入り、感電や電池の腐食など故障の原因となります。その場合は販売店に相談してください。

●充電器、AC アダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。水分や湿気のある場所で使用しないでください。また、電話機が濡れたまま充電は絶対にしないでください。

防水のご注意（ＨＩ－Ｄ１０ＰＳＷＰ）（つづき）

濡れたとき

電話機本体が濡れたときには、乾いた手で、乾いた柔らかい清潔な布をご使用の上、次の手順で丁寧に拭いてください。

拭き取れなかった水があとから漏れてくる場合がありますので、送話口（マイク）、受話口、スピーカに水滴が残らないようにしてください。

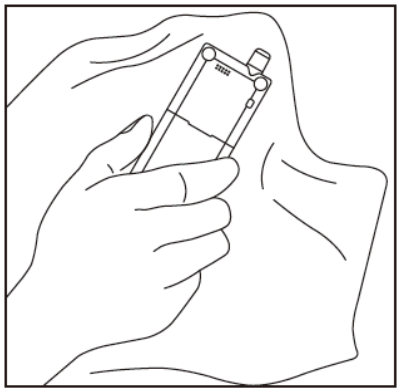
①電源を切る。

②電話機表面の水分を乾いた清潔な布などでよく拭き取る。

③送話口（マイク）、受話口、スピーカなどの穴に水滴が溜まっていることがありますので、開口部に布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

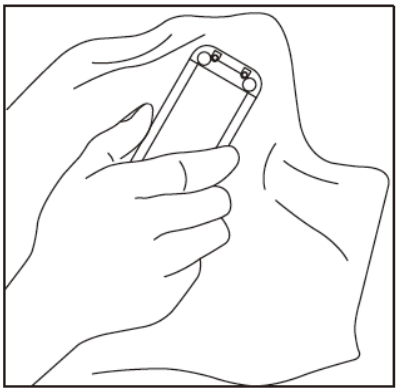
※水が抜けない場合は音が聞こえづらいことがありますので、再度布などを当て、軽くたたいて水を出してください。

●受話口（レシーバ）の場合



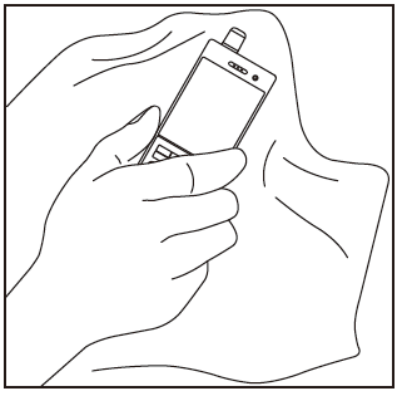
電話機本体を持ち、軽くたたいて受話口（レシーバ）に入った水を布で拭き取ってください。

●送話口（マイク）の場合



電話機本体を持ち、軽くたたいて送話口（マイク）に入った水を布で拭き取ってください。

●スピーカの場合



電話機本体を持ち、軽くたたいてスピーカに入った水を布で拭き取ってください。

④電話機本体全体を拭き取り、数時間自然乾燥させる。

⑤電源を入れる。

ご注意

●長時間水中に放置した場合、マイク穴などに溜まった水が抜けにくいことがありますので、その場合は乾いた布などでよく拭き取った後、数時間程度乾かしてから使用してください。

●充電端子、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタがショートする恐れがあるため、水滴が付着したまま放置しないでください。また、濡れている状態で充電しないでください。

●寒冷地で本電話機に水滴が付着したまま放置すると凍結することがあります。凍結した状態で使用すると故障の原因になりますので、水分が付着したら必ず拭き取ってください。

●電話機本体に水滴が付着した状態で放置しないでください。その際、本電話機を落下させないよう十分注意してください。払い落とせず残った水分は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

●電話機本体に水や雪がついた状態のままにすると、本体に付着した水や、すき間にたまった水で服やバッグを濡らす場合がありますのでご注意ください。

●電子レンジ、オーブンやドライヤー等で絶対に乾燥させないでください。

●受話口（レシーバ）、送話口（マイク）、スピーカが濡れていると音が聞こえづらくなりますので、しっかり乾燥させてから、ご使用ください。

防水のご注意（ＨＩ－Ｄ１０ＰＳＷＰ）（つづき）

洗う

●汚れた場合、洗面器などに溜めた水道水で洗うことができます。

●洗う際にはブラシなどは使用せず、電池カバーをしっかり閉じた状態で、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップが開かないように手で押さえたまま洗ってください。

●耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。また、洗面器などの水の中に長時間放置しないでください。

●電話機本体は水に浮きません。水の中に投げ入れたりせずに、手で持った状態で取り扱ってください。

●電話機本体を洗濯機や超音波洗浄機や食器洗い機などに入れて洗わないでください。

充電する際の注意事項

●充電器、AC アダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。充電時および充電後には、必ず次の点を確認してください。

●水に濡れた後に充電する場合は、乾いた柔らかい清潔な布で水を拭き取ってから充電してください。

●電話機本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や本体内部の回路がショートするなどして、火災や故障の原因になります。

●充電器・AC アダプタを濡れた手で触れないでください。感電の原因となります。

●充電器・AC アダプタは水のかからない場所で使用してください。濡れた状態で使用すると、火災・感電の原因となります。

●充電器・AC アダプタは、お風呂場、キッチン、サウナ、洗面所などの水周りや湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

●充電時は、専用充電器をご使用ください。

ゴムパッキンについての注意事項

電話機本体の電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップの周囲のゴムパッキンは、防水性能を保持するために非常に重要な役割を果たします。そのため以下の点に注意してください。

●ゴムパッキンをはがしたり、傷付けたりしないでください。

●電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップを閉める際は、ゴムパッキンを挟み込まないよう注意してください。挟み込んだまま無理やり閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水性能が保持できなくなる場合があります。

●常温の真水や水道水以外の液体（海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品、汗などの入った水）が付着すると、防水性能を維持できなくなる場合があります。

●電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ（髪の毛１本、砂粒１個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となることがあります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

●電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップのすき間に、先のとがったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つく恐れがあり、本体内部に浸水する原因となります。

●電池カバー、ヘッドセットジャック、ＵＳＢコネクタのキャップを閉じるときは、ゴムパッキンが付いていることを確認してください。

ご注意

●防水性能を維持するために、異常の有無に関わらず定期的なメンテナンスをお勧めします。

●メンテナンスは有償にて承ります。詳しくは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

第１章

はじめに

デジタルコードレス電話機の各部の名称と働きや準備の仕方を説明します。初めてお使いになる前に、各ボタンの役割を確認しましょう。

付属品を確認する

初めてお使いになる前に、付属品がすべてそろっているか確認してください。
万一、足りないものがあったときは、お買い求めになった販売店などへご連絡ください。

付属品一覧

電池パック ・・・・・・・・・・・・・・・・・ １個
充電器 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １台
充電用ＡＣアダプタ ・・・・・・・・・・・ １個
充電用ＵＳＢケーブル ・・・・・・・・・・ １本
簡易取扱説明書・保証書 ・・・・・・・・・ １部

デジタルコードレス電話機を使う前に

デジタルコードレス電話機をはじめてお使いになる前にお読みください。

■接続装置について

接続装置とは、デジタルコードレス電話機と主装置間の接続をするための装置です。１つの接続装置で同時に３台までのデジタルコードレス電話機が利用できます。

接続装置のランプにより接続装置の状態がわかります。電話がかからないときなどに、確認してください。

緑色に点灯：正常です。
緑色に点滅：回線がふさがっています。このときは、他の接続装置の近くでかけ直すか、緑色の点灯に変わってから、かけ直します。
赤く点灯　：この接続装置の使用は禁止されています。使用できるようにするには、主装置側で禁止の設定を解除します。
赤く点滅　：故障しています。
橙色に点灯：保守モードです。
消　　灯　：電源が供給されていません。

■１つの接続装置の近くから他の接続装置の近くにお話しをしながら移動するときは

接続装置の切り替えが自動的に行われます。接続装置が近くにあるところへならお話ししながら自由に移動できます。接続装置を切り替えているときには、レシーバから「プップップ…」という音が聞こえることがありますが、相手の方には聞こえません。どの接続装置からも離れてしまうと、表示部の が消えて（ ···· ）の表示となり、電話は切れてしまいます。接続装置の近くで電話をかけ直してください。

「プップップ…」という音は、デジタルコードレス電話機が無線回線を探しているときに聞こえます。移動していないときでも、使用中の回線に雑音が入り、お話しができなくなると、「プップップ…」という音が聞こえ、別の回線に接続してお話しを続けられるようにします。

お話ししているとき、移動しなくても無線回線の品質が劣化すると「プップップ…」という音が聞こえ、接続装置を切り替えます。

■通話できる範囲から外れたときは（圏外）

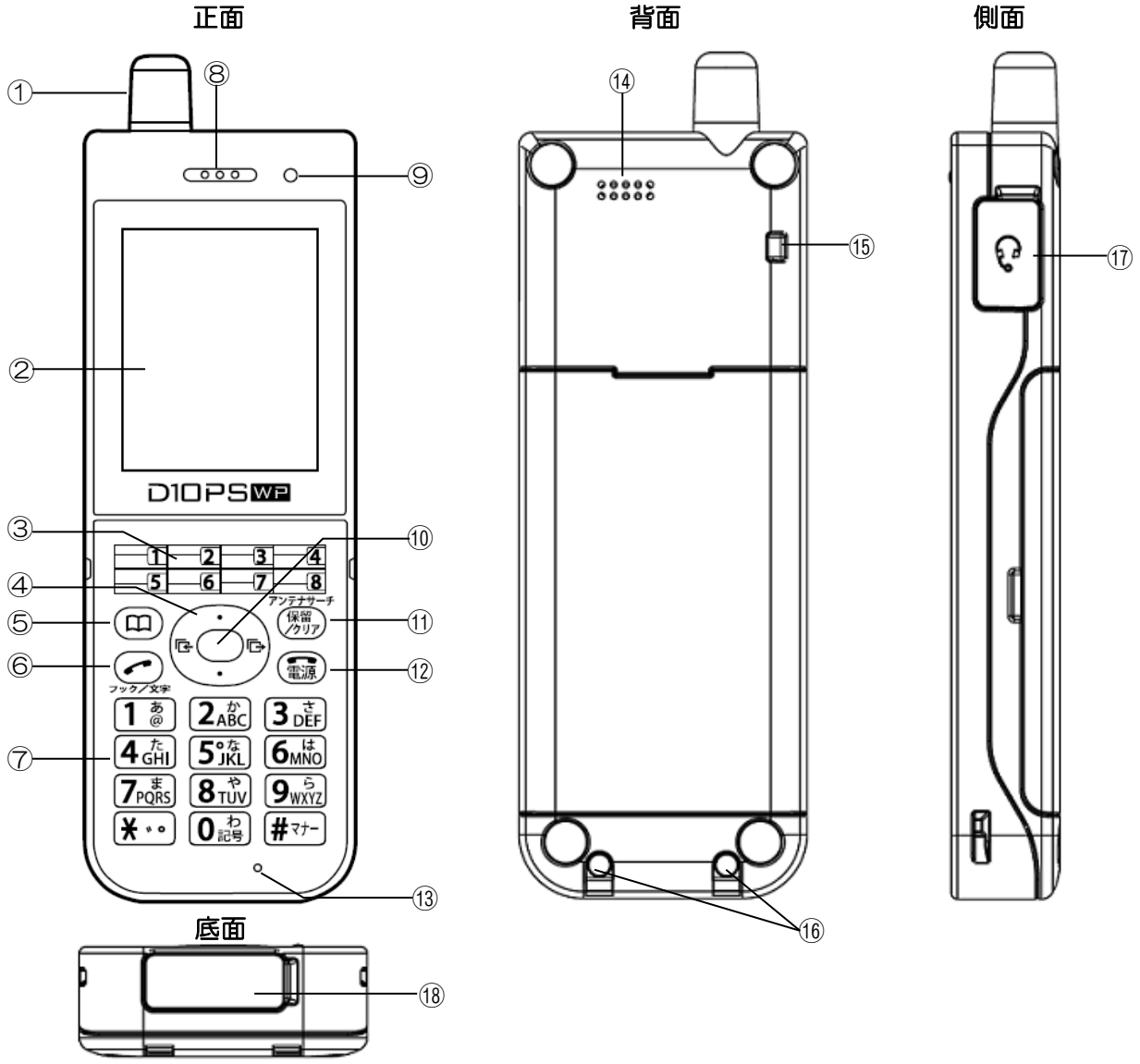
接続装置から離れていると、デジタルコードレス電話機の表示部の が消えて（····）の表示となり、電話をかけることができません。電話をかけるときは、接続装置に近づいてください。（ または「 」、「 」）が表示されてから電話をかけてください。

■お話し中に電池の残量がなくなったときは

「ピピピッ」という警報音が鳴り、その後、約１分で通話が切れますのでご注意ください。
通話が切断後は、表示部に「充電してください」というメッセージが現れます。

各部の名称と働き

電話機本体



①アンテナ

②ＬＣＤ表示部

③ワンタッチキー
よくかける電話番号や特番ダイヤルなどを登録することによりクイックダイヤルとしてお使いになれます。

④カーソルキー
発着信履歴の表示や、機能設定項目の選択、音量調節、文字の変換などで使用します。

⑤電話帳
電話帳を使用するとき、また、機能設定の際のサブメニュー画面表示にも使用します。

⑥通話／フック／文字ボタン
電話をかけたり受けたりするとき、また、文字入力中の入力モード選択（漢字、カナ、英字、数字等）に使用します。
通話中、２秒以上長押しでフッキングになります。

⑦ダイヤルボタン
電話番号や文字を入力するときに使用します。また、マナーモードやダイヤルロックの設定に使用します。

各部の名称と働き（つづき）

電話機本体（つづき）

⑧受話口（レシーバ）

⑨着信／充電ランプ
着信がきたときに赤色点滅します。
充電中は赤色点灯、充電完了で消灯します。

⑩センターキー
メインメニューを表示するときや、画面に表示された項目を決定するときに使用します。
また、キーロックの設定をするときに使用します。

⑪保留／クリアボタン／アンテナサーチ
通話中の保留、文字入力中のクリア、メニュー画面でのクリアなどで使用します。また、アンテナサーチや特番を追加するときに使用します。

⑫切／電源ボタン
通話を切るときや、着信音を一時的に停止するとき、かけ直し応答メッセージを流すときに使用します。
また、登録や設定中、操作を中止するときに使用します。
電源をＯＮ／ＯＦＦするときは、２ 秒以上長押しします。
ＬＣＤ表示部が全点灯状態で、電源ボタンを短く押すと、ＬＣＤ表示部およびバックライトを強制的に消灯することができます。

⑬送話口（マイク）

⑭スピーカ

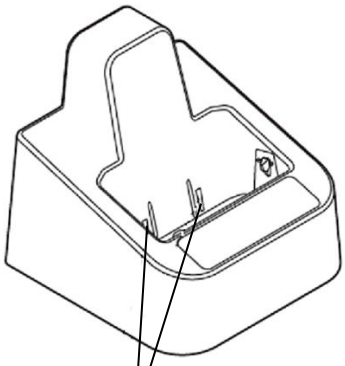
⑮ストラップ取付穴

⑯充電端子

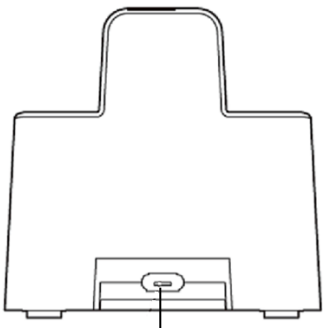
⑰ヘッドセットジャック
専用のヘッドセットやヘッドセットアダプタを接続できます。

⑱ＵＳＢコネクタ
充電をするときや、パソコンと接続するときに使用します。

充電器

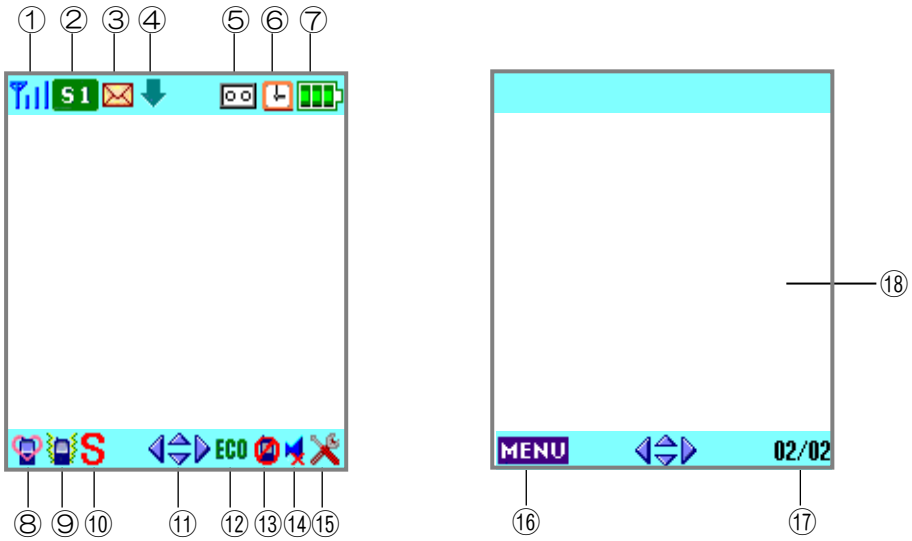


充電端子
電話機の充電端子に接触して、電池パックを充電します。



ＵＳＢコネクタ
充電用ＵＳＢケーブルを接続します。

ＬＣＤ表示部の見かた



① ....

電波の受信レベルを示します。電波の強い順に、～（強い～弱い）。 .... は圏外です。
アンテナサーチをしている間は が点滅します。
「アンテナサーチ」⇒２８ページ

② S1

システム１で動作していることを示します。

S2

システム２で動作していることを示します。
「自営システムを切り替える」⇒１０６ページ

③

受信ＢＯＸに未読の簡易メールがあることを示します。また、点滅している場合は、受信ＢＯＸが最大保存数（５０件）に達しています。
「簡易メール」⇒６１ページ

④

送信パワーダウンが機能ありに設定されていることを示します。
「送信パワーダウンを設定する」⇒１２５ページ

⑤

留守録が機能ありに設定中であることを示します。点滅している場合は、留守録保存数が最大保存数（４件）に達しています。
「留守録機能」⇒８３ページ

⑥

時刻アラームが機能ありに設定されていることを示します。
「時刻アラーム」⇒７３ページ

⑦

電池残量を示します。 が点滅しているときは残量がほとんどない状態です。 は充電中です。
「電話機を充電する」⇒２５ページ

⑧

マナーモードが設定されていることを示します。
「マナーモードを設定する」⇒１３３ページ

⑨

バイブレータが設定されていることを示します。
「バイブレータを設定する」⇒９８ページ

ＬＣＤ表示部の見かた（つづき）

⑩ S

着信音量がレベル０、またはクイックサイレントが設定されていることを示します。（サイレント着信）

「着信音量を調節する」⇒９６ページ

⑪

方向キーが有効であることを示します。（有効な方向のカーソルピクトのみ表示します）

⑫ ECO

エコ充電機能が機能ありに設定されていることを示します。

「エコ充電機能を設定する」⇒１１８ページ

⑬

キーロックが設定されていることを示します。

「キーロックを設定する」⇒１１２ページ

⑭

着信音鳴動指定機能がヘッドセットに設定されていることを示します。

「着信音の鳴動先を設定する」⇒１０４ページ

⑮

電池交換時期、防水部品交換時期になったことを示します。

「電池パックを取り付ける」⇒２３ページ

⑯ MENU

サブメニューボタンが有効であることを示します。

⑰ 02/02

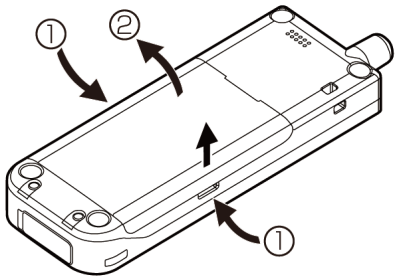
機能設定や電話帳などが、複数ページになる場合に表示します。

⑱表示欄

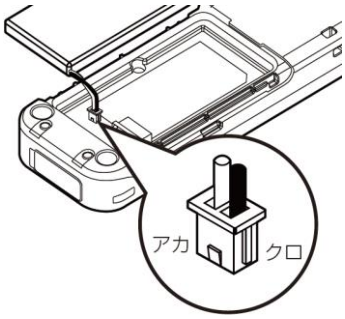
機能設定メニューや電話番号などが表示されます。

電池パックを取り付ける（交換する）

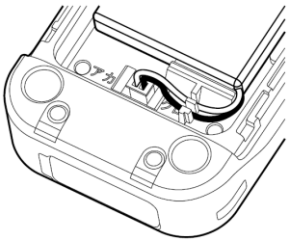
1 両サイドにある電池カバーの凹み①を片方ずつ指をかけて、少し上に持ち上げて、②の方向にカバーを開けます。



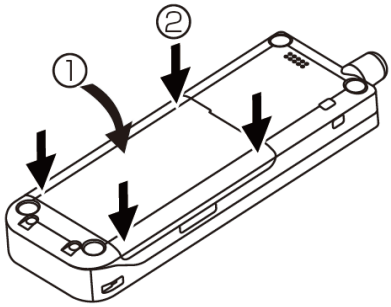
2 電池パックのコネクタを電話機に差し込む。（コネクタの向きに注意して、奥までしっかりと差し込んでください。）
その後、電池パックのラベル面を表にし、斜めからクッションに押しつけるようにして電話機に収納してください。



3 電池パックのコードを 2 か所の溝に通して収納してください。電池パックのコードを配線する際は、電池パックのコネクタの根元から曲げず、ゆとりを持たせて配線してください。



4 電池カバーを電話機と水平に置き①、四隅②を上から押してしっかりと閉めてください。（電池パックのコードを挟まないように十分注意してください。）



⚠ 危険

- ●電池パックはショートしないようにしてください。火災、感電の原因となります。
- ●電池パックの外装カバー（被覆、チューブなど）を剥がさないでください。
- ●電池パックを分解しないでください。

ご注意

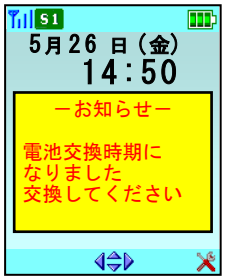
- ●電池パックを取り外す時は、電池パックのコードを持ってゆっくりと垂直に引き抜いてください。
- ●電池パックのコネクタは向きを間違えないようにして、しっかり差し込んでください。
- ●専用の電池パック以外は使用しないでください。故障の原因となります。
- ●電池カバーを閉じるときに、電池パックのコードを挟まないように十分注意してください。
- ●充電しながら通話等を頻繁に行うと、電池パックの寿命が短くなる場合があります。

電池パックを取り付ける（交換する）（つづき）

お知らせ

●電池パックの寿命は使い方によって異なりますが、約１年程度使用できます。また、電池パックの使用条件によっては、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上に問題はありません。この場合は早めに新しい専用電池パック（ＨＩ－Ｄ６ＢＴ）に交換してください。

●電池パックを接続し、最初の時刻設定をしてから約２年経過すると、電池パックの交換を促す右記画面が表示されます（画面の下に「 」が表示されます）。



お願い

電池パックはリサイクル可能なリチウムイオン電池です。交換の際はお買い求めの販売担当者にお渡しいただくか、電池パックの端子にテープなどを貼り、絶縁してから、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワーク・マークのあるお店にお持ちいただくなどリサイクルにご協力ください。または、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

種　　類　：リチウムイオン電池
定格電圧　：ＤＣ３．７Ｖ
定格容量　：７２０ｍＡｈ

電話機を充電する

電池パックを充電するときは、必ず専用の充電用機器をお使いください。はじめてお使いになるときや、新しい電池パックに交換したときは、必ず５時間以上充電してください。
また、電池パックだけでは充電できません。電話機に取り付けて充電してください。

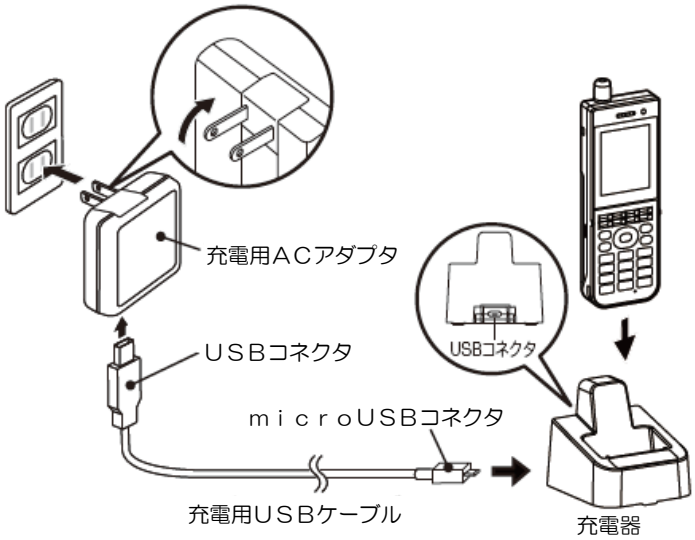
充電器を使用する場合

①充電用ＵＳＢケーブルのｍｉｃｒｏＵＳＢコネクタを、充電器のＵＳＢ端子に、コネクタの向きに注意して奥まで差し込む。

②充電用ＵＳＢケーブルのＵＳＢコネクタを、充電用ＡＣアダプタに、コネクタの向きに注意して奥まで差し込む。

③充電用ＡＣアダプタをＡＣコンセント（ＡＣ１００Ｖ）に差し込む。

④充電器に電話機を差し込む。
・「着信／充電ランプ」が赤く点灯します。
・「着信／充電ランプ」が消えたら、充電完了です。充電完了時間の目安は約５時間です。



ＵＳＢケーブルで直接充電する場合

①電話機のＵＳＢコネクタキャップを開ける。

②充電用ＵＳＢケーブルのｍｉｃｒｏＵＳＢコネクタを、電話機のＵＳＢ端子に、コネクタの向きに注意して奥まで差し込む。

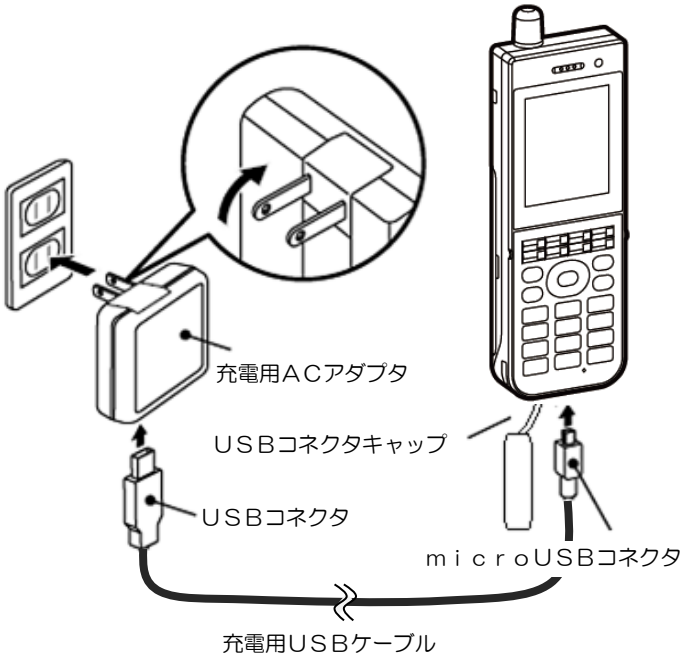
③充電用ＵＳＢケーブルのＵＳＢコネクタを、充電用ＡＣアダプタに、コネクタの向きに注意して奥まで差し込む。

④充電用ＡＣアダプタをＡＣコンセント（ＡＣ１００Ｖ）に差し込む。（「ピー」と鳴ります。）
・「着信／充電ランプ」が赤く点灯します。
・「着信／充電ランプ」が消えたら、充電完了です。充電完了時間の目安は約５時間です。

⑤充電が完了したら、充電用ＡＣアダプタをＡＣコンセントから外す。（「ピピ」と鳴ります。）

⑥充電用ＵＳＢケーブルをＡＣアダプタと電話機から外す。

⑦電話機のＵＳＢコネクタのキャップをしっかりと閉める。



電話機を充電する（つづき）

補足説明

●電池残量

：レベル３（十分使用できます）

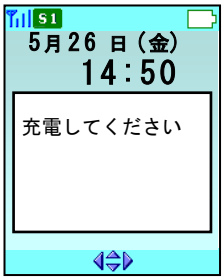
：レベル２（まだ使用できます）

：レベル１（少なくなっています）

：残量なし（充電してください）

：充電中

●待ち受け中に電池の残量がなくなると、「ピー」という警告音が鳴り、画面には電池ピクトが点滅し、「充電してください」と表示します。通話中に電池の残量がなくなると、レシーバより「ピピピッ」という警告音が鳴り、約１分後に通話が切れます。



●電池アラーム音の設定を「アラーム音なし」に設定しているとき、マナーモードを設定しているときは、電池アラームの警告音が鳴りません。電池アラーム音については「電池アラーム音が鳴らないようにする」（１００ページ）、マナーモードについては「マナーモードを設定する」（１３３ページ）をご覧ください。

●電話機の電源が入っていないとき、マナーモードを設定しているときは、ＵＳＢ接続音／取り外し音は鳴りません。マナーモードについては「マナーモードを設定する」（１３３ページ）をご覧ください。

ご注意

●極端に使用時間が短くなったときは、電池アラーム音が鳴るまで電池パックを使ってから充電してください。これを２、３度繰り返しても、使用時間が回復しないときは、電池パックの寿命です。新しい電池パック（ＨＩ－Ｄ６ＢＴ）をお買い求めください。

●充電器の底面にゴムを取り付けています。ゴムとの接触面がまれに変色することがありますので、ご注意ください。

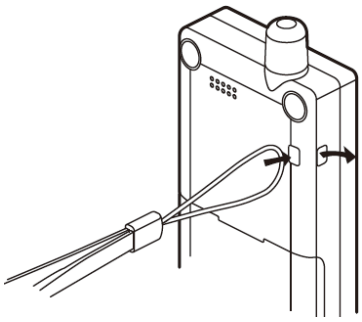
お願い

●充電器・ＡＣアダプタは周囲温度が０℃～４０℃の範囲内でお使いください。電話機を充電するとき、充電ランプが赤く点灯し充電が始まることを確認してください。

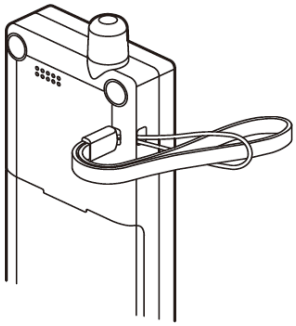
●電話機や充電器の充電端子部分が汚れていると、電話機の電源が入らなかったり、途中で切れたり、充電できなかったりすることがあります。このようなことがないように、これらの端子部分を月に一度乾いた布や市販の綿棒などで清掃してください。その際は、洗浄液などは使わないでください。

ストラップを取り付ける

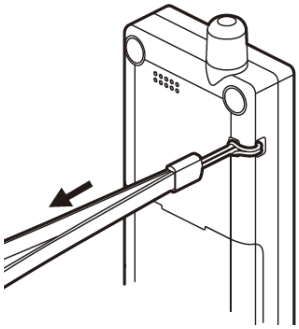
1 ストラップの細いひもの輪を取り付け穴に通す。



2 細いひもの輪の中に反対側のひもを通す。



3 通したひもを引き、絞る。



お知らせ

ストラップは付属品ではございません。

電源を入れる

1 (電源)を２秒以上押し、電源を入れる。

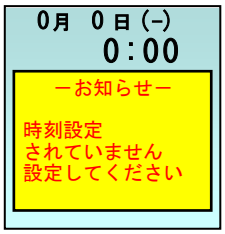
起動画面が表示されます。

2 待ち受け画面が表示される。

補足説明

●電源を切るときは (電源) を２秒以上押します。

●時刻設定がされていない状態で電源を入れた場合は、右記画面が表示されます。時刻を設定するときは「時刻を設定する」（１１７ページ）をご覧ください。



アンテナサーチ

待ち受け中にアンテナサーチを行うと、電話機は複数台の接続装置から、より電波の強い接続装置を選択します。アンテナサーチを行うことによって、より安定した環境でご利用できます。

1 待ち受け中に、(アンテナサーチ 保留/クリア) を２秒以上押す。

2 が点滅し、アンテナサーチを開始します。

3 の点滅が終わったら、アンテナサーチは終了です。

補足説明

アンテナサーチ中は、電話をかけたり受けたりすることはできません。

第2章

基本的な使い方

デジタルコードレス電話機は、主装置の内線の電話機としてお使いいただけます。もちろん、外の相手の方にも主装置を通して電話をかけられます。
まずはじめに、基本操作を覚えましょう。

電話をかける

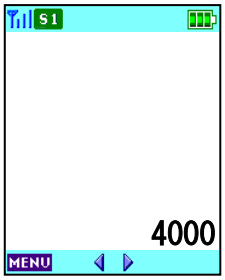
電話をかける

ダイヤルした番号が順次、表示部に現れますので、確認しながらダイヤルしてください。

その前に･･･

● が表示されていることを確認してください。

1 ダイヤルボタンで相手の電話番号をダイヤルする。



2 を押す。

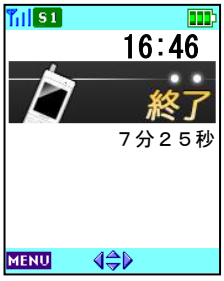
表示されていた電話番号が点滅をはじめます。
レシーバからしばらく「プップップ…」という音がしたあと、「プルルル…」という呼出音が聞こえます。

3 相手の方が出たら話す。

「ツーツーツー…」という音がしたときは、相手の方がお話し中です。

4 お話しが終わったら、または相手の方がお話し中だったら、を押す。

もう一度かけ直したいときは、「電話をかけ直す」（３２ページ）をご覧ください。



補足説明

●ダイヤル中に間違った番号を押したときは、を押すと最後にダイヤルした番号が消えます。そこから続けて正しい番号をダイヤルします。ダイヤルした番号をすべて消すには を押します。

●途中で操作を中止するときは を押してください。

●外の相手の方に電話（外線）をかけるときは、「0」などの外線発信ダイヤルの番号をダイヤルしてから、相手の電話番号をダイヤルします。外線発信ダイヤル番号は、主装置によって異なります。

●登録済みの特番を設定して電話をかける場合は、相手の電話番号をダイヤルした後で を２秒以上押すと、電話番号の先頭に登録済みの特番が設定されます。特番を解除するには を２秒以上押します。
特番の登録方法は、「特番を設定する」（１２７ページ）をご覧ください。

●ダイヤルする前に を押したときは、続けて電話番号をダイヤルすれば電話はかけられます。しかし、このときは、電話番号を押し間違えても修正できません。電話番号を間違えて押したときは、を押してからダイヤルし直します。

●相手の声が聞き取りにくいときは、「受話音量を調節する」（９７ページ）をご覧ください。

●電話帳を使って電話をかけることもできます。「電話帳を検索して電話をかける」（５４ページ）をご覧ください。

●発信履歴や着信履歴を使って電話をかけることもできます。「電話をかけ直す」（３２ページ）をご覧ください。

●ワンタッチキーを使って電話をかけることもできます。「ワンタッチキーを使って電話をかける」（３１ページ）をご覧ください。

●外線と通話中に を２秒以上押すと、フッキングすることができます。外線と通話中にこの操作を行うと、外線に対してフッキングします（外線フッキング）。お使いになっている主装置によっては、外線フッキングができないことがあります。

●通話終了後、お使いになっている主装置によっては、通話料金が表示されることがあります。

電話をかける（つづき）

ワンタッチキーを使って電話をかける

ワンタッチキーを押下することで、登録した番号の表示または発信することができます。

その前に･･･

● が表示されていることを確認してください。

クイックダイヤル設定が「機能あり」の場合

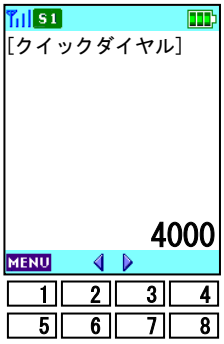
1 クイックダイヤルが登録されている１～８のボタンを押す。

番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名称を表示します。

クイックダイヤル設定が「機能なし」の場合

1 クイックダイヤルが登録されている１～８のボタンを押す。

番号が電話帳に登録されている場合は、電話帳に登録されている名称を表示します。



2 を押す。

補足説明

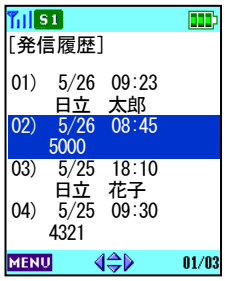
●クイックダイヤルの登録については、「ワンタッチ割付設定をする」（１２０ページ）をご覧ください。
●クイックダイヤル設定の登録については、「ワンタッチ発信ができるようにする」（１２８ページ）をご覧ください。

電話をかけ直す

電話機は、かけた、またはかかってきた電話番号を、それぞれ６０件まで記憶しています。相手がお話し中でかけ直すときなどは、もう一度同じ番号をダイヤルする必要がなく便利です。

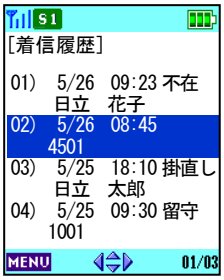
発信履歴からかけ直す（リダイヤル）

1 を押し、かけ直す電話番号を で選び を押す。



着信履歴からかけ直す

1 を押し、かけ直す電話番号を で選び を押す。



補足説明

●途中で操作を中止するときは、（電源）を押してください。

●記憶できる電話番号は１件につき最大２４桁です。

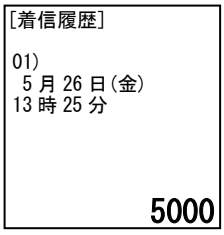
●２件以上の電話番号が記憶されているときは、を押すたびに、そのひとつ前にかけた（または、かかってきた）電話番号が表示されます。または の長押しで選択先がスクロール移動します。

●記憶しているすべての電話番号が順番に表示されると、最初に表示した電話番号に戻ります。

●登録済みの特番を設定して電話をかける場合は、発信／着信履歴を表示した後で（保留／クリア）を２秒以上押すと、電話番号の先頭に登録済みの特番が設定されます。特番を解除するには（保留／クリア）を２秒以上押します。特番の登録方法は、「特番を設定する」（１２７ページ）をご覧ください。

●電話機の設定によっては、「着信履歴」が「通話履歴」と表示されます。詳細は保守担当者へお問い合わせください。

●履歴を表示している時に、を押すと、選択された履歴の詳細画面が表示されます。



●着信に応答しなかったときは、着信履歴に「不在」と表示されます。

●留守録が入っている場合は、着信履歴に「留守」と表示されます。

●かけ直し応答をした場合は、着信履歴に「掛直し」と表示されます。

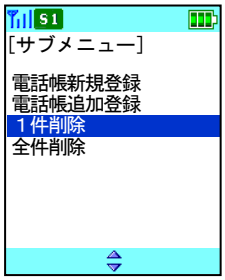
発信履歴／着信履歴を削除する

発信履歴／着信履歴を、１件のみ削除したり、一度にすべて削除することができます。

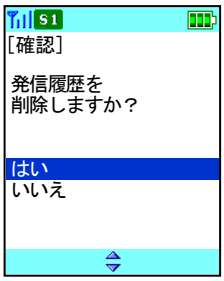
1 または を押す。

2 削除する履歴を で選び を押す。

3 で「１件削除」または「全件削除」を選び、 を押す。

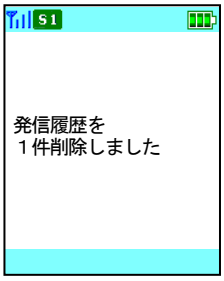


4 で「はい」を選び、 を押す。



5 履歴が削除されます。

手順１の画面に戻ります。手順３で「全件削除」を選んだ場合は、「発信履歴を全件削除しました」と表示されます。



電話を受ける

電話を受ける

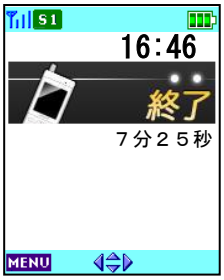
その前に･･･

● が表示されていることを確認してください。

1 電話がかかってきたら

2 を押す。

3 お話しが終わったら、を押す。



補足説明

●着信中に または で着信音量を変更することができます（「着信音量を調節する」（９６ページ）をご覧ください）。

●電話を受けられなかったときは、電話番号の通知機能を使ってかけてきた相手の方の電話番号であれば、その電話番号を呼び出して電話をかけられます。「電話をかけ直す（着信履歴からかけ直す）」（３２ページ）をご覧ください。

●電話がかかってきたときに、充電器から電話機を取り上げるだけで通話できるようにしたいときは、「クイック応答機能を設定する」（１２２ページ）をご覧ください。

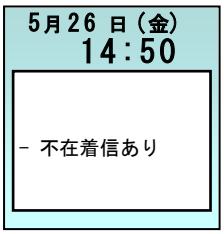
●電話がかかってきたときに、自動的に電話を受けるようにするには、「着信自動応答を設定する」（１２４ページ）をご覧ください。

●相手の声が聞き取りにくいときは、「受話音量を調節する」（９７ページ）をご覧ください。

●着信音の鳴り方を変えたいときは、「着信音を設定する」（９５ページ）をご覧ください。

●着信音のほかにバイブレータ着信を利用したいときは、「バイブレータを設定する」（９８ページ）をご覧ください。

●着信時に不在だった場合は、着信したことをお知らせする画面が表示されます。下記画面の状態で を押すと、着信履歴に移動します。下記画面の表示を消して、待ち受け画面に戻りたいときは を押します。不在着信表示の設定により、不在着信表示をさせないようにすることができます。「不在着信表示機能を設定する」（９４ページ）をご覧ください。



電話を受ける（つづき）

クイックサイレント

着信中に 電源 を押すことで、着信音を一時的に停止することができます。

1 着信中に 電源 を押す。

画面下に「S」が表示されます。

かけ直し応答

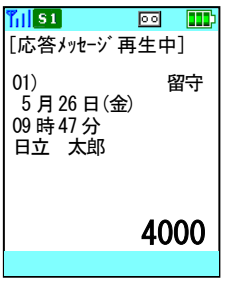
着信時に応答できない時、応答メッセージを送出して相手に知らせることができます。

1 着信中に 電源 を押す。（クイックサイレント）

画面下に「S」が表示されます。

2 もう一度 電源 を押す。

かけてきた方に対して「ただいま電話にでることができません、後ほどおかけ直しください」というメッセージが送出されます。
メッセージ送出後は待ち受け画面に戻ります。



補足説明

●かけ直し応答機能を無効にするには、「かけ直し応答機能を設定する」（１２９ページ）をご覧ください。

電話を保留する／転送する

外の相手の方からかかってきた電話や、内線を使ってかかってきた電話を、保留したり転送することができます。

電話を保留する

お話し中に相手の方に待っていただくとき、保留メロディを流します。

1 お話し中に 保留/クリア を押す。

2 保留を解除するには、もう一度 保留/クリア を押す。
相手の方とのお話しに戻れます。

補足説明

●お使いになっている主装置によって、保留メロディが異なります。

電話を転送する

お話し中に相手の方に待っていただき、電話を他の内線の電話機に転送します。その間、相手の方には保留メロディが流れます。

1 お話し中に 保留/クリア を押す。

2 ダイヤルボタンを押し、転送先の内線番号をダイヤルする。
ダイヤル中に間違った番号を押したときは 保留/クリア を２回押して、はじめから番号をダイヤルし直します。

3 転送先の人が出たら、転送することを伝える。
転送先の人が出ないときは、もう一度 保留/クリア を押します。保留が解除され、相手の方とのお話しに戻れます。

4 電源 を押す。
電話が転送されます。

補足説明

●お使いになっている主装置によっては、外からの電話は転送できないことがあります。

第3章

文字の入力

電話帳、簡易メール、予約アラーム、使用者名称表示機能では文字を使用します。この章では、文字入力の方法について説明します。

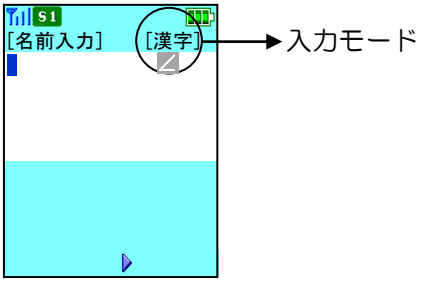
文字の入力方法

●文字の入力は、「電話帳」（４１ページ）、「簡易メール」（６０ページ）、「予約アラーム」（７２ページ）、「使用者名称表示」（９１ページ）で使用します。
●文字は、漢字・ひらがなやカナ（全角／半角）、英字（全角／半角）、数字（全角／半角）モードで入力することができます。
●ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（４０ページ）を参照してください。

入力モードの切り替え方

文字の入力モードを変更する場合は を押してください。押すたびに、入力モードが切り替わります。

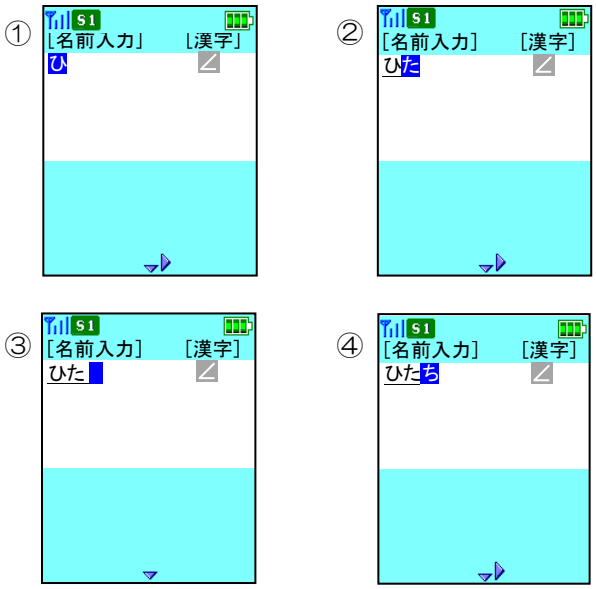
表示	モード
[漢字]	全角漢字
[カナ]	全角カナ
[ｶﾅ]	半角カナ
[ＡＢ]	全角英字
[AB]	半角英字
[１２]	全角数字
[12]	半角数字



文字入力のしかた

例として、「ひたち」と入力します。[漢字]入力モードであることを確認してください。

① 6 を２回押します。
② 4 を１回押します。
③ を１回押します。
④ 4 を２回押します。

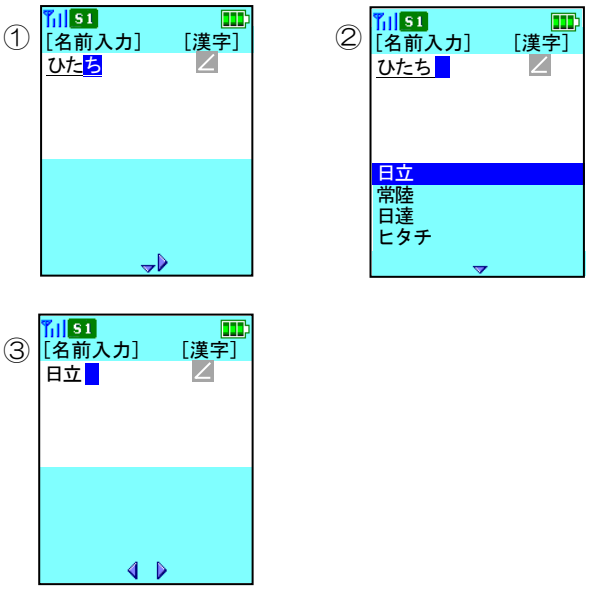


同じダイヤルボタンに割り当てられている文字を連続して入力するときは、 を押してカーソルを移動させます。
入力中の文字を訂正するときは 保留/クリア を押します。カーソル上の文字が消えるので、正しい文字を入力し直します。

文字の変換をするには

例として、「ひたち」を「日立」に変換します。

①[漢字]入力モードで「ひたち」と入力します。
② を押して、 で「日立」を選びます。
（ でほかの候補を選ぶこともできます。）
③ を押して文字を確定します。



変換候補がある場合は文字に下線がついています。
を押して文字を確定すると下線は消えます。文字を確定した後では変換できません。また、[漢字]入力モード以外では、文字の変換はできません。

文字の入力方法（つづき）

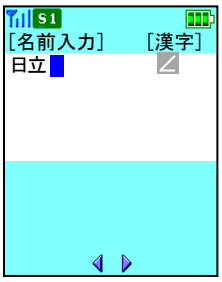
スペースを入れるには

文字入力の途中でスペースを入れる場合と、確定した文字の間に後からスペースを入れる場合に分けて説明します。

例として､｢日立｣と入力した後にスペースを入れます。

①「日立」と入力します。

② を押します。

①


②

この場合のスペースは、どの入力モードでも半角のスペースになります。

例として、文字が確定している「日立太郎」にスペースを入れて、「日立　太郎」にします。
入力モードを[ＡＢ]または[AB]にしてください。
[ＡＢ]は全角、[AB]は半角です。

① で「太」にカーソルを合わせます。

② 0わ記号 を８回押します。

①

②

文字を削除するには

例として、「日立　太郎」のスペースを削除して「日立太郎」にします。

① でスペースの部分にカーソルを合わせます。

② 保留/クリア を押します。

①

②

文字をすべて削除したい場合は 保留/クリア を長押しします。カーソルの位置に関係なく、すべての文字が削除されます。

ダイヤルボタンと文字の割り当て

入力モード / 入力ボタン	「漢字」(全角)	「カナ」(全角)	「ｶﾅ」(半角)	「ＡＢ」(英字全角)	「AB」(英字半角)	「１２」(数字全角)	「12」(数字半角)
1 あ @	あいうえお ぁぃぅぇぉ	アイウエオ ｱｲｳｴｵ	ｱｲｳｴｵ ｱｲｳｴｵ	@	@	１	1
2 か ABC	かきくけこ	カキクケコ	ｶｷｸｹｺ	ＡＢＣ ａｂｃ	ABC abc	２	2
3 さ DEF	さしすせそ	サシスセソ	ｻｼｽｾｿ	ＤＥＦ ｄｅｆ	DEF def	３	3
4 た GHI	たちつてとっ	タチツテトッ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ＧＨＩ ｇｈｉ	GHI ghi	４	4
5 な JKL	なにぬねの	ナニヌネノ	ﾅﾆﾇﾈﾉ	ＪＫＬ ｊｋｌ	JKL jkl	５	5
6 は MNO	はひふへほ	ハヒフヘホ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	ＭＮＯ ｍｎｏ	MNO mno	６	6
7 ま PQRS	まみむめも	マミムメモ	ﾏﾐﾑﾒﾓ	ＰＱＲＳ ｐｑｒｓ	PQRS pqrs	７	7
8 や TUV	やゆよ ゃゅょ	ヤユヨ ｬﾕｮ	ﾔﾕﾖ ｬﾕｮ	ＴＵＶ ｔｕｖ	TUV tuv	８	8
9 ら WXYZ	らりるれろ	ラリルレロ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	ＷＸＹＺ ｗｘｙｚ	WXYZ wxyz	９	9
0 わ 記号	わをん ー・、。	ワヲン ー・、。	ﾜﾗﾝ ｰ ・ 、。	．，’ ー：（ ） □(ｽﾍﾟｰｽ)！ ？＿￥	.,’ -:() □(ｽﾍﾟｰｽ)！ ？_￥	０	0
＊ ゛゜	゛ ゜	゛ ゜	゛ ゜			＊	＊
# マナー	改行※	改行※	改行※	改行※	改行※	＃	#
	カーソル上のひらがなを漢字に変換します。						
	カーソルを左へ移動します。						
	カーソルを右へ移動します。						
保留／クリア	カーソル上の文字を１文字消去します。長押し時は文字を全削除します。変換中は変換前に戻ります。						
フック／文字	入力のモードを切り替えます。						
電源	入力を中断します（入力画面を閉じます）。						

※簡易メールでの文字入力（６０ページ）や予約アラームでの用件入力（７２ページ）時のみ有効です。

第４章

電話帳の使い方

デジタルコードレス電話機には１０００件までの電話番号などを登録できます（※）。よく電話をかける相手先の電話番号を登録しておくと、簡単な操作で電話をかけられて便利です。
※電話帳１件につき３番号まで登録できます。

電話帳を登録する

●文字入力の方法については「文字の入力方法」（３８ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（４０ページ）を参照してください。

●電話帳は最大１０００件のデータを登録することができます。

●電話番号は電話帳１件につき、最大３番号まで登録することができます。

●電話帳の名前として登録可能な文字数は、全角で８文字分、半角で 16 文字分です。

●読み仮名に登録可能な文字は半角のカナ・英字・数字・記号です。

●電話番号は最大２４桁まで登録できます。

●グループは「なし、０１～１０」の１１種類です。

●メモリ番号は「０００～９９９」です。

●文字入力中に文字を間違えたり、入力操作を戻る場合は 保留/クリア を押してください。また、途中で操作を終了するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

●電話帳は、専用の電話帳ツールを使って、パソコン上で編集することもできます。詳細は保守担当者へお問い合わせください。

お願い

重要な内容（登録した方の名前や電話番号など）は必ず紙などに控えておいてください。

電話機は、使用を誤ったとき、静電気、電気的なノイズの影響を受けたとき、また、故障したときや修理するときなどに記憶内容が変化・消失することがあります。
本製品の故障、誤操作、不具合などにより、利用の機会を逸したために発生した損害および記憶内容が正しく保存、呼び出しができないことによって発生した損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話帳登録の流れ

①名前を登録する

②読み仮名を登録する

③グループを選択する

④電話番号１を登録する

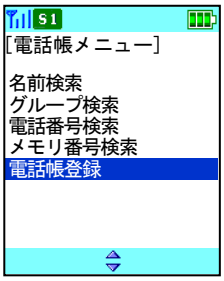
⑤電話番号２を登録する

⑥電話番号３を登録する

⑦メモリ番号を登録する

電話帳を登録する（つづき）

1 を押し、で「電話帳登録」を選び、を押す。



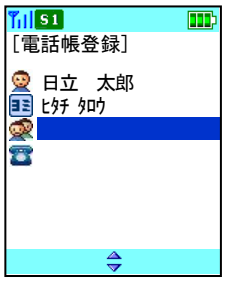
2 で を選び、を押す。

3 ダイヤルボタンで名前を入力し、を押す。

4 読み仮名を確認する。（訂正する場合は、で を選び、を押し、読み仮名を訂正します。）

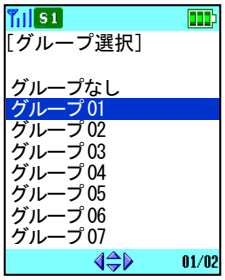
読み仮名に登録可能な文字は半角のカナ・英字・数字・記号のみです。

5 で を選び、を押す。

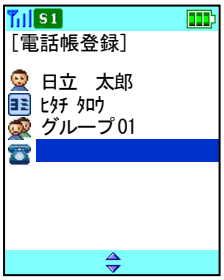


6 でグループを選び、を押す。

グループは「なし・０１～１０」の１１種類です。グループに名称が設定されている場合は、その名称が表示されます。グループを指定せずに登録した場合は、グループなしに自動登録されます。



7 で を選び、を押す。



8 ダイヤルボタンで電話番号１を入力し、を押す。

9 電話番号２・３を登録する場合は、電話番号の空いている を選び、電話番号を入力する。

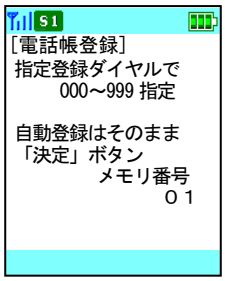
２つめの は電話番号１が設定されている場合に表示されます。３つめの は電話番号１・２が設定されている場合に表示されます。

電話帳を登録する（つづき）

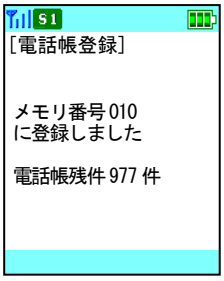
10 で「電話帳に登録」を選び、 を押す。

11 ダイヤルボタンでメモリ番号（３桁）を入力する。

メモリ番号の３桁目を押すと、登録されます（３桁目は表示されません）。
自動登録する場合は を押します。

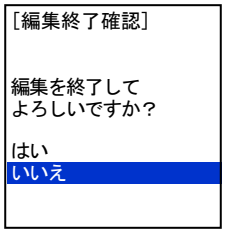


12 登録されると、右記画面を約２秒間表示し、手順１の画面に戻ります。



補足説明

● 手順３～手順１１の間に（電源）を押した場合には右記画面が表示されます。「はい」を押した場合は待ち受け画面へ移動します。「いいえ」を押した場合は電話帳登録画面に戻ります。

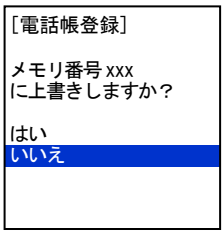


●「電話番号」を入力しないと電話帳に登録することができません。「名前」が未入力の場合は、検索結果の一覧表示では、名前の変わりに“ － － － ”が表示されます。

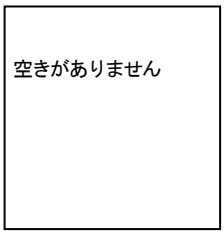
●メモリ番号を指定せずに自動登録する場合は、メモリ番号０１０～９９９の空いている番号の若番から登録されます。

●メモリ番号０００～００９は指定登録でのみ、登録が可能です。また、メモリ番号０１０～９９９がすべて登録済みの場合は、メモリ番号に「！！！」が表示されます。

●指定したメモリ番号がすでに登録されている場合には右記画面が表示されます。「いいえ」を選んだ場合は手順１１の画面に戻ります。



●電話帳に空きメモリがない場合は右記画面を約２秒間表示し、手順１１の画面に戻ります。



日本語変換はオムロンソフトウェア(株)のミニＷｎｎを使用しています。
"Mini Wnn" (c) OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2000-2002 All Rights Reserved.

発信／着信履歴から電話帳に登録する

発信／着信履歴から電話帳に登録することができます。

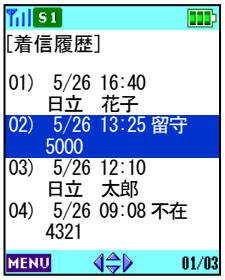
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

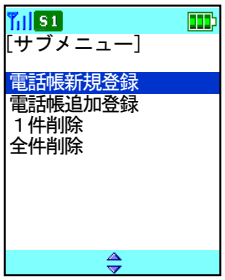
新規登録をする場合

1 を押し、発信／着信履歴から新規に登録するリストを で選び、 を押す。

リストを選んだ後に を押すと履歴の詳細画面に移ります。履歴の詳細画面を表示後に を押しても構いません。



2 で「電話帳新規登録」を選び、 を押す。



3 で各項目を設定し、電話帳に登録する。

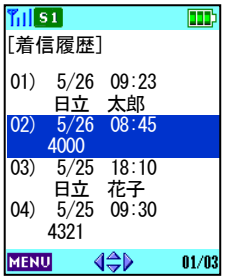
設定の方法は「電話帳を登録する」（４２ページ）をご覧ください。

発信／着信履歴から電話帳に登録する（つづき）

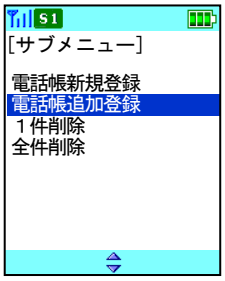
追加登録をする場合

1 を押し、発信／着信履歴から追加する電話番号のリストを で選び、 を押す。

リストを選んだ後に を押すと履歴の詳細画面に移ります。履歴の詳細画面を表示後に を押しても構いません。

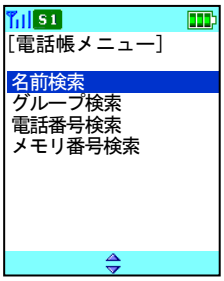


2 で「電話帳追加登録」を選び、 を押す。



3 追加する電話帳を検索する。

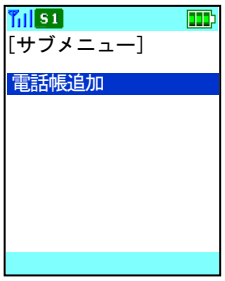
電話帳の検索については「電話帳を検索する」（５０ページ）をご覧ください。



4 を押す。

5 を押す。

追加する電話帳に、すでに３件の電話番号が登録されている場合は「追加登録できません」と約２秒間表示し、手順３に戻ります。



6 「電話帳に登録」を選び、 を押す。

この後の登録方法は「電話帳を登録する」（４２ページ）をご覧ください。

電話帳のグループを設定する

電話帳で設定するグループに、「名称」「着信音」「着信色」を設定することができます。

その前に･･･

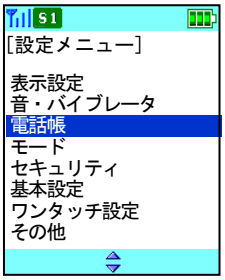
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
●文字入力の方法については「文字の入力方法」（３８ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（４０ページ）を参照してください。

グループ名称を設定する

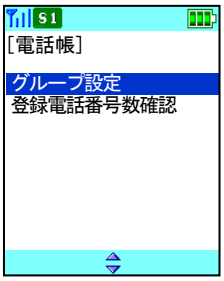
グループ名称は、全角８文字（半角１６文字）まで入力することができます。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

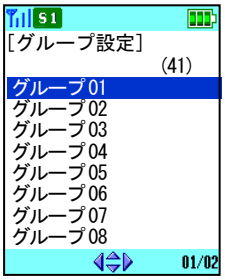
2 で「電話帳」を選び、 を押す。



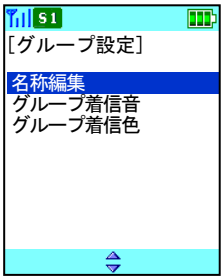
3 で「グループ設定」を選び、 を押す。



4 で設定するグループを選び、 を押す。

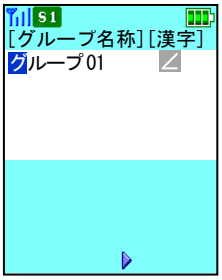


5 で「名称編集」を選び、 を押す。



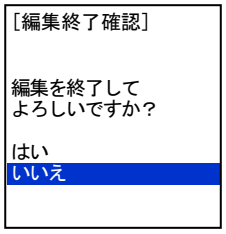
6 名称を入力し、 を押す。

手順５の画面に戻ります。



補足説明

●グループ名称を登録できるのはグループ０１～１０です。「グループなし」には登録できません。
●手順６でグループ名称を編集するのをやめたい場合は、手順５の画面が出るまで 保留/クリア を数回押してください。
●手順６の編集途中で 電源 を押すと、右記画面を表示します。「はい」を選んだ場合、登録せずに待ち受け画面に戻ります。「いいえ」を選んだ場合、手順６の画面に戻ります。

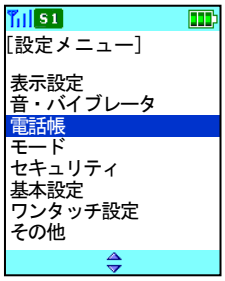


電話帳のグループを設定する（つづき）

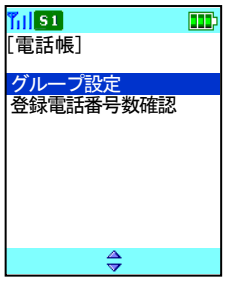
グループ着信音を設定する

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

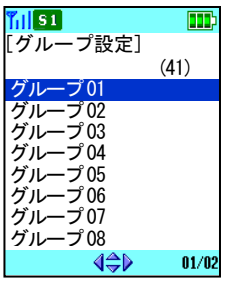
2 で「電話帳」を選び、 を押す。



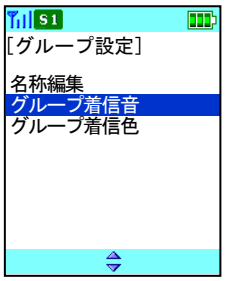
3 で「グループ設定」を選び、 を押す。



4 で設定するグループを選び、 を押す。

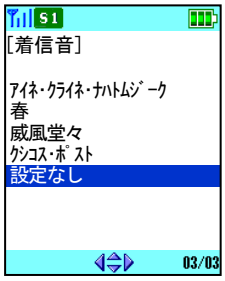


5 で「グループ着信音」を選び、 を押す。



6 で着信音を選び、 を押す。

手順５の画面に戻ります。



補足説明

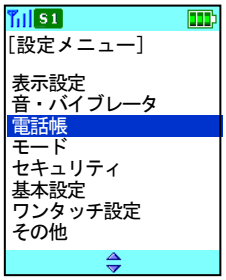
●手順６で を押し、音源を移動したときには、着信音が鳴り確認することができます。ただし、マナーモード設定およびサイレント着信設定時は鳴動しません。

電話帳のグループを設定する（つづき）

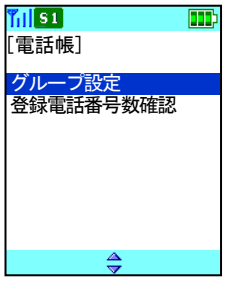
グループ着信色を設定する

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

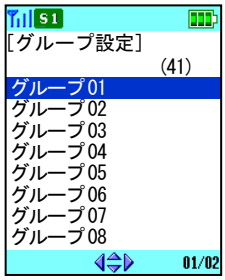
2 で「電話帳」を選び、 を押す。



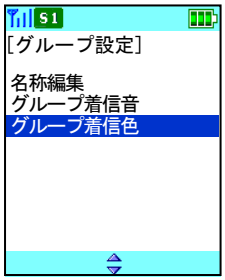
3 で「グループ設定」を選び、 を押す。



4 で設定するグループを選び、 を押す。



5 で「グループ着信色」を選び、 を押す。



6 で色パターンを選び、 を押す。

手順５の画面に戻ります。

グループ着信色の種類

色パターン１	黒	着信中
色パターン２	赤	着信中
色パターン３	深緑	着信中
色パターン４	青	着信中
色パターン５	橙	着信中
色パターン６	水色	着信中
色パターン７	紫	着信中

電話帳を検索する

登録した電話帳を名前検索、グループ検索、電話番号検索、メモリ番号検索で表示させることができます。

その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
●電話帳に該当するデータが登録されていなかったときは、下記画面を約２秒間表示し、手順１の画面に戻ります。

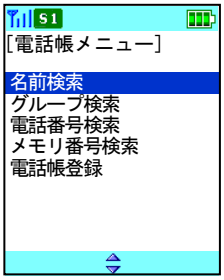
該当するデータは
ありません

名前検索

登録されている「読み仮名」の先頭から何文字かを入力して検索することができます。

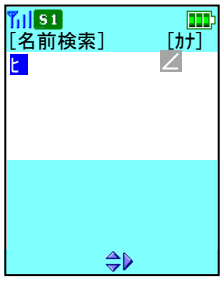
1 📖 を押し、◎ で「名前検索」を選び、◎ を押す。

待ち受け画面で ◎ を押すと、手順２へスキップします。

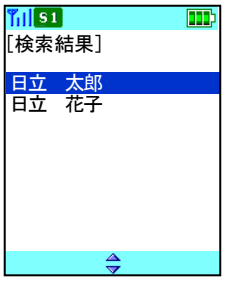


2 検索する名前を入力し、◎ を押す。

何も入力せずに ◎ または ◎ を押すと、五十音順で先頭のページを、◎ を押すと最終のページを表示します。



3 ◎ で表示させたいリストを選び、◎ を押す。



4 電話帳の内容が表示されます。

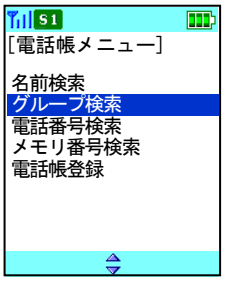
◎ または ◎ を押すと次の電話帳、◎ または ◎ を押すと前の電話帳が表示されます。

電話帳を検索する（つづき）

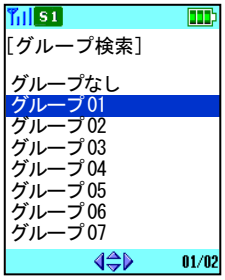
グループ検索

1 を押し、で「グループ検索」を選び、を押す。

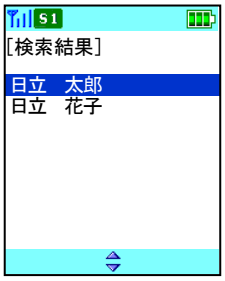
待ち受け画面でを押すと、手順２へスキップします。



2 で検索するグループを選び、を押す。



3 で表示させたいリストを選び、を押す。



4 電話帳の内容が表示されます。

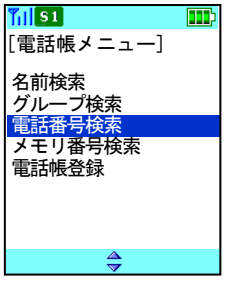
またはを押すと次の電話帳、またはを押すと前の電話帳が表示されます。

電話帳を検索する（つづき）

電話番号検索

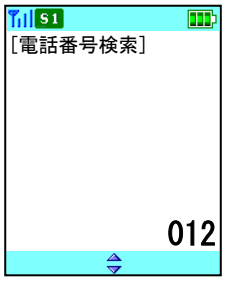
登録されている「電話番号」の先頭から何桁かを入力して検索することができます。

1 を押し、で「電話番号検索」を選び、を押す。

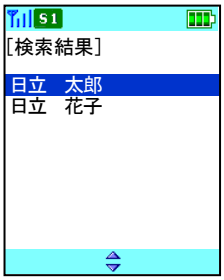


2 検索する電話番号を入力し、を押す。

何も入力せずにまたはを押すと、五十音順で先頭のページを、を押すと最終のページを表示します。



3 で表示させたいリストを選び、を押す。



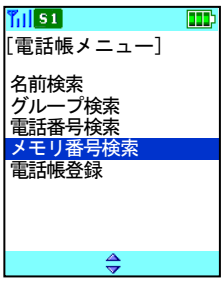
4 電話帳の内容が表示されます。

またはを押すと次の電話帳、またはを押すと前の電話帳が表示されます。

電話帳を検索する（つづき）

メモリ番号検索

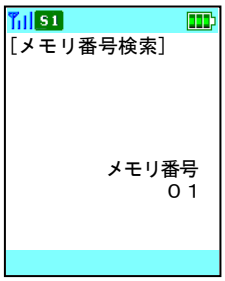
1 押し、で「メモリ番号検索」を選び、を押す。



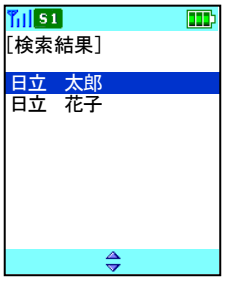
2 検索するメモリ番号を入力する。

３桁目は表示されません。

何も入力せずにまたはを押すと、メモリ番号順で先頭のページを、を押すと最終のページを表示します。



3 を押す。



4 電話帳の内容が表示されます。

電話帳を検索して電話をかける

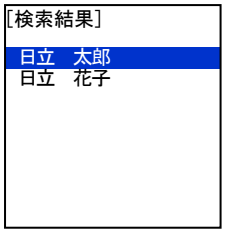
登録した電話帳を「名前検索」「グループ検索」「電話番号検索」「メモリ番号検索」で検索し、電話をかけることができます。

1 電話帳を検索し、おかけになる電話番号を で選び、 を押す。

2 表示されていた電話番号が点滅をはじめます。
レシーバからしばらく「プップップ…」という音がしたあと、「プルルル…」という呼出音が聞こえます。

補足説明

●電話帳に電話番号が複数登録されている場合、右記の検索結果画面から電話をかけるリストを選んだ後に、 を押すと、電話番号１に発信されます。



●登録済みの特番を設定して電話をかける場合は、電話帳を表示した後で 保留/クリア を２秒以上押すと、電話番号の先頭に登録済みの特番が設定されます。特番を解除したいときは 保留/クリア を２秒以上押します。

●電話帳に電話番号が２つ以上設定されていて、詳細表示にしていないときに特番を設定した場合は、電話番号１に特番が設定されます。特番の登録方法は、「特番を設定する」（１２７ページ）をご覧ください。

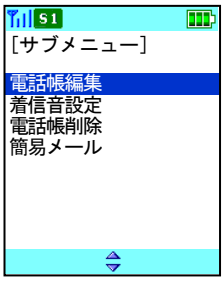
電話帳を編集する

電話帳に登録した内容を編集することができます。電話帳から該当する電話帳データを検索した後、編集を行います。

1 電話帳を検索し、修正する電話帳を表示させ を押す。

電話帳の検索方法は、「電話帳を検索する」（５０ページ）をご覧ください。

2 で「電話帳編集」を選び、 を押す。



3 電話帳を修正する。

電話帳の修正方法は、「電話帳を登録する」（４２ページ）をご覧ください。

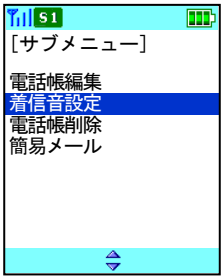
電話帳に個別着信鳴り分けを設定する

着信時に、電話をかけてきた方の発信者番号が電話帳に登録してある番号と一致し、電話帳に着信音設定がされている場合は、設定した着信音で鳴動させることができます。

1 着信音を設定する電話帳を表示させを押す。

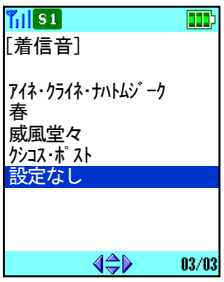
電話帳の検索方法は、「電話帳を検索する」（５０ページ）をご覧ください。

2 で「着信音設定」を選び を押す。



3 で着信音を選びを押す。

手順１の画面に戻ります。



補足説明

- 着信音の設定を解除するには、手順３で「設定なし」を選びます。
- 着信鳴り分けの優先順位については、「着信音を設定する」（９５ページ）をご覧ください。

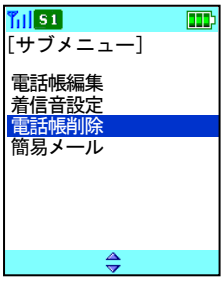
電話帳を削除する

電話帳に登録した内容を削除することができます。電話帳から該当する電話帳データを検索した後、削除を行います。

1 電話帳を検索し、削除する電話帳を表示させを押す。

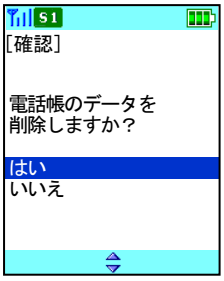
電話帳の検索方法は、「電話帳を検索する」（５０ページ）をご覧ください。

2 で「電話帳削除」を選び、を押す。



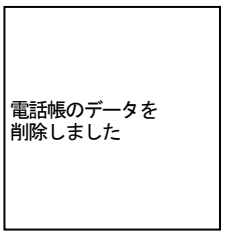
3 で「はい」を選び、を押す。

「いいえ」を選んだ場合は手順１の画面に戻ります。



補足説明

手順３で「はい」を選んだ場合は、右記画面が表示されます。



お願い

重要な内容（登録した方の名前や電話番号など）は必ず紙などに控えておいてください。

電話機は、使用を誤ったとき、静電気、電気的なノイズの影響を受けたとき、また、故障したときや修理するときなどに記憶内容が変化・消失することがあります。

本製品の故障、誤操作、不具合などにより、利用の機会を逸したために発生した損害および記憶内容が正しく保存、呼び出しができないことによって発生した損害などの付随的損害の補償につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話帳へのアクセスを禁止する

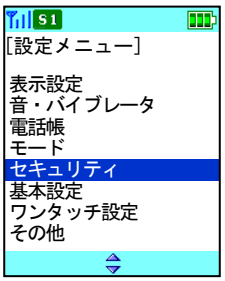
電話帳へのアクセスを禁止できます。「機能あり」を設定した場合、電話帳の検索／登録／修正／消去ができなくなります。
お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

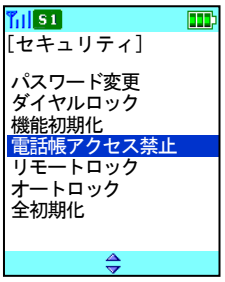
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「セキュリティ」を選び、 を押す。

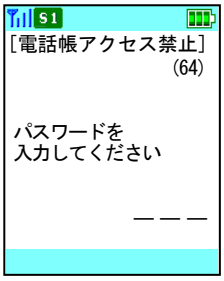


3 で「電話帳アクセス禁止」を選び、 を押す。



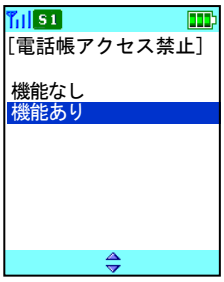
4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

4 桁目は表示されません。



5 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●電話帳アクセス禁止中に電話帳に関する操作を行うと、右記画面が表示されます。

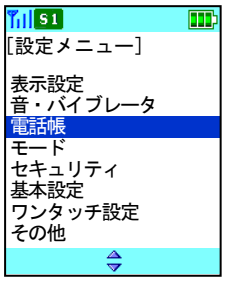
●電話帳アクセス禁止を解除する場合は、手順５で「機能なし」を選びます。
●パスワードについては「パスワードを変更する」（107ページ）をご覧ください。

電話帳の登録件数を確認する

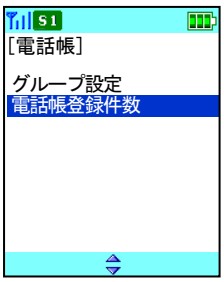
電話帳の登録件数を確認することができます。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「電話帳」を選び、 を押す。

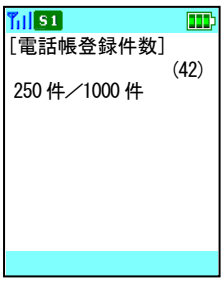


3 で「電話帳登録件数」を選び、 を押す。



4 電話帳登録件数が表示されます。

電源 を押すと、待ち受け画面に戻ります。



第５章

簡易メール機能

簡易メール機能を使用し、簡単な文字情報を送受信することができます。送信ＢＯＸには３０件、受信ＢＯＸには５０件のメールを保存することができます。また、送信ＢＯＸを使って簡易メールを再編集したり、受信ＢＯＸを使って簡易メールを返信することができます。

簡易メールを作成／送信する

その前に･･･

●簡易メール本文の最大入力文字数は全角で４０文字、半角で８０文字です。

●文字入力の方法については「文字の入力方法」（３８ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（４０ページ）を参照してください。

●送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸに既に３０件のメールが保存されている場合、または、送信ＢＯＸの「上書き禁止」の設定に関係なく、３０件のメールがすべて保護されている場合は、簡易メールを作成することはできません。送信ＢＯＸ内にある必要のないメールを削除し、再度、簡易メールを作成してください。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（７０ページ）、簡易メールの保護については「簡易メールを保護する」（６８ページ）、メールを削除するには「簡易メールを削除する」（７１ページ）をご覧ください。

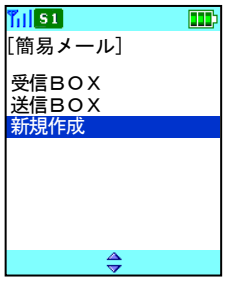
●お使いになっている主装置によっては、簡易メール機能の送受信ができないことがあります。

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「メール」を選び、 を押す。

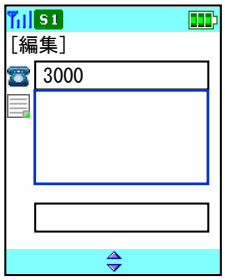
2 で「新規作成」を選び、 を押す。



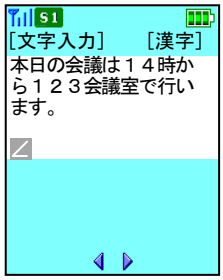
3 で を選び、 を押す。

4 送信先の番号をダイヤルし、 を押す。

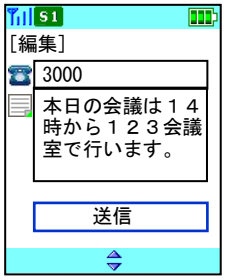
5 で を選び、 を押す。



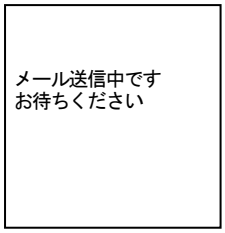
6 メッセージを入力し、 を押す。

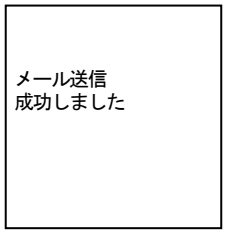


7 で「送信」を選び、 を押す。



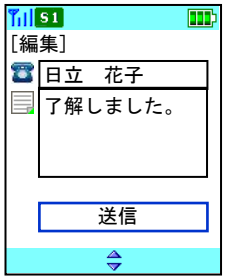
8 メールが送信されます。





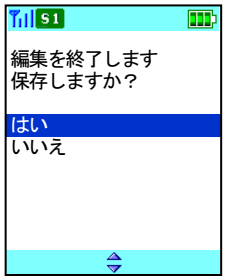
簡易メールを作成／送信する（つづき）

9 保留/クリア または 電源 を
を押す。



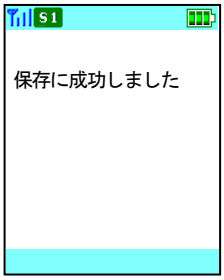
10 「はい」または
「いいえ」を選び、
を押す。

「いいえ」を選ぶと、手順２の画面に戻ります。



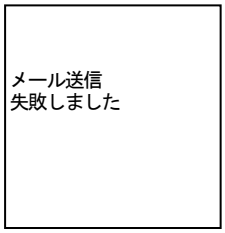
11 「はい」を選ぶと
右記画面を表示し、
手順２の画面に戻り
ます。

送信ＢＯＸに保存されます。

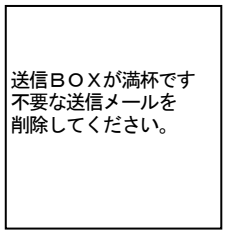


補足説明

●メールの送信に失敗したときは、右記画面が表示されます。保留/クリア 、 電源 または を押すと手順７に戻ります（送信ＢＯＸには保存されません）。



●手順２で「新規作成」がグレーアウトしているときは、送信ＢＯＸが最大保存数（３０件）に達しているため、簡易メールを新規に作成することはできません。この状態で「新規作成」を選択すると、右記画面が表示されます。送信ＢＯＸ内にある必要のないメールは削除してください。メールを削除するには「簡易メールを削除する」（７１ページ）をご覧ください。



●手順８で、送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信メールが３０件に達した場合は、手順 ２ の画面に戻ります。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（７０ページ）をご覧ください。

●簡易メール作成途中で着信があった場合、作成中のメールは送信ＢＯＸに保存され、着信画面に移ります。ただし、電話番号・文字入力が確定したところまでです。ダイヤル入力画面・文字入力画面で作成途中の電話番号やメッセージは保存されません。

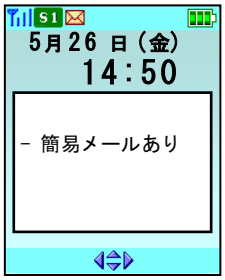
●電話機の設定によって簡易メールの使用が制限されていると、手順１で「メール」を選んだ後に、「簡易メールは使用制限されています」と表示されます。詳細は保守担当者へお問い合わせください。

簡易メールを閲覧する

受信した簡易メールを閲覧する

1 簡易メールを受信したら、を押す。

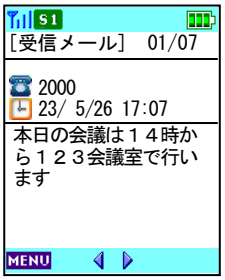
を押すと、待ち受け画面に戻ります。



2 未読メール（ ）を確認し、を押す。

3 簡易メールを閲覧する。

を押すと次のメール、を押すと前のメールへ移動します。
を押すと、手順２の画面へ、を押すと、待ち受け画面に戻ります。



補足説明

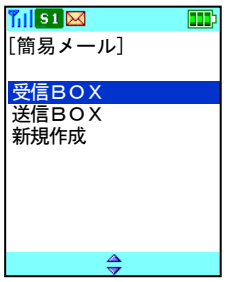
- ●受信ＢＯＸに保存できる簡易メールは最大５０件です。
- ●受信ＢＯＸ内のメールが５０件（最大保存数）に達したときは、待ち受け画面の上段のピクト（ ）が点滅します。
- ●受信ＢＯＸの未読メールは 、既読メールは で表示されます。
- ●受信ＢＯＸ内のメールが５０件（最大保存数）のときに簡易メールの着信があった場合は、保護されていないメールを日付の古いものから削除します。

簡易メールを閲覧する（つづき）

受信／送信ＢＯＸの簡易メールを閲覧する

1 を押し、 で「メール」を選び、 を押す。

2 で「受信ＢＯＸ」または「送信ＢＯＸ」を選び、 を押す。



3 で閲覧したい受信メールを選び、 を押す。

補足説明

- ●メールが１件もないときは、「メールがありません」と表示され、手順２に戻ります。
- ●送信ＢＯＸに保存できる簡易メールは最大３０件、受信ＢＯＸに保存できる簡易メールは最大５０件です。
- ●送信ＢＯＸの送信済みメールは 、未送信メールは で表示されます。
- ●受信ＢＯＸの既読メールは 、未読メールは で表示されます。
- ●受信ＢＯＸ内のメールが５０件に達したときは、ピクト（ ）が点滅します。
- ●受信ＢＯＸ内のメールが５０件のときに簡易メールの着信があった場合は、保護されていないメールを日付の古いものから削除します。

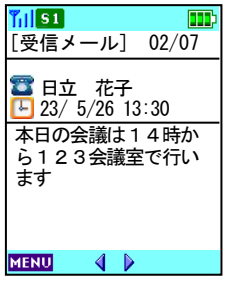
簡易メールを返信する

1 を押し、 で「メール」を選び、 を押す。

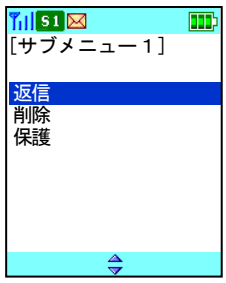
2 で「受信BOX」を選び、 を押す。

3 で返信したいメールを選び、 を押す。

4 を押す。



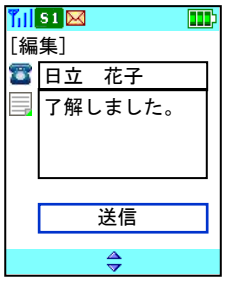
5 で「返信」を選び、 を押す。



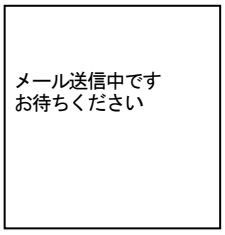
6 で を選び、 を押す。

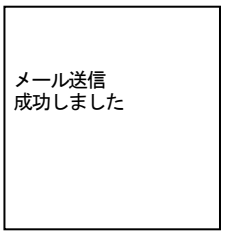
7 メッセージを入力し、 を押す。

8 で「送信」を選び、 を押す。

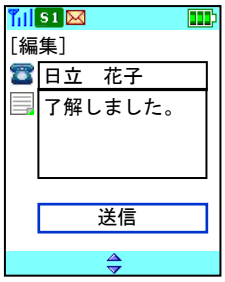


9 メールが送信されます。





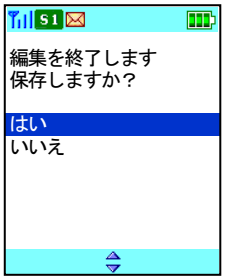
10 または を を押す。



簡易メールを返信する（つづき）

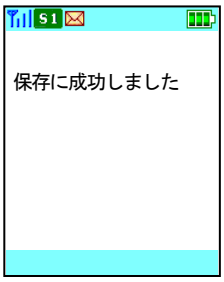
11 「はい」または「いいえ」を選び、を押す。

「いいえ」を選ぶと、手順２の画面に戻ります。



12 「はい」を選ぶと右記画面を表示し、手順２の画面に戻ります。

送信ＢＯＸに保存されます。



補足説明

●送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸに既に３０件のメールが保存されている場合、または、送信ＢＯＸの「上書き禁止」の設定に関係なく、３０件のメールがすべて保護されている場合は、簡易メールを返信することはできません。送信ＢＯＸ内にある必要のないメールを削除し、再度、簡易メールを返信してください。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（７０ページ）、簡易メールの保護については「簡易メールを保護する」（６８ページ）、メールを削除するには「簡易メールを削除する」（７１ページ）をご覧ください。

●手順９で、送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信メールが３０件に達した場合は、手順２の画面に戻ります。

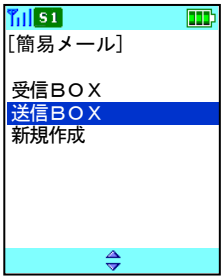
●「新規作成」がグレーアウトしているときは、送信ＢＯＸが最大保存数（３０件）に達しているため、簡易メールを新規に作成することはできません。この状態で「新規作成」を選択すると、下記画面が表示されます。

送信ＢＯＸが満杯です
不要な送信メールを
削除してください。

簡易メールを再編集する

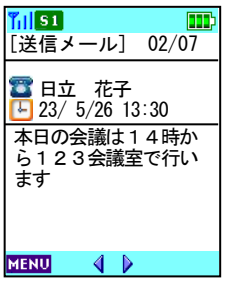
1 を押し、 で「メール」を選び、 を押す。

2 で「送信ＢＯＸ」を選び、 を押す。

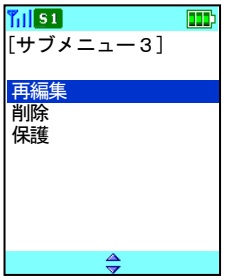


3 で再編集したい送信メールを選び、 を押す。

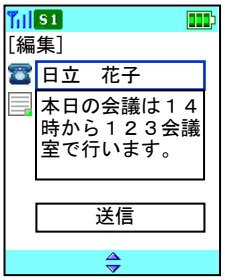
4 を押す。



5 で「再編集」を選び、 を押す。



6 簡易メールを再編集する。



補足説明

送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸに既に３０件のメールが保存されている場合、または、送信ＢＯＸの「上書き禁止」の設定に関係なく、３０件のメールがすべて保護されている場合は、簡易メールを再編集することはできません。送信ＢＯＸ内にある必要のないメールを削除し、再度、簡易メールを再編集してください。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（７０ページ）、簡易メールの保護については「簡易メールを保護する」（６８ページ）、メールを削除するには「簡易メールを削除する」（７１ページ）をご覧ください。

簡易メールを保護する

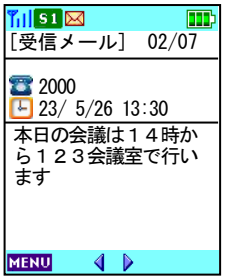
削除したくない大切なメールを保護することができます。

1 を押し、 で「メール」を選び、 を押す。

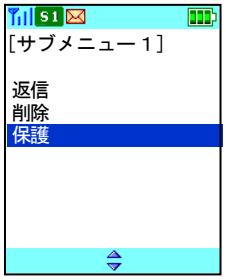
2 で「受信ＢＯＸ」または「送信ＢＯＸ」を選び、 を押す。

3 で保護したいメールを選び、 を押す。

4 を押す。

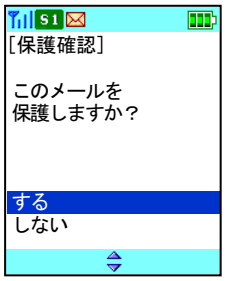


5 で「保護」を選び、 を押す。



6 で「する」を選び、 を押す。

手順４の画面に戻ります。
「しない」を選んだ場合は、手順５の画面に戻ります。

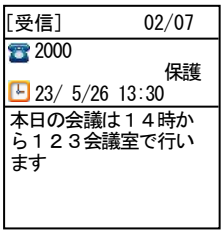


補足説明

●受信ＢＯＸ内のメールで保護ができる最大件数は４９件です。

●送信ＢＯＸ内で保護ができる最大件数は３０件です。３０件保護した場合は、簡易メールの「新規作成」「返信」「再編集」ができません。

●簡易メールを保護すると手順３および手順４の画面に「保護」と表示されます。



●受信ＢＯＸ内のメールが５０件のときに、新たに簡易メールの着信があった場合は、日付の古い保護されていないメールから順に、自動的に削除されます。

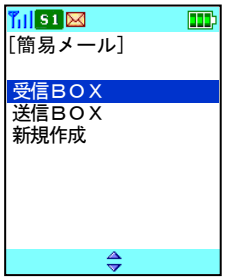
●送信ＢＯＸに「上書き許可」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸ内のメールが３０件保存されているときに、新たにメールを作成する場合は、日付の古い保護されていないメールから順に、自動的に削除されます。送信ＢＯＸの上書き可否については、「送信ＢＯＸの上書き可否を設定する」（７０ページ）をご覧ください。

簡易メールを保護する（つづき）

保護を解除する場合

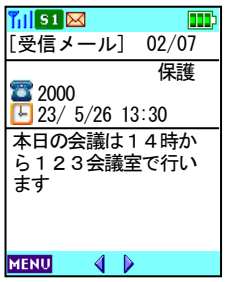
1 を押し、 で「メール」を選び、 を押す。

2 で「受信ＢＯＸ」または「送信ＢＯＸ」を選び、 を押す。



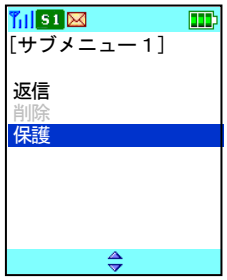
3 で保護を解除したいメールを選び、 を押す。

4 を押す。



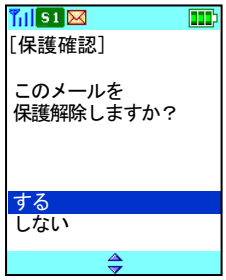
5 で「保護」を選び、 を押す。

保護されていると、「削除」はグレーアウトになり、選ぶことができません。



6 で「する」を選び、 を押す。

手順４の画面に戻ります。
「しない」を選んだ場合は、手順５の画面に戻ります。



送信ＢＯＸの上書き可否を設定する

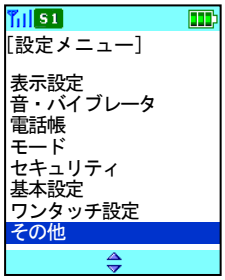
簡易メールの送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされていると、送信ＢＯＸ内のメールが３０件（最大保存数）保存されているときは、新たにメールを作成することができません。日付の古い保護されていないメールから順に、自動的に削除されるようにするには、簡易メールの送信ＢＯＸを「上書き許可」の設定にする必要があります。
お買い上げ時には、「上書き禁止」の設定がされています。

その前に･･･

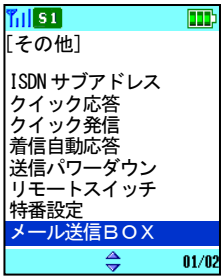
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。

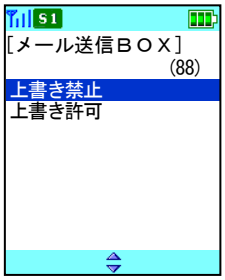


3 で「メール送信ＢＯＸ」を選び、 を押す。



4 で「上書き禁止」または「上書き許可」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●送信ＢＯＸに「上書き禁止」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸ内のメールが３０件保存されているときは、簡易メールの「新規作成」「返信」「再編集」はできません。
●送信ＢＯＸに「上書き許可」の設定がされている場合で、送信ＢＯＸ内のメールが３０件保存されているときに、新たにメールを作成する場合は、日付の古い保護されていないメールから順に、自動的に削除されます。

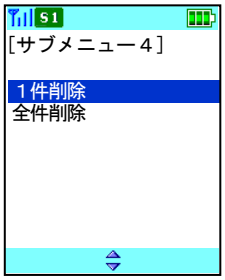
簡易メールを削除する

1 を押し、 で「メール」を選び、 を押す。

2 で「受信BOX」または「送信BOX」を選び、 を押す。

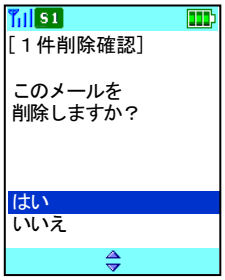
3 で削除したい受信メールまたは送信メールを選び、 を押す。

4 で「1件削除」または「全件削除」を選び、 を押す。



5 で「はい」を選び、 を押す。

手順3の画面に戻ります。
「全件削除」を選んだ場合は、手順2に戻ります。



補足説明

- 「1件削除」をする場合、手順3で削除したいメールを で選び、 を押して内容を確認した後に を押して削除することもできます。
- メールが保護されている場合、「1件削除」はグレーアウトになり、選択することができません。また、「全件削除」した場合でも、保護されているメールは削除されません。

第6章

時刻アラームと予約アラーム

アラームで予定時刻をお知らせしたり、今後のスケジュールを登録することができます。スケジュールの開始時刻になると、アラームにて通知します。

時刻アラームを設定する

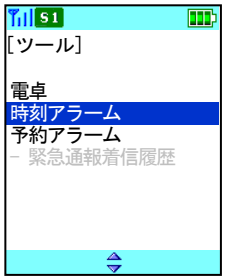
アラームで予定時刻をお知らせすることができます。

その前に･･･

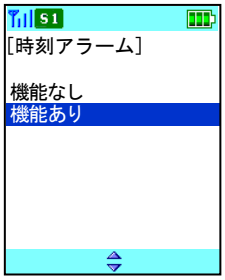
●日時設定をしないと、時刻アラーム機能は使用できません（「時刻を設定する」（１１７ページ）をご覧ください）。
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「ツール」を選び、 を押す。

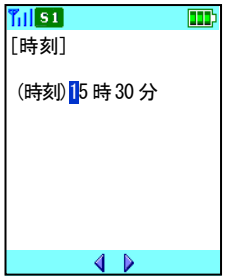
2 で「時刻アラーム」を選び、 を押す。



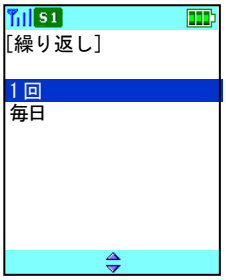
3 で「機能あり」を選び、 を押す。



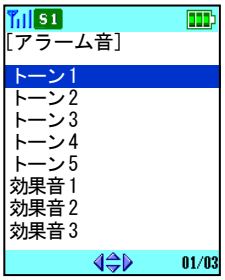
4 ダイヤルボタンでアラームの時刻を24時間制で設定し、 を押す。



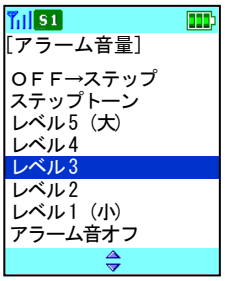
5 で「１回」または「毎日」を選び、 を押す。



6 でアラーム音を選び、 を押す。

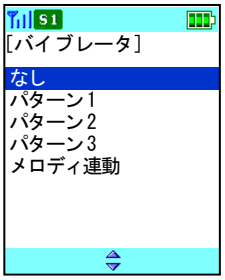


7 でアラーム音量を選び、 を押す。



8 でバイブレータを選び、 を押す。

手順２の画面に戻り、ピクト（ ）が表示されます。



時刻アラームを設定する（つづき）

指定時刻になると

●指定時刻になるとアラームが鳴り（着信ランプ点滅）、指定時刻になったことをお知らせします（アラームは５分間鳴動します）。いずれかのキーを押すとアラーム音が停止します（アラームが鳴るのは「アラーム音」を「あり」に設定しているときのみです）。

●マナーモードを設定している場合は、着信音は鳴動せずにバイブレータが作動します（充電器に置いて充電しているときは、バイブレータは作動しません）。

●指定時刻になったことをお知らせする画面を消去する場合は、 または 保留/クリア を押してください。

[時刻アラーム]

時刻になりました
16 時 00 分

補足説明

●時刻アラームを「機能あり」に設定しているときは、ピクト（ ）が表示されます。

●時刻アラームを解除する場合は、手順３で「機能なし」を選びます。

●充電器に置いてあるときは、バイブレータは作動しません。

予約アラームを作成する

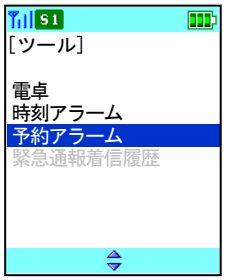
今後のスケジュールを登録することができます。スケジュールの開始時刻になると、アラームにて通知します。

その前に･･･

- 日時設定をしないと、予約アラーム機能は使用できません（「時刻を設定する」（１１７ページ）をご覧ください）。
- スケジューラに登録できる件数は最大１６件です。また、１日に登録できる件数は最大３件です。
- 途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
- 操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
- 文字入力の方法については「文字の入力方法」（３８ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（４０ページ）を参照してください。

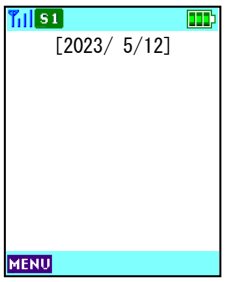
1 を押し、 で「ツール」を選び、 を押す。

2 で「予約アラーム」を選び、 を押す。



3 で予定を入れたい月日を選び、 を押す。

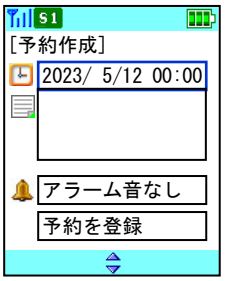
4 を押す。



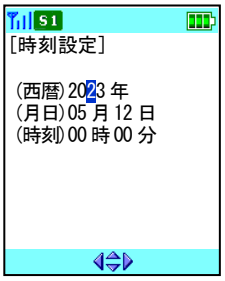
5 「新規」を選び、 を押す。

予定が１件も登録されていない場合は、「１件削除」はグレーアウトになり、選ぶことができません。

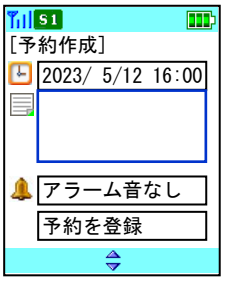
6 で を選び、 を押す。



7 ダイヤルボタンで年月日、時刻を設定し、 を押す。



8 で を選び、 を押す。

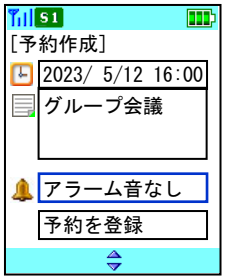


予約アラームを作成する（つづき）

9 予定内容を入力し、を押す。

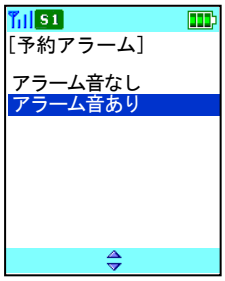
入力できる文字数は、全角２０文字（半角４０文字）です。

10 で を選び、を押す。

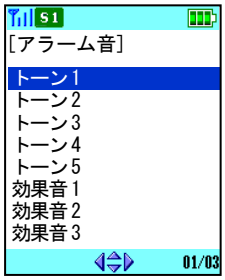


11 で「アラーム音あり」または「アラーム音なし」を選び、を押す。

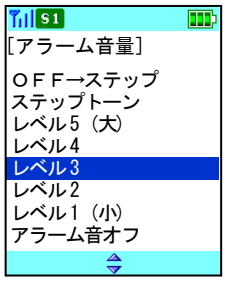
「あり」⇒ 手順１２へ
「なし」⇒ 手順１５へ



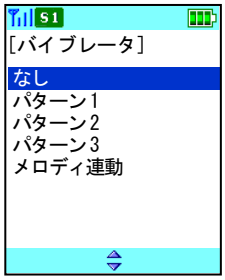
12 でアラーム音を選び、を押す。



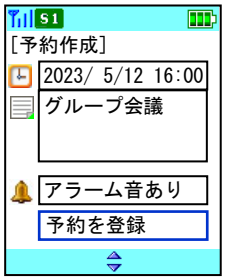
13 でアラーム音量を設定し、を押す。



14 でバイブレータを選び、を押す。

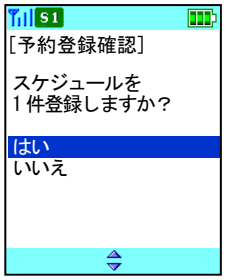


15 で「予約を登録」を選び、を押す。

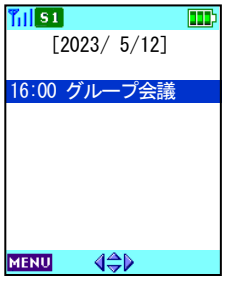


16 で「はい」を選び、を押す。

「いいえ」を選ぶと、手順１５の画面に戻ります。



17 予定が登録されました。を押すと待ち受け画面に戻ります。

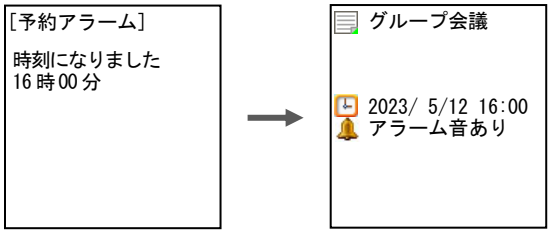


予約アラームを作成する（つづき）

指定時刻になると

①指定時刻になるとアラームが鳴り（着信ランプ点滅）、指定時刻になったことをお知らせします。いずれかのキーを押すとアラーム音が停止します（アラームが鳴るのは「アラーム音」を「あり」に設定しているときのみです）。

②このときに または 保留/クリア を押すと予定内容が表示されます。



補足説明

●ダイヤル表示中、発着信中、通話中、留守録・メモ録音の録音中／再生中に指定時刻になった場合は、アラーム音は鳴動せず、通話等終了後に指定時刻になったことを画面に表示します。

●アラームは最大５分間鳴動します。アラームを止めるにはいずれかのキーを押してください。

●指定時刻になったことをお知らせする画面を消去する場合は、 または 保留/クリア を２回押してください。

●マナーモード設定中に指定時刻になった場合は、バイブレータが振動します（マナーモードについては「マナーモードを設定する」（１３３ページ）ご覧ください）。

●着信音鳴動指定が「ヘッドセット」に設定されているときに指定時刻になったときは、アラーム音はヘッドセットから鳴動します。ヘッドセットが接続されていないときはアラーム音が鳴りません（着信音鳴動指定については「着信音の鳴動先を設定する」（１０４ページ）をご覧ください）。

●予約編集画面（手順１５）で、時刻設定や予定内容が未設定のときに予約を登録した場合、エラー音が鳴ります。また、手順６で何もせずに で「予約を登録」を選択時や、「予約アラームを確認／修正する（７８ページ）」の手順８で修正がない場合も同様です。

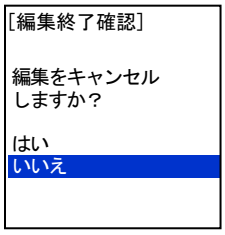
●アラーム音は５種類のトーン、５種類の効果音の他に、１０種類のメロディ、着信音なしを選択することができます（アラーム音の種類については「着信音を設定する」（９５ページ）をご覧ください）。

●アラーム音量は「アラーム音オフ」、「レベル１（小）～５（大）」、「ステップトーン」、「ＯＦＦ→ステップ」の８種類から選択することができます（アラーム音量については「着信音量を調節する」（９６ページ）をご覧ください）。

●バイブレータは、「なし」、「パターン１～３」、「メロディ連動」の５種類から選択することができます（バイブレータについては「バイブレータを設定する」（９８ページ）をご覧ください）。

●充電器に置いてあるときは、バイブレータは作動しません。

●手順７～１５でスケジュールを登録しているときに、電源 や 保留/クリア を押した場合、下記画面が表示されます。
また、保留/クリア を押した場合に下記画面が表示されるのは、手順８・１０・１５のときのみです。
で「はい」を選び編集をキャンセルしたときは、これまでの登録内容は保存されません。「いいえ」選ぶと、手順７～１５の各画面（下記画面の前に表示されていた画面）に戻ります。

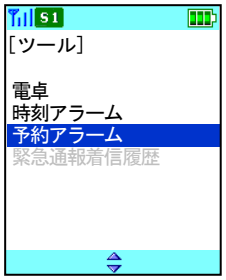


予約アラームを確認／修正する

登録したスケジュールを確認したり修正することができます。スケジュールが登録されている日は、カレンダーの日付がピンク色で表示されます。

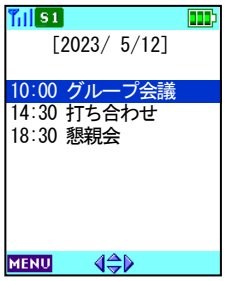
1 を押し、 で「ツール」を選び、 を押す。

2 で「予約アラーム」を選び、 を押す。



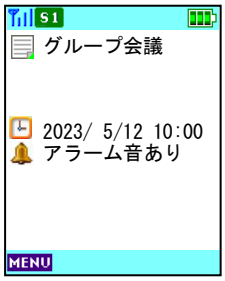
3 で予定内容を確認または修正したい月日を選び、 を押す。

4 で確認または修正したい予定内容を選び、 を押す。

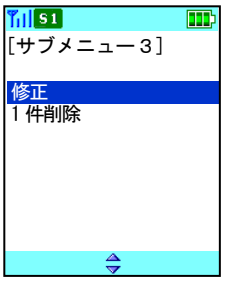


5 予定内容を確認する。

確認のみの場合は 電源 を押す。
修正する場合は手順６へ。

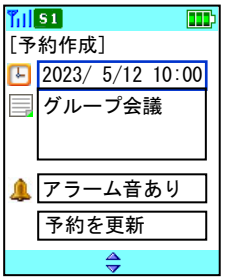


6 を押し、「修正」を選び、 を押す。

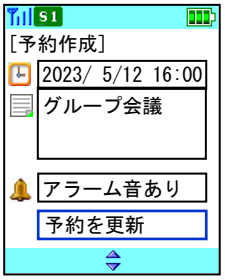


7 予定内容を修正する。

修正する場合は「予約アラームを作成する」の手順６（75 ページ）と同じです。内容を変更せずに「予約を更新」を押したときは、エラー音が鳴ります。

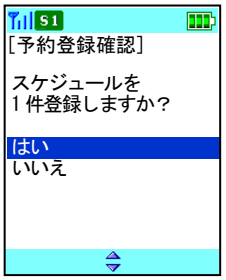


8 で「予約を更新」を選び、 を押す。



9 で「はい」を選び、 を押す。

手順４の画面に戻ります。
「いいえ」を選ぶと、手順８の画面に戻ります。



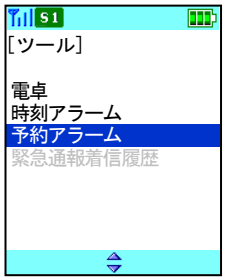
補足説明

- 変更した日付にすでに３件のスケジュールが登録されている場合は、「指定された日には既に３件の予約があり指定できません」と表示されます。
- 同じ日時に既にスケジュールが登録されている状態で予約を登録しようとした場合、「同一日時に既に予約があり予約できません」と表示されます。

予約アラームの登録件数を確認する

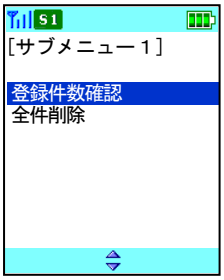
1 を押し、 で「ツール」を選び、 を押す。

2 で「予約アラーム」を選び、 を押す。



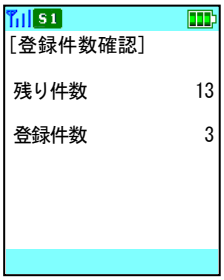
3 を押す。

4 で「登録件数確認」を選び、 を押す。



5 登録件数を確認する。

を押すと、手順3の画面に戻ります。
を押すと待ち受け画面に戻ります。



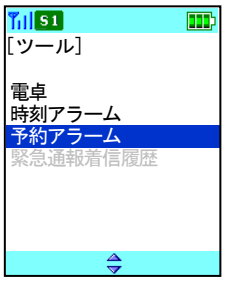
予約アラームを削除する

登録してあるスケジュールを１件だけ削除したり、すべてのスケジュールを一度に削除することができます。

１件削除する場合

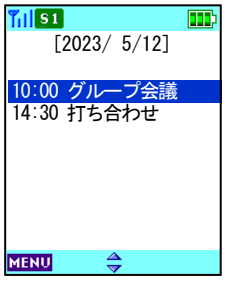
1 を押し、 で「ツール」を選び、 を押す。

2 で「予約アラーム」を選び、 を押す。

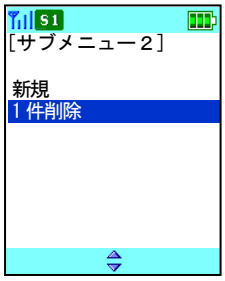


3 で予定内容を削除したい月日を選び、 を押す。

4 で削除したい予定内容を選び、 を押す。

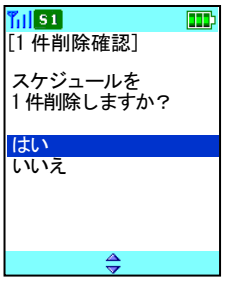


5 で「１件削除」を選び、 を押す。



6 で「はい」を選び、 を押す。

手順４の画面に戻ります。「いいえ」を選ぶと、手順５の画面に戻ります。



補足説明

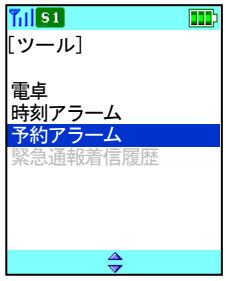
●手順４で削除したいスケジュールを で選び、 を押して内容を確認した後に を押して削除することもできます。

予約アラームを削除する（つづき）

すべて削除する場合

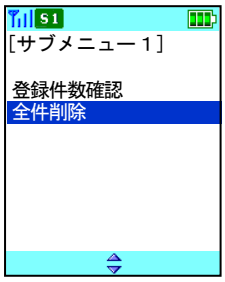
1 を押し、 で「ツール」を選び、 を押す。

2 で「予約アラーム」を選び、 を押す。



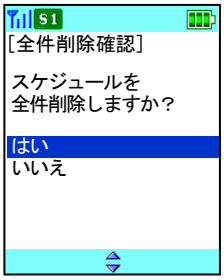
3 を押す。

4 で「全件削除」を選び、 を押す。



5 で「はい」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。「いいえ」を選ぶと、手順４の画面に戻ります。



第7章

留守録・メモ録音機能

一定時間内に着信に応答できなかった場合に、自動応答して留守録することができます。また、待ち受け中にメモ録音をすることができます。

留守録を設定する

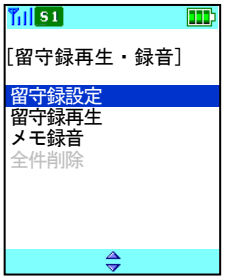
一定時間内に着信に応答できなかった場合に、自動応答して応答メッセージを流して留守録することができます(自動応答の時間は設定で変更できます)。
お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

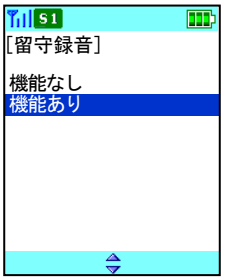
●録音件数は、留守録・メモ録音あわせて４件です。
●録音は、１件につき最大１５秒です。
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「留守」を選び、 を押す。

2 で「留守録設定」を選び、 を押す。

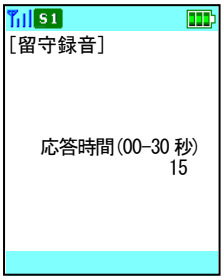


3 で「機能あり」を選び、 を押す。



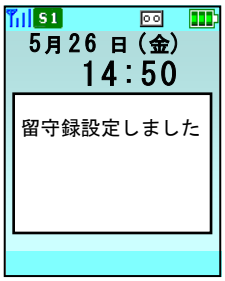
4 応答時間をダイヤルキーで設定し、 を押す。

応答時間は００～３０秒です。



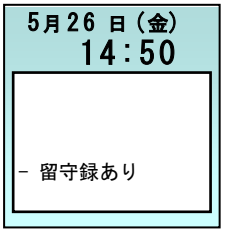
5 右記画面を表示し、待ち受け画面に戻ります。

画面の上側に「 」が表示されます。



補足説明

●留守録設定中に着信があったときは、相手側には「ただいま電話に出ることができません。発信音の後に１５秒以内でメッセージをどうぞ」というメッセージが流れます。ただし、録音件数がすでに４件あるときは、「ただいま電話に出ることができません。後ほどおかけ直しください」というメッセージが流れます。
●留守録機能を「機能あり」に設定しているときは、画面の上にピクト（ ）が常に表示されます。
●録音件数が４件に達した場合は、画面上のピクト（ ）が点滅します。
●留守録の設定を解除するには、手順３で「機能なし」を選びます。
●留守録設定中に着信があり、伝言が録音されている最中、また、録音が終了した後は下記画面が表示されます（留守録の録音件数が４件に達した場合は、「- 留守録あり(満杯)」と表示されます)。



メモ録音をする

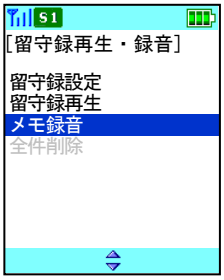
待ち受け中に録音状態にして、マイク（送話口）からメモ録音することができます。

その前に･･･

●録音件数は、留守録・メモ録音あわせて４件です。
●録音は、１件につき最大１５秒です。
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●メモ録音中に電話がかかってくると、メモ録音が中断されます。それまでの録音は残ります。

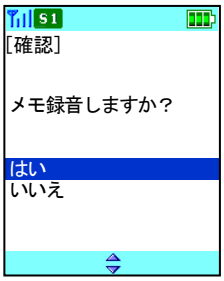
1 を押し、 で「留守」を選び、 を押す。

2 で「メモ録音」を選び、 を押す。

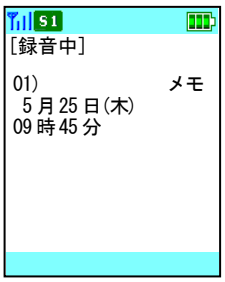


3 で「はい」を選び、 を押す。

「いいえ」を選ぶと、手順２の画面に戻ります。

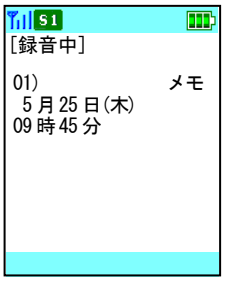


4 録音します。



5 録音が終わったら 電源 を押す。

待ち受け画面に戻ります。



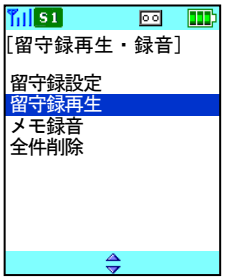
補足説明

●録音を始めてから１５秒経過すると、自動的に録音を終了します。
●録音件数がすでに４件ある場合には画面の上にピクト（ ）が点滅します（留守録機能を「機能あり」にしているときのみ）。
●録音件数がすでに４件ある場合には「録音できません」と表示され、約２秒後に手順２の画面に戻ります。

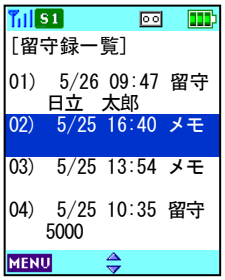
留守録・メモ録音を再生する

1 を押し、 で「留守」を選び、 を押す。

2 で「留守録再生」を選び、 を押す。

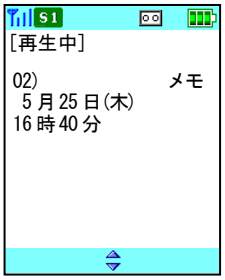


3 で再生するリストを選び、 を押す。

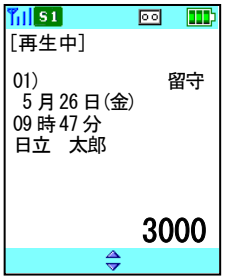


4 再生します。

メモ録音再生時



留守録再生時



再生が終わると、手順３の画面に戻ります。

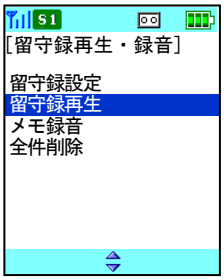
補足説明

●留守録・メモ録音を再生中に を押すことで音量を変えることができます。

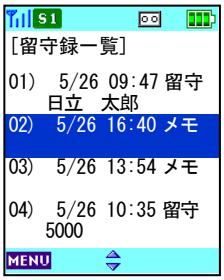
留守録・メモ録音を削除する

1 を押し、 で「留守」を選び、 を押す。

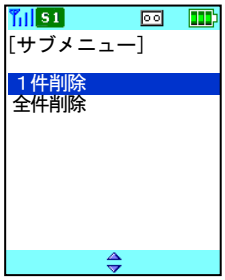
2 で「留守録再生」を選び、 を押す。



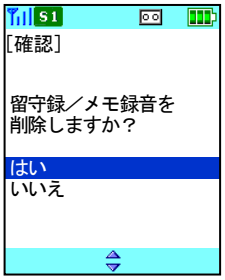
3 で削除するリストを選び、 を押す。



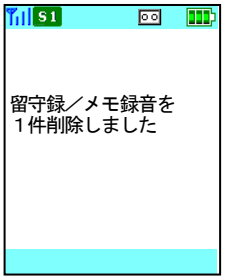
4 で「１件削除」または「全件削除」を選び、 を押す。



5 で「はい」を選び、 を押す。



6 下記画面が表示され、削除されます。



削除された後、手順３の画面に戻ります。
全件削除、または１件削除で再生リストに何も残っていない場合は待ち受け画面に戻ります。

補足説明

- 全件削除するときは、手順２で「全件削除」を選びます。
- 留守録／メモ録音を削除中は、着信を受けることができません。

第8章

いろいろな機能の設定／登録

自分のデジタルコードレス電話機のいろいろな機能を設定したり登録することができます。
ただし、故障かな？と勘違いされることもありますので、これらの機能をお使いになるときは、機能が設定してあることを忘れないでください。

待ち受け画面を設定する

待ち受け時に表示される画面を設定します。お買い上げ時には「なし」に設定してあります。

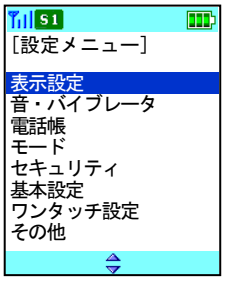
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

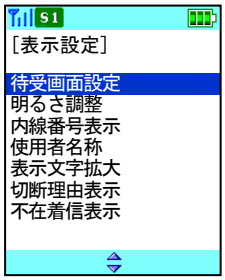
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

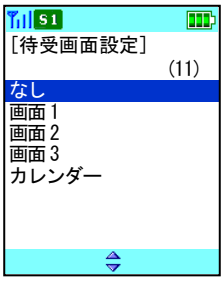
2 で「表示設定」を選び、 を押す。



3 で「待受画面設定」を選び、 を押す。

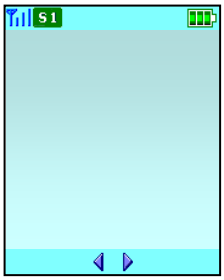


4 で待ち受け画面を選び、 を押す。



5 を押すと、その他の待ち受け画面を確認できます。
確定したら を押す。

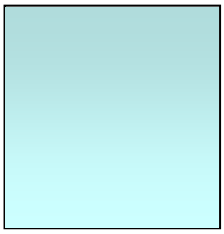
手順４の画面に戻ります。



補足説明

●待ち受け画面は、下記画面の５種類から選ぶことができます。

なし



画面 1

画面 2

画面 3

カレンダー

画面の明るさを調整する

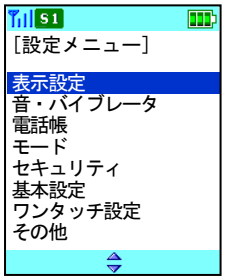
ＬＣＤ表示画面の明るさを調整します。お買い上げ時には「レベル１」に設定してあります。

その前に･･･

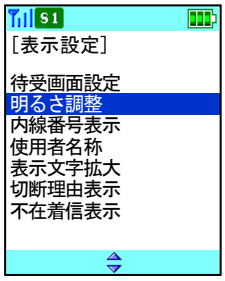
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「表示設定」を選び、 を押す。



3 で「明るさ調整」を選び、 を押す。



4 でレベルを選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●レベル１→３の順で暗くなります。

自分の内線番号を常時表示させる

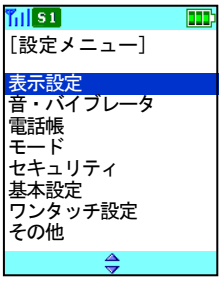
待ち受け画面に、自分の内線番号を表示させることができます。
お買い上げ時には「表示なし」に設定してあります。

その前に･･･

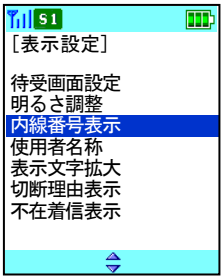
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「表示設定」を選び、 を押す。

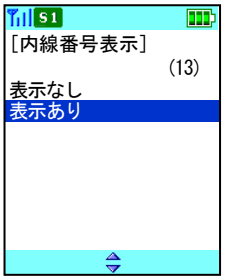


3 で「内線番号表示」を選び、 を押す。



4 で「表示あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●内線番号表示を解除するには、手順４で「表示なし」を選びます。
●「表示あり」に設定した場合、下記のように待ち受け画面に内線番号が常時表示されます。表示文字の拡大については「表示文字を大きくする」（９２ページ）をご覧ください（待ち受け画面を「カレンダー」に設定している場合は、内線番号は拡大表示されません）。

表示文字拡大時

使用者名称を設定する

ＬＣＤ画面に使用者名称を表示させることができます。お買い上げ時には「表示なし」に設定してあります。

その前に･･･

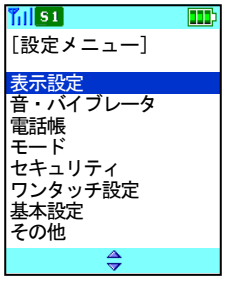
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

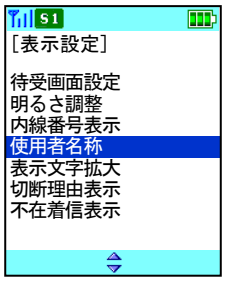
●文字入力の方法については「文字の入力方法」（３８ページ）をご覧ください。ダイヤルボタンと文字の関係は、「ダイヤルボタンと文字の割り当て」（４０ページ）を参照してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

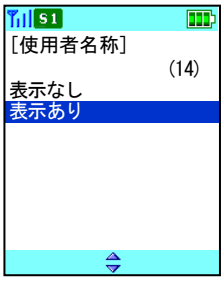
2 で「表示設定」を選び、 を押す。



3 で「使用者名称」を選び、 を押す。



4 で「表示あり」を選び、 を押す。



5 名称を入力し、 を押す。

入力できる文字数は全角５文字（半角１０文字）です。
を押した後は、手順３に戻ります。

補足説明

●使用者名称表示を解除するには、手順４で「表示なし」を選びます。

●「表示あり」に設定した場合、下記のように待ち受け画面に使用者名称が表示されます。表示文字の拡大については「表示文字を大きくする」（９２ページ）をご覧ください（待ち受け画面を「カレンダー」に設定している場合は、使用者名称は拡大表示されません）。

表示文字拡大時

表示文字を大きくする

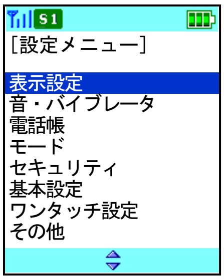
設定メニュー、電話帳の詳細画面、発信/着信履歴の一覧画面と詳細画面および、発着信・通話中画面（電話帳に登録がある場合）に表示される文字を大きくすることができます。
お買い上げ時には「機能なし」に設定してあります。

その前に・・・

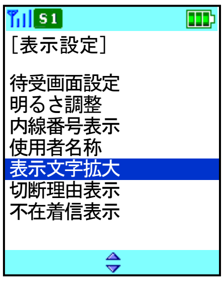
●途中で操作を中止するときは （電源） を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「表示設定」を選び、 を押す。

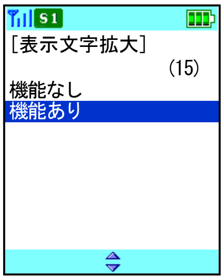


3 で「表示文字拡大」を選び、 を押す。



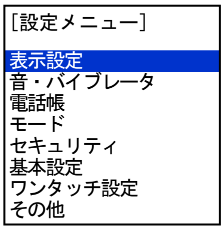
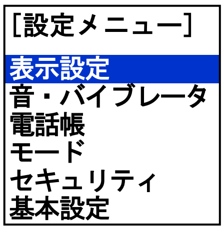
4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●表示文字拡大の設定を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。
●「機能あり」に設定した場合、「機能なし」にくらべ、下記のように文字の大きさが変わります。

	設定メニュー	電話帳詳細	発着信履歴一覧	発着信履歴詳細	発着信・通話中
機能なし					
機能あり					

切断理由表示機能を設定する

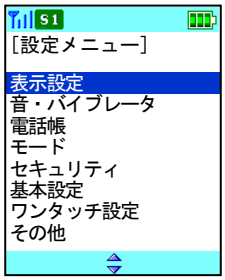
通話中、急に通話が切断されたときの理由を表示することができます。
お買い上げ時には、「機能なし」に設定してあります。

その前に･･･

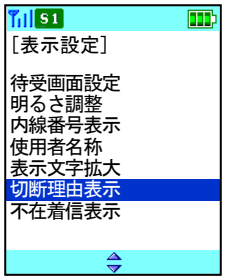
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「表示設定」を選び、 を押す。

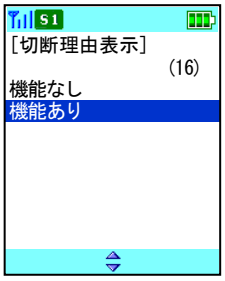


3 で「切断理由表示」を選び、 を押す。



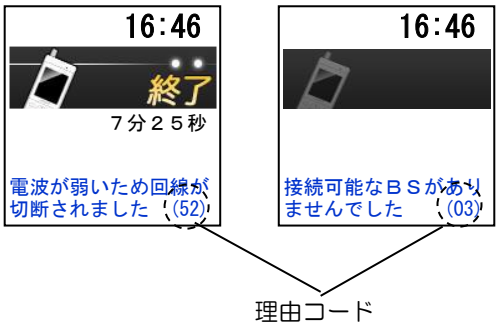
4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●切断理由表示機能の設定を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。
●通話が切断された場合、下記画面を表示します。理由コードについては、保守担当者にお問い合わせください。



不在着信表示機能を設定する

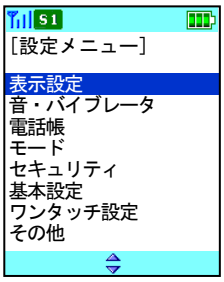
不在時に着信したことをお知らせする画面を、「表示する」「表示しない」か設定することができます。
お買い上げ時には、「機能あり」に設定してあります。

その前に･･･

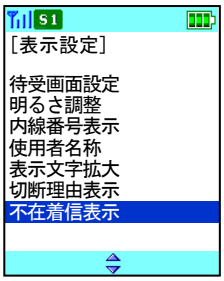
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「表示設定」を選び、 を押す。

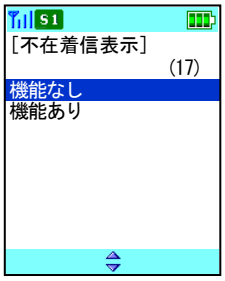


3 で「不在着信表示」を選び、 を押す。



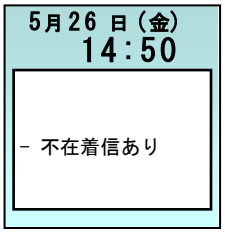
4 で「機能なし」または「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●「機能あり」に設定している場合、着信時に不在だったときは、着信したことをお知らせする下記画面が表示されます。



着信音を設定する

着信音は「５種類のトーン」、「５種類の効果音」および「１０種類のメロディ」を着信音に選択することができます（「着信音なし」を選択することもできます）。外線や内線などの着信に対して、それぞれ違った鳴り方を選べます。また、電話帳による個別着信音、グループ着信音を設定することもできます（電話帳による個別着信音を設定するときは「電話帳に個別着信鳴り分けを設定する」（５６ページ）、グループ着信音を設定するときは「グループ着信音を設定する」（４８ページ）をご覧ください）。

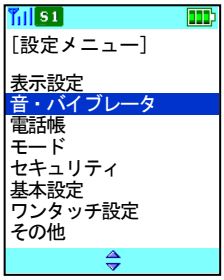
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

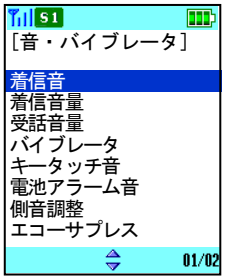
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

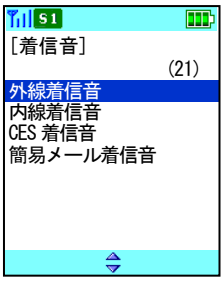
2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。



3 で「着信音」を選び、 を押す。

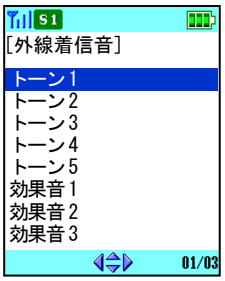


4 でモードを選び、 を押す。



5 で着信音を選び、 を押す。

手順４の画面に戻ります。



補足説明

●簡易メールの着信音には、メロディを選択することはできません。

●お買い上げ時の設定

外線着信　　：「トーン１」
内線着信　　：「トーン２」
ＣＥＳ着信　　：「トーン１」
簡易メール着信：「効果音１」

●着信メロディの種類

- カルメン組曲
- シバの女王の入城
- くるみ割り人形行進曲
- 花のワルツ
- ワルキューレの騎行
- ボレロ
- アイネ・クライネ・ナハトムジーク
- 春
- 威風堂々
- クシコス・ポスト

●着信鳴り分けの優先順位

優先順位	鳴り分け機能
1	電話帳の個別着信鳴り分け
2	グループ着信鳴り分け
3	モード別着信鳴り分け

着信音量を調節する

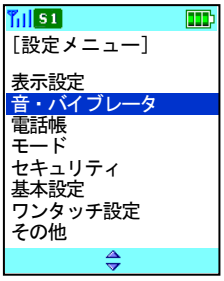
電話の着信音の大きさを調節できます。着信音量は「レベル０（着信音オフ）、レベル１（小）～レベル５（大）、」の６段階および「ステップトーン」、「ＯＦＦ→ステップ」の調節ができます。
お買い上げ時は「レベル３」に設定してあります。

その前に･･･

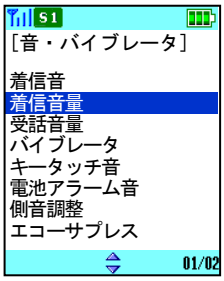
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。



3 で「着信音量」を選び、 を押す。



4 で着信音量のレベルを選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●着信中に を押すことで、着信音量を設定することもできます。電話を切った後も設定は変わりません。
●着信中に着信音量をＯＦＦにする場合は、 電源 を押すか、レベル１表示画面で を２秒以上押します。
●着信音量をレベル０（着信音オフ）に設定した場合、待ち受け画面の下に「S」が表示されます。
●ステップトーン：着信音量レベル１から３秒毎に１段階ずつ音量が大きくなります。
●ＯＦＦ→ステップ:着信音量レベル０から９秒間サイレント着信後、３秒毎に１段階ずつ音量が大きくなります。

受話音量を調節する

通話相手の声の大きさを調節できます。お買い上げ時は、「レベル２」に設定してあります。

その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

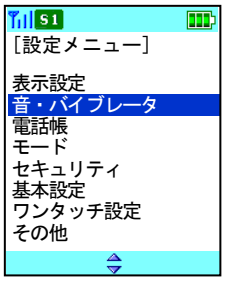
通話中／発信中に受話音量を調節する

1 発信中または通話中に を押し、受話音量を調節します。

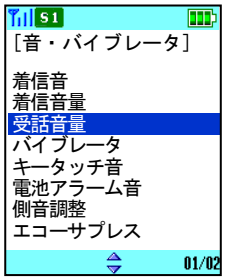
待ち受け中に受話音量を調節する

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。



3 で「受話音量」を選び、 を押す。



4 で受話音量のレベルを選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●発信中・通話中に受話音量を変えた場合、電話を切ったあとでも設定は変わりません。また、電源を切っても設定は変わりません。
●留守録・メモ録音を再生中も を押すことで音量を変えることができます。

バイブレータを設定する

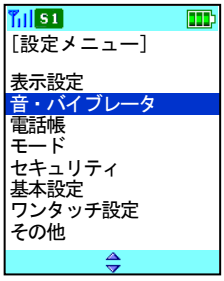
電話がかかってきたときに、バイブレータでお知らせするように設定することができます。
お買い上げ時には、「なし」に設定されています。

その前に･･･

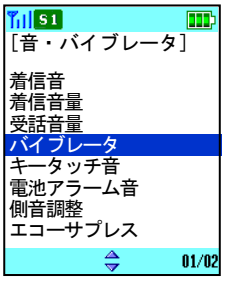
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。

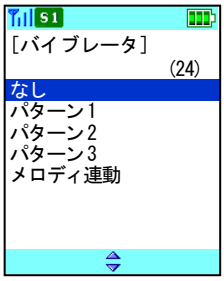


3 で「バイブレータ」を選び、 を押す。



4 でパターンを選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●バイブレータの設定は、「なし」、「パターン１～３」、「メロディ連動」の５種類から選択できます。
●マナーモード設定中（１３３ページ）は、バイブレータ設定「なし」でもバイブレータ着信（パターン２）となります。マナーモード解除中のみ、バイブレータ設定「なし」機能が有効となります。
●バイブレータの振動する間隔は次のとおりです。
パターン１　：約 0.25 秒
パターン２　：約 0.75 秒
パターン３　：連続
メロディ連動：メロディに連動

●バイブレータが振動する設定にしているときは、待ち受け中または着信中の画面の下にピクト（ ）が表示されます。なお、着信音が「着信音なし」に設定されている場合で、バイブレータを「メロディ連動」に設定しているとバイブレータは作動しません。
●充電器に置いてあるときは、バイブレータは作動しません。

キータッチ音が鳴らないようにする

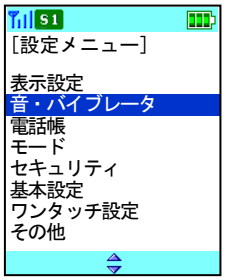
ボタンを押したときの確認音を鳴らさないようにすることができます。
お買い上げ時には、「キータッチ音あり」に設定されています。

その前に･･･

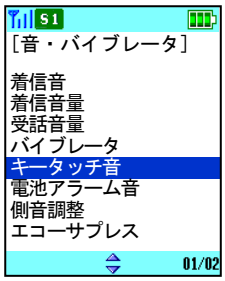
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。

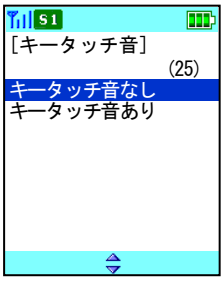


3 で「キータッチ音」を選び、 を押す。



4 で「キータッチ音なし」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●キータッチ音が鳴るようにするには、手順４で「キータッチ音あり」を選びます。
●マナーモードを設定している場合は「キータッチ音あり」に設定していてもキータッチ音は鳴りません。

電池アラーム音が鳴らないようにする

電池の残量がなくなる前に、警報音を鳴らしてお知らせします。電池アラーム音が鳴らない設定になっているときは、表示部のメッセージだけでお知らせします。お買い上げ時には、「アラーム音あり」に設定されています。

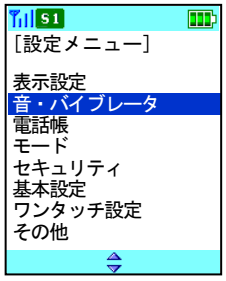
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

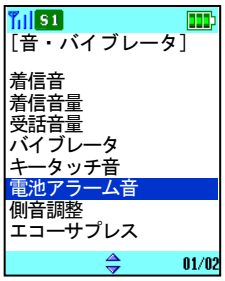
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。

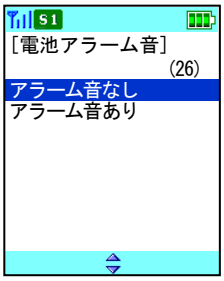


3 で「電池アラーム音」を選び、 を押す。



4 で「アラーム音なし」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



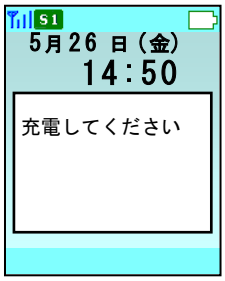
補足説明

●電池アラーム音が鳴るようにするには、手順４で「アラーム音あり」を選びます。

●通話中に電池切れになった場合は、レシーバより警報音（ピピピッ）が聞こえ、約１分後に通話が切断されます。

●マナーモードを設定している場合は電池アラーム音は鳴りません。

●電池切れになった場合は、電池ピクトが点滅し、右記画面が表示されます。



側音を調整する

通話中にざわざわする音が聞こえて話しづらくなる場合、または、自分の声のはね返りが大きい場合は側音調整を設定することにより、相手の方の声が聞きやすくなります。お買い上げ時には、「側音 3」に設定されています。

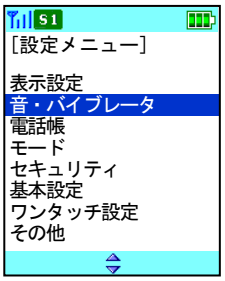
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

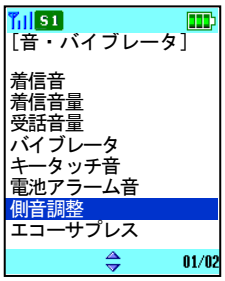
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。

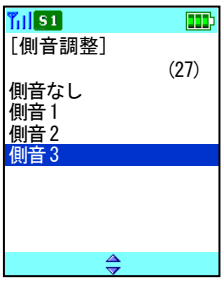


3 で「側音調整」を選び、 を押す。



4 で側音のレベルを選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



エコーサプレスを設定する

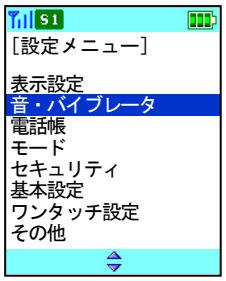
通話中に受話口から自分の声が少し遅れて聞こえ、お話ししづらくなる場合があります。このような時は、電話をかける前にエコーサプレスを「機能あり」に設定すると、お話ししやすくなります。
お買い上げ時には、「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

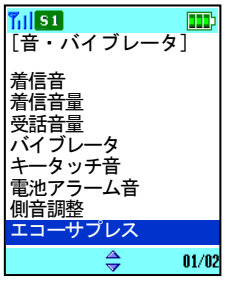
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。

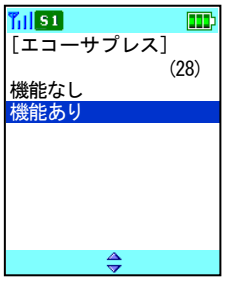


3 で「エコーサプレス」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

エコーサプレスの設定を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

ハンドオーバ音が鳴らないようにする

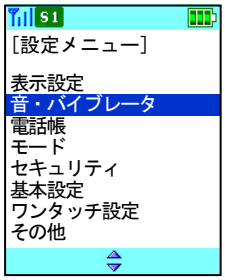
通話中に電波状態の悪化を検出し、電波状態のよい接続装置に切り替える時に「プップップ」というハンドオーバ音が聞こえることがありますが、このハンドオーバ音を鳴らすか鳴らさないかを設定することができます。
お買い上げ時には、「ハンドオーバ音あり」に設定されています。

その前に･･･

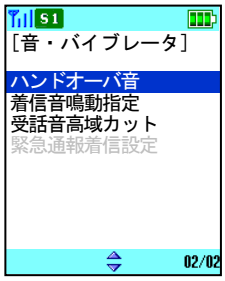
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。

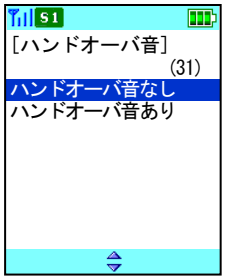


3 で「ハンドオーバ音」を選び、 を押す。



4 で「ハンドオーバ音なし」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

ハンドオーバ音が鳴るようにするには、手順４で「ハンドオーバ音あり」を選びます。

着信音の鳴動先を設定する

ヘッドセット（別売り）を使っているときは、着信音、キータッチ音や電池アラーム音をヘッドセットからのみ鳴るように設定することができます。お買い上げ時は「スピーカ」に設定されています。

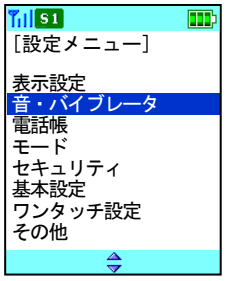
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

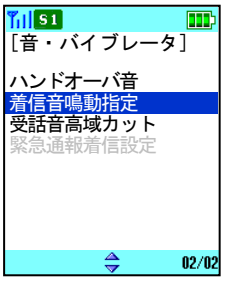
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。

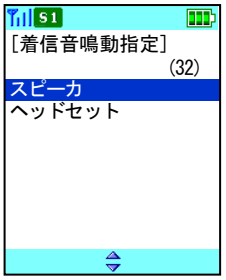


3 で「着信音鳴動指定」を選び、 を押す。



4 で着信音鳴動指定の「スピーカ」または「ヘッドセット」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●着信音鳴動指定を「ヘッドセット」に設定しているときで、ヘッドセットが未接続時には、着信音・キータッチ音・警報音は鳴りません。

●着信音鳴動指定を「ヘッドセット」に設定しているときは、待ち受け画面の下側にピクト（ ）が表示されます。

受話音高域カット機能を設定する

通話中にキンキンするような音が聞こえて話しづらくなる場合は、受話音高域カット機能を設定することにより、相手の方の声が聞きやすくなります。お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

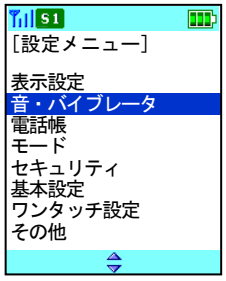
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

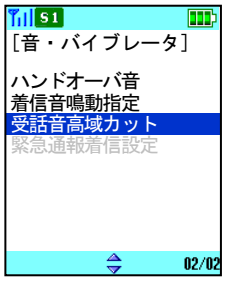
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「音・バイブレータ」を選び、 を押す。



3 で「受話音高域カット」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

受話音高域カット機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

自営システムを切り替える

システム番号が２つ登録されているとき使用するシステムを選択することができます。

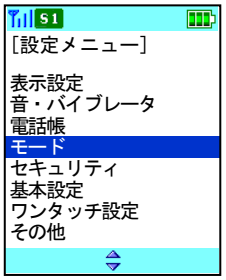
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

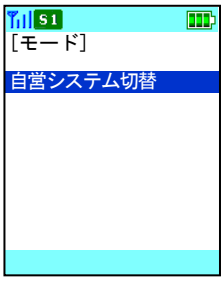
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「モード」を選び、 を押す。

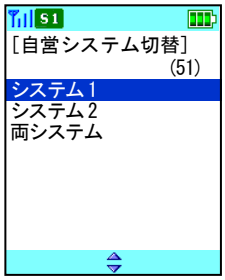


3 を押す。



4 で自営システムの「システム１」、「システム２」または「両システム」を選び、 を押す。

システムを変更した場合は自動的にリセットし、選択したシステムで起動します。



補足説明

●「両システム」を選択した場合は、使用しているシステムが圏外状態となった場合に、自動的にもう一方のシステムを検索します。

●事業所間ローミング機能を使用する場合は、「システム１」に設定してください。

パスワードを変更する

電話をかけられないようにしたり、設定した機能を初期化する場合はパスワードが必要になります。
お買い上げ時には、パスワード「００００」が設定されています。

パスワードが必要な操作

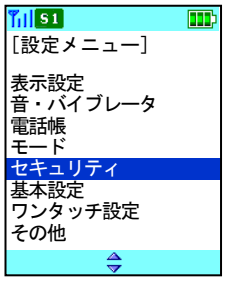
- パスワード変更⇒「パスワードを変更する」（１０７ページ）
- ダイヤルロック⇒「ダイヤルロックを設定する」（１０９ページ）
- 機能初期化⇒「機能設定のみを初期化する」（１１３ページ）
- 電話帳アクセス禁止⇒「電話帳へのアクセスを禁止する」（５８ページ）
- リモートロック⇒「リモートロックを設定する」（１１０ページ）
- オートロック⇒「オートロックを設定する」（１１１ページ）
- 全初期化⇒「電話帳などすべての設定を初期化する」（１１４ページ）

その前に･･･

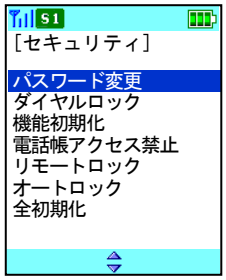
●パスワードとして使えるのは４桁の数字だけです。
●途中で操作を中止するときは（電源）を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。
●パスワードは確認することができません。お忘れにならないようにご注意ください。万が一お忘れになったときは、お買い求めになった販売店などへご相談ください。

1 を押し、で「設定」を選び、を押す。

2 で「セキュリティ」を選び、を押す。

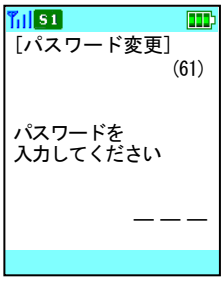


3 で「パスワード変更」を選び、を押す。



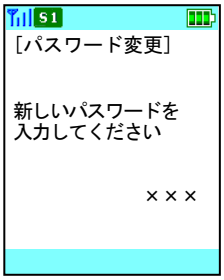
4 ダイヤルボタンで、現在のパスワードを入力する。

４桁目は表示されません。



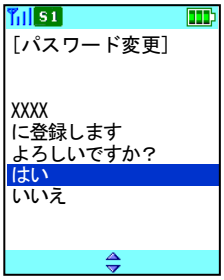
5 新しいパスワードを入力する。

４桁目は表示されません。



6 パスワードを確認し、を押す。

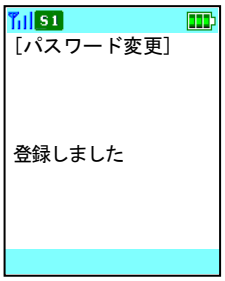
「いいえ」を選ぶと、手順３の画面に戻ります。



パスワードを変更する（つづき）

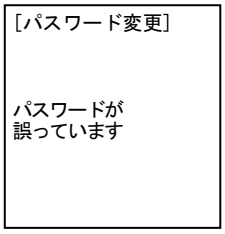
7 パスワード登録が完了しました。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●手順４でパスワードを間違えて入力した場合、右記画面を表示し、約２秒後に手順３の画面に戻ります。



ダイヤルロックを設定する

他の人に使われないようにするときなど、電話をかけられないようにすることができます。ダイヤルロックを設定しているときでも、電話を受けることはできます。お買い上げ時は、「ロックしない」に設定されています。

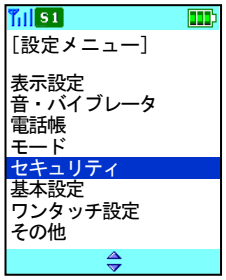
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

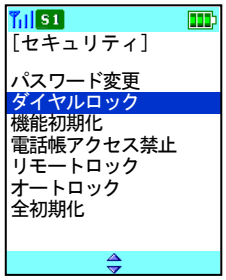
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「セキュリティ」を選び、 を押す。

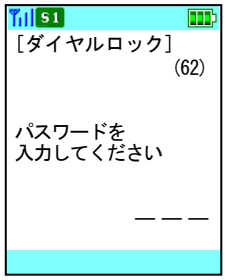


3 で「ダイヤルロック」を選び、 を押す。



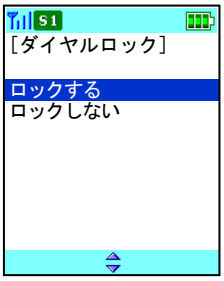
4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

４桁目は表示されません。パスワードを間違えて入力した場合は「パスワードが誤っています」と表示され、手順３の画面に戻ります。



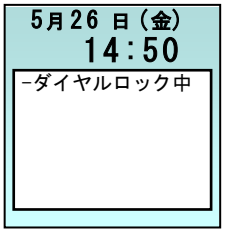
5 で「ロックする」を選び、 を押す。

「ロックしない」を選ぶと、手順３の画面に戻ります。



補足説明

●ダイヤルロック設定中は右記画面が表示されます。



●ダイヤルロックを解除する場合は、待ち受け時および通話中にパスワードを入力します。パスワードについては「パスワードを変更する」（107ページ）をご覧ください。

●待ち受け画面で ＊ を２秒以上押すと、手順４の画面になり、ダイヤルロックを設定することもできます。

●ダイヤルロック中に電源をオフ／オンしてもダイヤルロックは解除されません。

●ダイヤルロック中は下記の操作のみ有効です。
ダイヤルロック解除操作／着信応答・通話切断／着信中に 電源 でクイックサイレント／クイックサイレント中の 電源 でかけ直し応答／マナーモード設定・解除／通話中受話音量設定／電源オフ・オン／アラーム鳴動停止／通話中の保留／着信中の着信音量変更／アラーム鳴動後の 、 保留/クリア （指定時刻になったことをお知らせする画面の消去）

リモートロックを設定する

デジタルコードレス電話機を紛失した場合など、他の人に使われないように、サブアドレス機能付きの電話機から遠隔操作でダイヤルロックを設定することができます。お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

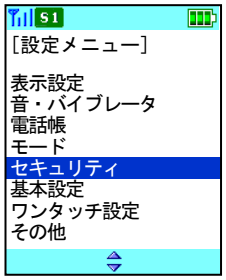
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

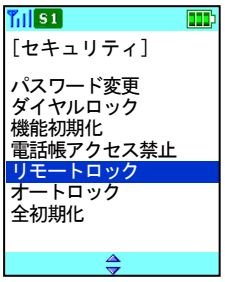
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「セキュリティ」を選び、 を押す。



3 で「リモートロック」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。

リモートロックをするには

①サブアドレス機能付きの電話機で、リモートロックをしたい電話番号をダイヤルしたあと、 ＊ を押して電話機に設定されている４桁のパスワードを入力して発信します。

②着信を受けた電話機は、ダイヤルロックの状態になります。

③リモートロックがかかると、発信者側には呼び出し中音（リングバックトーン）は聞こえずに、すぐに話中音（ビジートーン）などが流れて切断されます。

ご注意

●サブアドレス機能の付いていない電話機からは、リモートロックができません。

●ご使用のシステムによってはサブアドレスによる呼び出しができず、リモートロックができないことがあります。

●電話機が圏外や電源が入っていない場合は、本機能は設定できません。

補足説明

●リモートロック機能を解除するには手順４で「機能なし」を選びます。

●リモートロック中は、画面に「ダイヤルロック中」と表示されます。ダイヤルロックについては「ダイヤルロックを設定する」（１０９ページ）をご覧ください。

●リモートロック状態を解除するには、待ち受け時および通話中にパスワードを入力します。パスワードについては「パスワードを変更する」（１０７ページ）をご覧ください。

オートロックを設定する

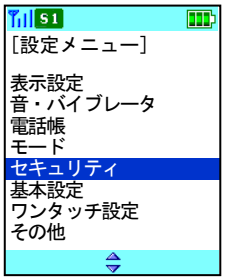
一定時間何も操作がないときに自動的にダイヤルロックをかけることができます。
お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

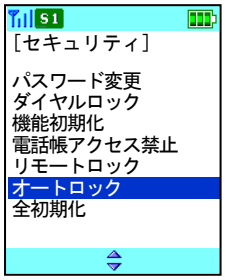
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「セキュリティ」を選び、 を押す。

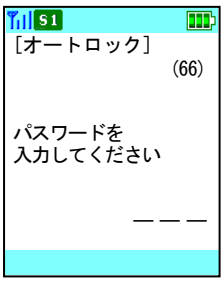


3 で「オートロック」を選び、 を押す。

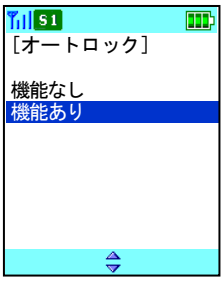


4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

４桁目は表示されません。パスワードを間違えて入力した場合は「パスワードが誤っています」と表示され、手順３の画面に戻ります。

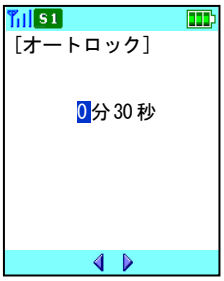


5 で「機能あり」を選び、 を押す。



6 ダイヤルボタンで時間を入力し、 を押す。

分は０～９です。秒は１０～５０です（１０の位のみ変更可能です）。
設定されると手順３の画面に戻ります。



補足説明

●指定の時間が過ぎると画面に「ダイヤルロック中」と表示されます。ダイヤルロックについては「ダイヤルロックを設定する」（１０９ページ）をご覧ください。
●オートロック機能を解除するには、手順５で「機能なし」を選びます。
●パスワードについては「パスワードを変更する」（107ページ）をご覧ください。
●キーロック中にオートロックがかかると、キーロックは解除されダイヤルロック状態になります。キーロックについては「キーロックを設定する」（１１２ページ）をご覧ください。

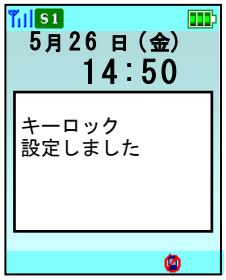
キーロックを設定する

持ち運ぶときなどに誤ってボタンが押され、知らない間に動作することがないようにキーロックを設定することができます。

その前に･･･

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 待ち受け中に を２秒以上押す。



キーロックを設定すると、画面の下側にピクト（ ）を表示します。

補足説明

●キーロックを解除するには、 を２秒以上押します。「キーロック解除しました」と表示され、キーロックが解除されます。

●キーロック中に電源をオフ／オンしてもキーロックは解除されません。

●キーロック中は下記の操作のみ有効です。
キーロック解除操作／着信応答・通話切断／着信中に 電源 でクイックサイレント／クイックサイレント中に 電源 でかけ直し応答／通話中操作／着信中の着信音量設定／電源オフ・オン／アラーム鳴動停止／通話中の保留／アラーム鳴動後の 、 保留／クリア （指定時刻になったことをお知らせする画面の消去）

いろいろな機能の設定内容を初期化する

機能設定や、電話帳などメモリに保存されている内容を初期化することができます。機能設定のみ初期化する方法（機能初期化）と、機能設定および電話帳などメモリに保存されている内容すべてを初期化する方法（全初期化）があります。
初期化される内容は機能初期化および全初期化対象項目表（１１５ページ）をご覧ください。

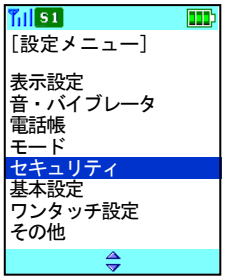
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

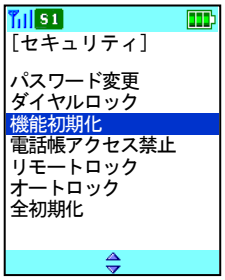
機能設定のみを初期化する

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「セキュリティ」を選び、 を押す。

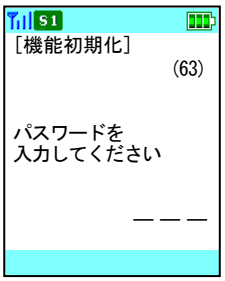


3 で「機能初期化」を選び、 を押す。

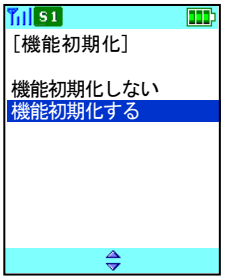


4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

４桁目は表示されません。パスワードを間違えて入力した場合は「パスワードが誤っています」と表示され、手順３の画面に戻ります。

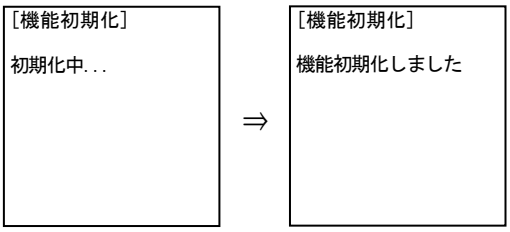


5 で「機能初期化する」を選び、 を押す。



補足説明

機能初期化をすると右記画面が表示され、その後、手順３の画面に戻ります。

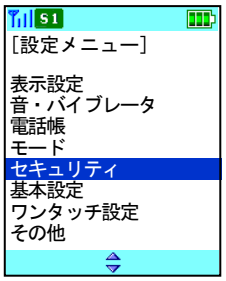


いろいろな機能の設定内容を初期化する（つづき）

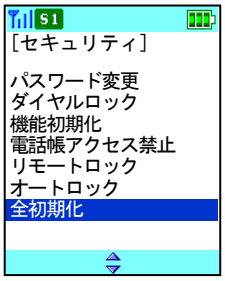
電話帳などすべての設定を初期化する

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「セキュリティ」を選び、 を押す。

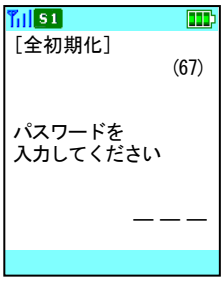


3 で「全初期化」を選び、 を押す。

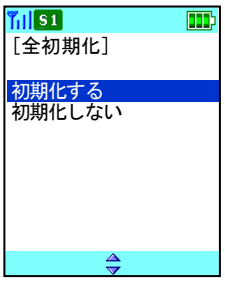


4 ダイヤルボタンでパスワードを入力する。

4 桁目は表示されません。パスワードを間違えて入力した場合は「パスワードが誤っています」と表示され、手順 3 の画面に戻ります。

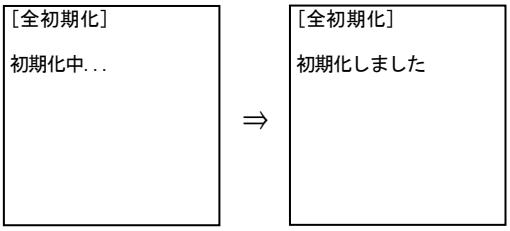


5 で「初期化する」を選び、 を押す。



補足説明

「初期化する」を選択した場合、下記画面が表示された後、自動的にリセットします。



いろいろな機能の設定内容を初期化する（つづき）

各設定内容における、機能初期化および全初期化対象項目およびその初期値は下記のとおりです。

初期化対象項目表

設定メニュー	設定内容		機能初期化対象項目	全初期化対象項目	初期値
表示設定	待受画面設定		○	○	なし
	明るさ調整		○	○	レベル１
	内線番号表示		○	○	表示なし
	使用者名称		○	○	表示なし
	表示文字拡大		○	○	機能なし
	切断理由表示		○	○	機能なし
	不在着信表示		○	○	機能あり
音・バイブレータ	着信音	外線着信音	○	○	トーン１
		内線着信音	○	○	トーン２
		CES 着信音	○	○	トーン１
		簡易メール着信音	○	○	効果音１
	着信音量		○	○	レベル３
	受話音量		○	○	レベル２
	バイブレータ		○	○	なし
	キータッチ音		○	○	キータッチ音あり
	電池アラーム音		○	○	アラーム音あり
	側音調整		○	○	側音３
	エコーサプレス		○	○	機能なし
	ハンドオーバ音		○	○	ハンドオーバ音あり
	着信音鳴動指定		○	○	スピーカ
	受話音高域カット		○	○	機能なし
電話帳	電話帳登録件数		×	○	0 件/1000 件
	名称編集		×	○	グループ０１～１０
	グループ着信音		×	○	設定なし
	グループ着信色		×	○	色パターン１
モード	自営システム切替		×	×	システム１ （または、システム２）

いろいろな機能の設定内容を初期化する（つづき）

初期化対象項目表

設定メニュー	設定内容	機能初期化対象項目	全初期化対象項目	初期値
セキュリティ	パスワード変更	×	○	００００
	ダイヤルロック	―	―	ロックしない
	機能初期化	―	―	―
	電話帳アクセス禁止	×	○	機能なし
	リモートロック	×	○	機能なし
	オートロック	×	○	機能なし
	全初期化	―	―	―
基本設定	時刻設定	×	○	2000 年 00 月 00 日 00 時 00 分
	エコ充電	×	○	機能なし
	自局番号表示	―	―	―
ワンタッチ設定	ワンタッチ割付設定	×	○	機能なし
その他	ISDN サブアドレス	○	○	機能なし
	クイック応答	○	○	機能なし
	クイック発信	○	○	機能なし
	着信自動応答	○	○	機能なし
	送信パワーダウン	○	○	機能なし
	リモートスイッチ	○	○	機能なし
	特番設定	○	○	0
	メール送信 BOX	○	○	上書き禁止
	クイックダイヤル	○	○	機能なし
	かけ直し応答	○	○	機能あり
	設定内容確認	―	―	―
ツール	電卓	―	―	―
	時刻アラーム	×	○	機能なし
	予約アラーム	×	○	なし
留守	留守録設定	○	○	機能なし
	録音データ	○	○	なし
簡易メール	受信 BOX	×	○	なし
	送信 BOX	×	○	なし
履歴	発信履歴	×	○	なし
	着信履歴	×	○	なし
―	マナーモード	○	○	機能 OFF
―	キーロック	―	―	―

時刻を設定する

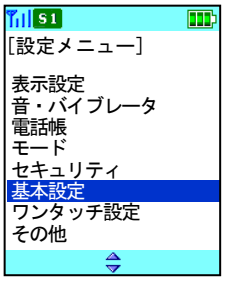
電話機に日付および時刻を設定することができます。
お買い上げ時には、日付および時刻は設定されていません。

その前に･･･

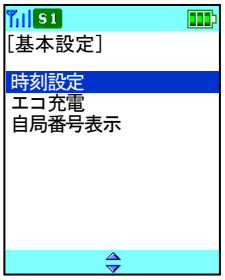
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「基本設定」を選び、 を押す。

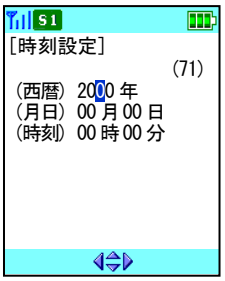


3 で「時刻設定」を選び、 を押す。



4 ダイヤルボタンで(西暦)(月日)(時刻)を入力し、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



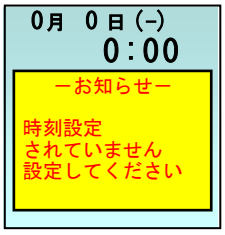
補足説明

●時刻は 24 時間制で表示します。
●日時を設定するときの入力有効値は次のとおりです。

西暦：2000～2099（下 2 桁のみ入力）
月　：01～12
日　：01～31
時　：00～23
分　：00～59

●日時を設定していないときは時刻は更新されません。

●初期値は 2000 年 00 月 00 日　（－）曜日　00 時 00 分です。時刻を設定しないときや、電池パックを交換した後で電源をオンした場合には、右記画面が表示されます。保留/クリア を押すと、待ち受け画面に戻ります。



●通話中に時刻設定することもできます。通話中に を押し、「通話中メニュー」を表示させ、 で「時刻設定」を選び、 を押します。

エコ充電機能を設定する

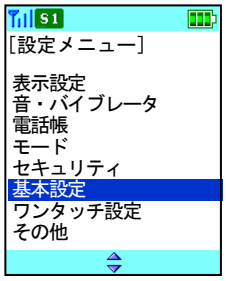
電池残量が少ない時のみ充電する設定にすることによって、充電による商用電源（ＡＣ１００Ｖ）の消費電力を低減することができます。
お買い上げ時には、「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

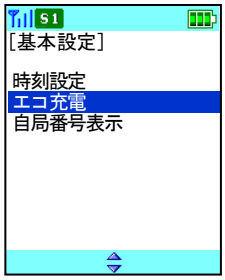
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に、電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「基本設定」を選び、 を押す。

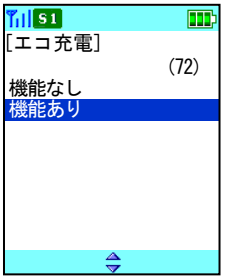


3 で「エコ充電」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。設定すると、待ち受け中の画面下側に、「 ECO 」が表示されます。



補足説明

●エコ充電機能は、電話機の電源が入っていない状態では作動しません。
●エコ充電機能を「機能なし」に設定する場合は、手順４で「機能なし」を選びます。
●エコ充電機能を「機能あり」に設定した場合の、充電開始時での連続通話時間および連続待ち受け時間は下記の通りです。

連続通話時間　　：約 30 分
連続待ち受け時間：約 90 分

※上記はあくまでも目安です。使用環境および電池パックの使用状態により、連続通話時間および連続待ち受け時間は異なる場合があります。

自分の内線番号を確認する

自分の内線番号を、待ち受け中・通話中に確認することができます。

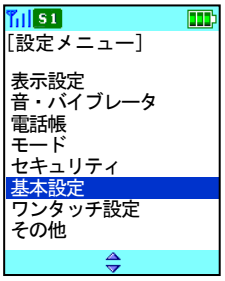
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

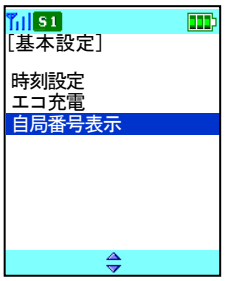
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「基本設定」を選び、 を押す。

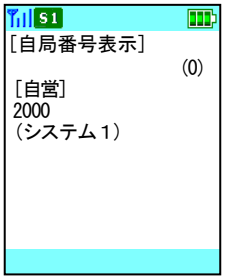


3 で「自局番号表示」を選び、 を押す。



4 自局番号を確認する。

電源 を押すと、待ち受け画面に戻ります。



補足説明

●内線番号は、現在起動しているシステム側のみを表示します（自営システム設定については「自営システムを切り替える」（１０６ページ）をご覧ください）。

●通話中に自分の内線番号などを確認するときは、 を押し、「通話中メニュー」を表示させ、 で「自局番号表示」を選び、 を押します。

ワンタッチ割付設定をする

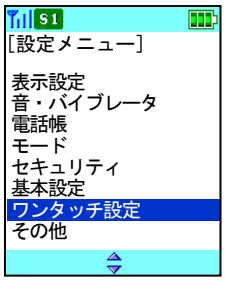
ワンタッチキー（1～8）にクイックダイヤル機能を設定することができます。

その前に･･･

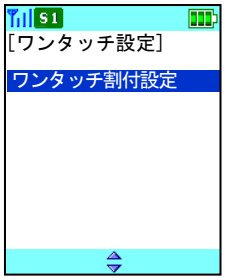
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

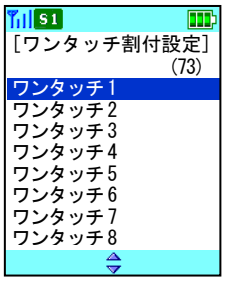
2 で「ワンタッチ設定」を選び、 を押す。



3 で「ワンタッチ設定」を選び、 を押す。

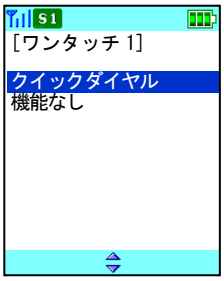


4 で設定するワンタッチ番号を選び、を選び、 を押す。



5 でクイックダイヤルを選び、 を押す。

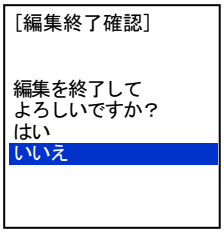
「機能なし」を選択した場合、手順４に戻ります。



6 ダイヤルボタンで番号を入力し、 を を押す。

補足説明

●手順４で「クイックダイヤル」を選択した場合、登録されている番号が表示されます。
●手順４で「機能なし」を選択した場合でも、登録されている番号は保持されます。
●手順５で 電源 を押すと、編集終了の確認画面が表示されます。



サブアドレス付き発信を可能にする

ＩＳＤＮ回線は１つの回線に複数の端末を接続できます。このため、ＩＳＤＮ端末には通常の電話番号に加えて端末独自の番号を設定できます。この番号を「サブアドレス」といいます。相手先電話番号をダイヤル後、＊を押して「サブアドレス」をダイヤルすることで、希望する端末だけを呼び出せます。ＩＳＤＮ端末にダイヤル（サブアドレス付き発信）するときは、あらかじめ「ＩＳＤＮサブアドレス」を「機能あり」に設定しておく必要があります。お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

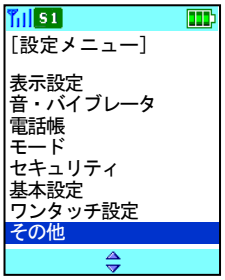
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

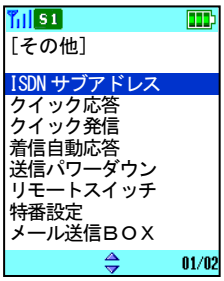
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。



3 で「ＩＳＤＮサブアドレス」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

ＩＳＤＮサブアドレス機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

クイック応答機能を設定する

クイック応答を使えるように設定できます。クイック応答を使えるようにすると、充電器に電話機を置いているときは、着信時に充電器から取り上げただけで電話を受けることができます。また、お話しが終了した後、電話機を充電器に置くだけで電話が切れます（クイック終話）。お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

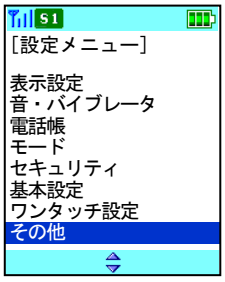
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

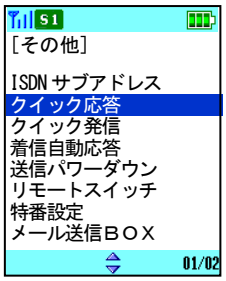
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。

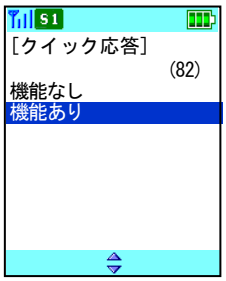


3 で「クイック応答」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

クイック応答機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

クイック発信機能を設定する

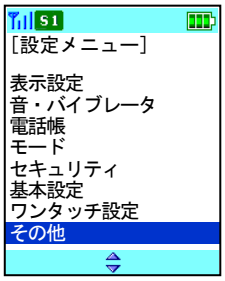
クイック発信を設定すると、電話機を充電器から上げるだけで、発信を行うことができます。
お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

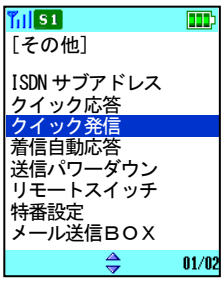
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。



3 で「クイック発信」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●お話しが終了した後、必ず 電源 を押して電話を切ってください。電話機を充電器の上に置いても通話中の状態が継続します。
●クイック発信機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

着信自動応答を設定する

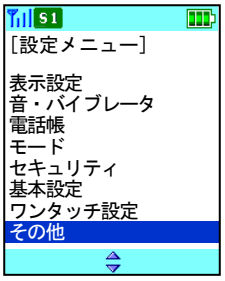
電話がかかってきたとき、着信音を約３秒間鳴らして、自動的に電話に応答することができます。
お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

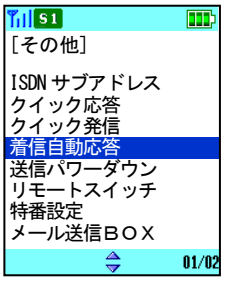
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。

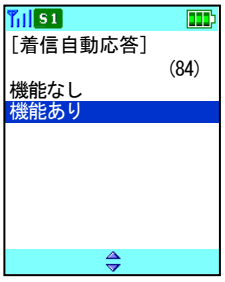


3 で「着信自動応答」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●着信自動応答を「機能あり」に設定しているときは、留守録応答は動作しません（留守録応答については「留守録を設定する」（８３ページ）をご覧ください）。
●着信自動応答機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

送信パワーダウンを設定する

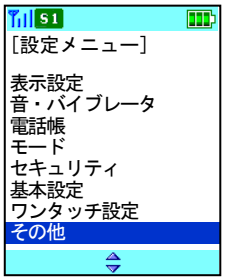
使用する環境に合わせて電波の出力を抑えることができます。お買い上げ時は「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

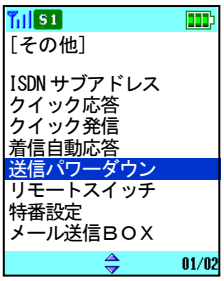
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。



3 で「送信パワーダウン」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。

補足説明

●送信パワーダウンを「機能あり」に設定すると、接続装置からの距離が近くても、通話が途切れたり圏外になったりすることがあります。
●送信パワーダウンを「機能あり」に設定しているときは、待ち受け画面の上側にピクト（ ）が表示されます。
●送信パワーダウン機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

リモート発信を設定する

ヘッドセットアダプタ（別売り）使用時にアダプタのスイッチを押すと、電話帳のメモリ番号「０００」に登録されている番号に発信します。お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

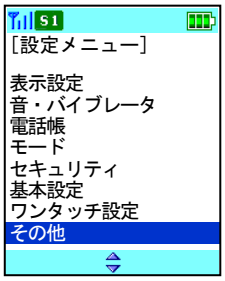
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

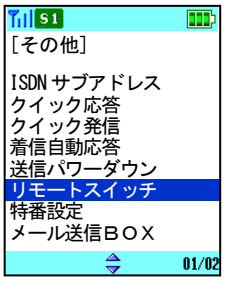
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。

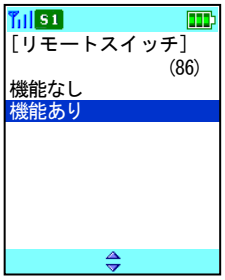


3 で「リモートスイッチ」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

リモート発信機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。

特番を設定する

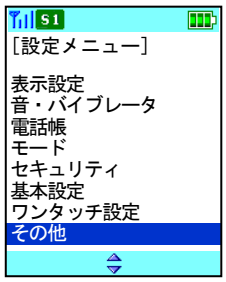
電話機に特番を登録することができ、プリセットダイヤル発信（電話帳または発信／着信履歴表示）画面で、保留/クリアを２秒以上長押しするたびに、表示されている電話番号の先頭に特番を付加／解除をすることができます。
お買い上げ時は、「０」に設定されています。

その前に･･･

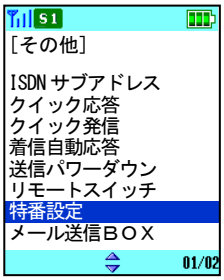
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。

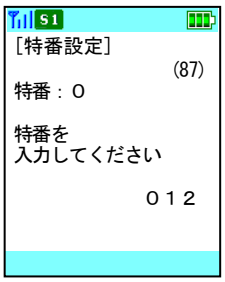


3 で「特番設定」を選び、 を押す。



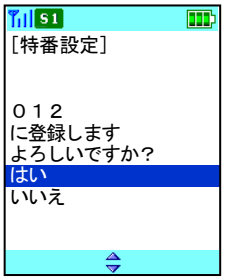
4 ダイヤルキーで特番を入力し、 を押す。

特番は６桁まで入力することができます。



5 で「はい」を選び、 を押す。

設定されると「登録しました」と表示され、手順３の画面に戻ります。



補足説明

●特番＋ダイヤル桁数は最大２４桁までです。２４桁を超える場合は、特番の付加操作が無効になります。
●特番の付加／解除は、発信中はできません。

ワンタッチ発信ができるようにする

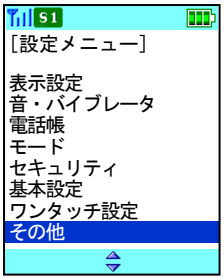
クイックダイヤルを登録したワンタッチキーで、ワンタッチ発信ができるように設定することができます。
お買い上げ時は、「機能なし」に設定されています。

その前に･･･

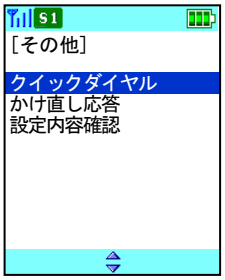
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。

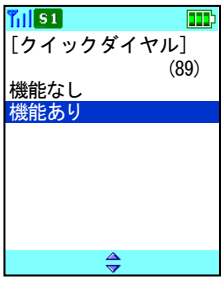


3 で「クイックダイヤル」を選び、 を押す。



4 で「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●クイックダイヤル機能を解除するには、手順４で「機能なし」を選びます。
●ワンタッチキーへのクイックダイヤル登録については「ワンタッチ割付設定をする」（１２０ページ）をご覧ください。

かけ直し応答機能を設定する

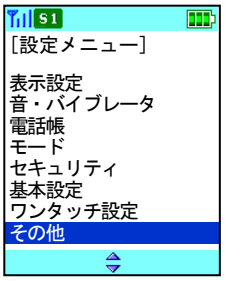
着信中に応答できない場合、応答メッセージ（ただいま電話に出ることができません。後ほどおかけ直しください）を送出して相手に知らせる機能を設定することができます。
お買い上げ時は、「機能あり」（送出する）に設定されています。

その前に･･･

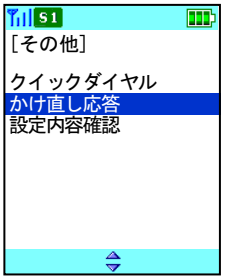
●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

2 で「その他」を選び、 を押す。

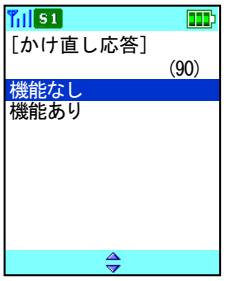


3 で「かけ直し応答」を選び、 を押す。



4 で「機能なし」または「機能あり」を選び、 を押す。

手順３の画面に戻ります。



補足説明

●「機能あり」に設定されているときの着信時の操作の方法は「かけ直し応答」（３５ページ）をご覧ください。
●応答メッセージを送出しないようにするには、手順４で「機能なし」を選択してください。
●本操作で応答メッセージを送出した後、自動切断します。
●ダイヤルインなどの外線からの着信の場合は応答メッセージを送出するため、相手側に通話料金がかかります。

設定内容を確認する

いろいろな機能の設定内容を確認することができます。

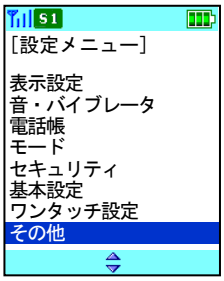
その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。

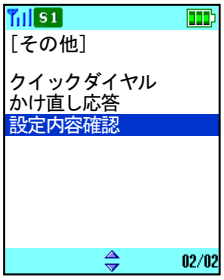
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 を押し、 で「設定」を選び、 を押す。

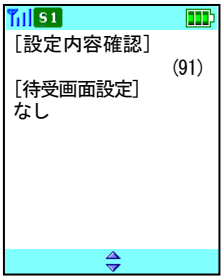
2 で「その他」を選び、 を押す。



3 で「設定内容確認」を選び、 を押す。



4 で設定内容を確認します。



設定内容を確認する（つづき）

表示とその意味

設定項目	意味	表示内容
待受画面設定	待ち受け画面の種類を示します。	なし/画面 1～画面 3/カレンダー
明るさ調整	画面の明るさの段階を示します。	レベル１～レベル３
内線番号表示	画面に内線番号表示の有無を示します。	表示なし/表示あり
使用者名称	待ち受け画面に使用者名称表示の有無を示します。	表示なし/表示あり
表示文字拡大	画面に表示される文字の拡大の有無を示します。	機能なし/機能あり
切断理由表示	通話中に切断したときの理由表示の有無を示します。	機能なし/機能あり
不在着信表示	着信に出られなかったときの不在表示の有無を示します。	機能なし/機能あり
外線着信音	外線着信音の種類を示します。	トーン 1～トーン 5/効果音 1～効果音 5/ｶﾙﾒﾝ組曲/ｼﾊﾞの女王の入城/くるみ割り人形行進曲/花のﾜﾙﾂ/ﾜﾙｷｭｰﾚの騎行/ﾎﾞﾚﾛ/ｱｲﾈ･ｸﾗｲﾈ･ﾅﾊﾄﾑｼﾞｰｸ/春/威風堂々/ｸｼｺｽ･ﾎﾟｽﾄ/着信音なし
内線着信音	内線着信音の種類を示します。	
CES 着信音	CES 着信音の種類を示します。	
簡易メール着信音	簡易メール着信音の種類を示します。	トーン 1～トーン 5/効果音 1～効果音 5/着信音なし
着信音量	着信音量の段階を示します。	レベル０～レベル 5/ステップトーン/ＯＦＦ→ステップ
受話音量	受話音量の段階を示します。	レベル 1～レベル 5
バイブレータ	バイブレータの種類を示します。	なし/パターン１～パターン３/メロディ連動
キータッチ音	キータッチ音の有無を示します。	キータッチ音なし/キータッチ音あり
電池アラーム音	電池アラーム音の有無を示します。	アラーム音なし/アラーム音あり
側音調整	側音の段階を示します。	側音なし/側音 1～側音３
エコーサプレス	エコーサプレスの有無を示します。	機能なし/機能あり
ハンドオーバ音	ハンドオーバ音の有無を示します。	ハンドオーバ音なし/ハンドオーバ音あり
着信音鳴動指定	着信音の鳴動先を示します。	スピーカ/ヘッドセット
受話音高域カット	受話音高域カットの有無を示します。	機能なし/機能あり

設定内容を確認する（つづき）

表示とその意味（つづき）

グループ01	電話帳グループの設定状態を示します。	[グループ] グループ01～グループ10 または設定されている各グループ名称 [着信音] トーン1～トーン5/効果音1～効果音5/ｶﾙﾒﾝ組曲/ｼﾊﾞの女王の入城/くるみ割り人形行進曲/花のﾜﾙﾂ/ﾜﾙｷｭｰﾚの騎行/ﾎﾞﾚﾛ/ｱｲﾈ･ｸﾗｲﾈ･ﾅﾊﾄﾑｼﾞｰｸ/春/威風堂々/ｸｼｺｽ･ﾎﾟｽﾄ/設定なし [色パターン] 色パターン1～色パターン7
グループ02		
グループ03		
グループ04		
グループ05		
グループ06		
グループ07		
グループ08		
グループ09		
グループ10		
電話帳登録件数	電話帳の登録件数を示します。	x件／1000件
自営システム切替	運用中の自営システムを示します。	システム1/システム2/両システム
リモートロック	リモートロック機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
オートロック	オートロック機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
エコ充電	エコ充電機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
ワンタッチ割付設定	ワンタッチボタンにクイックダイヤル登録の有無を示します。	クイックダイヤル/機能なし
ISDNサブアドレス	サブアドレス付発信機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
クイック応答	着信時のクイック応答機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
クイック発信	発信時のクイック発信機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
着信自動応答	着信時の自動応答機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
送信パワーダウン	送信パワーダウン機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
リモートスイッチ	ヘッドセットアダプタによるリモートスイッチ機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
特番設定	特番の設定状態を示します。	設定されている番号
メール送信ＢＯＸ	メール送信ＢＯＸ上書きの可否を示します。	上書き禁止/上書き許可
クイックダイヤル	クイックダイヤル機能の有無を示します。	機能なし/機能あり
かけ直し応答	かけ直し応答機能の有無を示します。	機能なし/機能あり

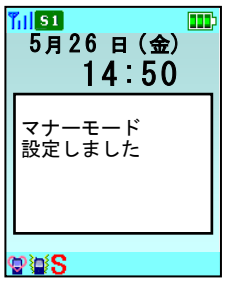
マナーモードを設定する

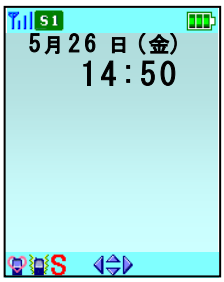
会議中などで、着信音を鳴らしたくない場合にマナーモードにしておくと、着信音を鳴らさずにバイブレータの振動で着信をお知らせすることができます。

その前に･･･

●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

1 待ち受け時に #マナー を２秒以上押す。





マナーモードを設定すると、画面の下側に（ S）が表示されます。

補足説明

●マナーモードを解除するには、待ち受け画面を表示しているときに #マナー を２秒以上押すと、「マナーモード解除しました」と表示され、マナーモードが解除されます。

●マナーモード設定中は、キータッチ音「あり」、バイブレータ着信「なし」の設定は可能ですが、キータッチ音は聞こえず、バイブレータ着信となります。マナーモードが解除されると設定した動作が有効となります。

●充電器に置いてあるときは、バイブレータは作動しません。

電卓を使う

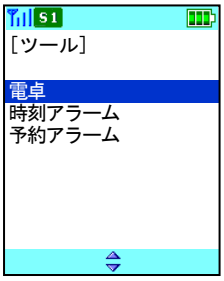
１０桁までのたし算、ひき算、かけ算、わり算ができます。

その前に･･･

●途中で操作を中止するときは 電源 を押してください。
●操作中に電話がかかってくると、それまでの操作は無効になります。電話を切ったあとで、もう一度やり直してください。

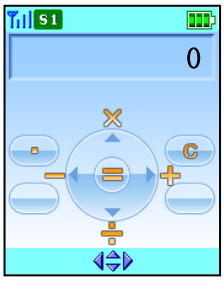
1 を押し、 で「ツール」を選び、 を押す。

2 で「電卓」を選び、 を押す。



3 計算式を入力して、 を押す。

数　　字：0 ～ 9
＋(たし算)：
－(ひき算)：
×(かけ算)：
÷(わり算)：
．(小数点)：
数字消去：保留/クリア
＝　　：



補足説明

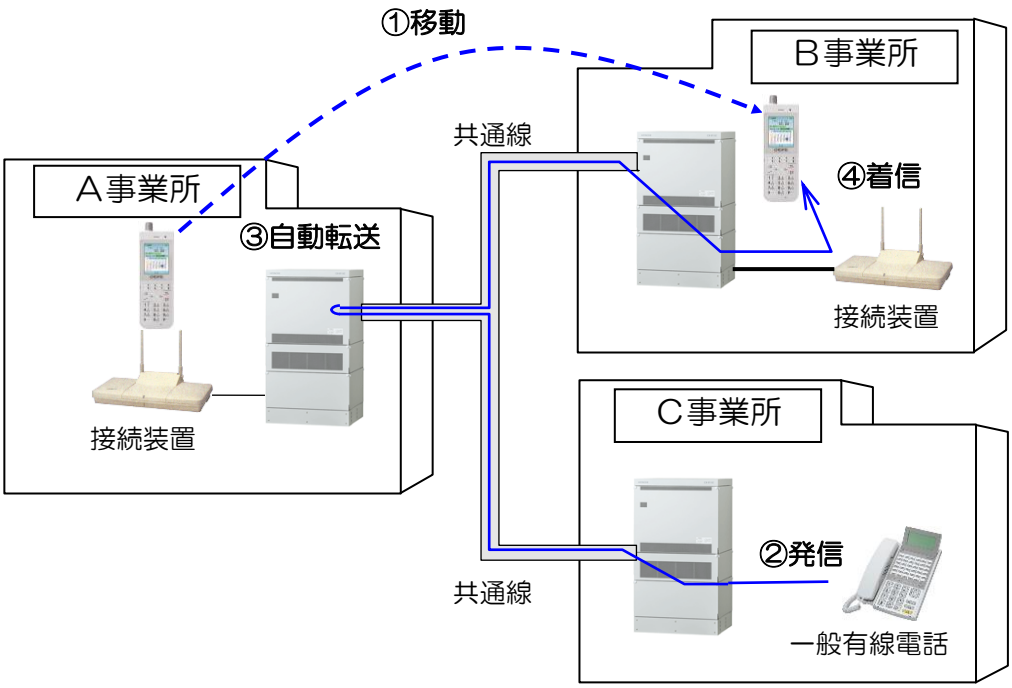
●計算結果の最大表示桁数は、10 桁までです。計算結果が 11 桁以上の場合は、右端に「E」が表示されます。
●電卓機能の操作中に着信が入ると、計算途中の内容は破棄されます。

電話機を他の事業所で使う

主装置が、共通線で結ばれている事業所は、どの事業所へ移動したときでも、デジタルコードレス電話機で電話をかけたり受けたりすることができます（事業所間ローミング機能）。事業所間を移動すると、移動先の事業所でのシステム検索に多少時間がかかることもありますので、移動先ですぐにアンテナサーチ（２８ページ）をしておくと便利です。

その前に･･･

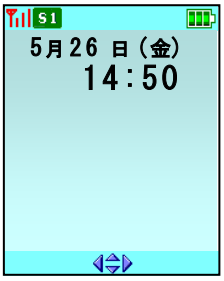
●事業所間ローミング機能が使用できるのは、自営システムが「システム１」の場合のみです。自営システムについては「自営システムを切り替える」（１０６ページ）をご覧ください。



事業所間ローミング概念図

1 他の事業所へ移動すると、移動先の事業所の主装置の電波を検索します。

2 電波を受信すると、アンテナピクトが赤く表示されます。



補足説明

●事業所間ローミングを行うには、あらかじめデジタルコードレス電話機のデータを設定するために工事が必要になります。

●お使いになっている主装置によっては、事業所間ローミングを行えないものもあります。

●使用する主装置での電波が検出されないとアンテナピクトが表示されません。

第９章

ご参考に

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。それでも直らないときは、お買い上げになった販売店などへご相談ください。

こんなときは	もういちど確認してください	参照ページ
まったく動作をしない	●電源は入っていますか？	28
	●ダイヤルロックが設定されていませんか？	109
	●キーロックが設定されていませんか？	112
	●デジタルコードレス電話機は十分に（５時間以上）充電されていますか？	25
	●電池パックは正しく取り付けられていますか？	23
	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
電話がかけられない	●電源は入っていますか？	28
	●ダイヤルロックが設定されていませんか？	109
	●キーロックが設定されていませんか？	112
	●デジタルコードレス電話機は十分に（５時間以上）充電されていますか？	25
	●電池パックは正しく取り付けられていますか？	23
	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
	●表示部に Ｙ.ｉｌｌ は表示されていますか？	18
	●クイック発信が「機能あり」に設定されていませんか？	123
	●自営システムが正しく設定されていますか？	106
	●接続装置のランプが消えていませんか？	18
	●接続装置のランプが赤く点灯、または緑の点滅をしていませんか？	18
着信音が鳴らない	●電源は入っていますか？	28
	●デジタルコードレス電話機は十分に（５時間以上）充電されていますか？	25
	●電池パックは正しく取り付けられていますか？	23
	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
	●表示部に Ｙ.ｉｌｌ は表示されていますか？	18
	●着信音が「ヘッドセット」から鳴るように設定されていませんか？	104
	●自営システムが正しく設定されていますか？	106
	●接続装置のランプが消えていませんか？	18
	●接続装置のランプが赤く点灯、または緑の点滅をしていませんか？	18
	●マナーモードを設定ＯＮにしていませんか？	133
	●着信音量をレベル０（オフ）にしていませんか？	96
通話が時々とぎれる	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
	●表示部に Ｙ.ｉｌｌ は表示されていますか？	18
	●接続装置との間に電波をさえぎる障害物はありませんか？	10
	●送信パワーダウンを「機能あり」に設定していませんか？	125
充電してもすぐに電池アラーム音が鳴り、「充電してください」と表示される	●デジタルコードレス電話機は十分に（５時間以上）充電されていますか？	25
	●デジタルコードレス電話機や充電器の充電端子が汚れていませんか？	26
	●電池パックの寿命がきていませんか？	24
	●充電器のＡＣアダプタは抜けていませんか？	25
充電中に充電ランプが点灯しない	●デジタルコードレス電話機や充電器の充電端子が汚れていませんか？	26
	●充電器のＡＣアダプタは抜けていませんか？	25
	●極端に寒いところで使用していませんか？	26
	●エコ充電が「機能あり」に設定されていませんか？	118
電池パックが温かい	●充電すると多少温度が上がりますが、故障ではありません。	-
登録や設定ができない	●電源は入っていますか？	28
	●ダイヤルロックが設定されていませんか？	109
	●キーロックが設定されていませんか？	112
	●デジタルコードレス電話機は十分に（５時間以上）充電されていますか？	25
	●電池パックは正しく取り付けられていますか？	23
	●近くに雑音を発生する機器がありませんか？	10
	●登録や設定の方法が間違っていませんか？	-

主な仕様

項目		デジタルコードレス電話機	充電器
寸法 （幅×奥行き×高さ）		約 45mm×約 17mm×約 128mm （アンテナ及び突起部を含まず）	約 64mm×約 67mm×約 62mm
質量		約 100g（電池パックを含む）	約 60g
使用電源		専用リチウムイオン電池 定格電圧 3.7V　定格容量約 720mAh	専用 AC アダプタ AC100V　50/60Hz
動作温度	非充電	0℃～50℃	―
	充電	0℃～40℃	0℃～40℃
相対湿度範囲		20%～85%	20%～85%
連続通話時間		約 7 時間	―
連続待ち受け時間		約 600 時間	―
充電完了時間		約 5 時間	―
防水仕様		IPX5／IPX7 相当	―

ご注意

●連続通話時間、連続待ち受け時間は、安定して が表示されている状態での目安です。充電状態、電波状態、周囲温度などの使用環境や、運用モード、ご使用になる機能設定によって短くなります。

●充電時間は付属の充電器を使用した場合の目安です。

●電波環境が悪くなると、通話途切れや、ノイズの混入など通話に支障をきたす場合があります。

●1 つの接続装置の近くから他の接続装置の近くに通話しながら移動するとき、接続装置の切り替えが自動的に行われます。接続装置を切り替えているときは、レシーバから「プップップ…」と聞こえます。（相手の方には聞こえません）どの接続装置からも離れてしまうと、圏外となり電話は切れてしまいます。接続装置の近くで電話をかけ直してください。通話中、移動していなくても無線回線の品質が劣化すると「プップップ…」という音が聞こえ、接続装置を切り替えます。

●電池パックは消耗品です。使用頻度により異なりますが、約 1 年程度ご使用になれます。

●充電完了時間は付属の充電器を使用した場合の目安です。

●電話機本体は防水仕様ですが、誤った使い方をすると防水性能を保てません。取扱説明書をよく読みお使いください。

現品表示について

電話機本体および個装箱には右に示すマークが記載されています。

表示の意味

［1.9-］　：1.9GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備を示します。

［P］　：デジタルコードレス電話機の無線局の種類（時分割多元接続方式狭帯域デジタルコードレス電話）を示します。

1.9-P

索引

ア　行
アラーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・72
　時刻アラーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
　予約アラーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
アンテナ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
アンテナサーチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
エコ充電・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・118
エコーサプレス・・・・・・・・・・・・・・・・・102
オートロック・・・・・・・・・・・・・・・・・・111
音量調節
　受話音量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97
　着信音量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96

カ　行
外線フッキング・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
各部の名称と働き・・・・・・・・・・・・・・・・・19
かけ直し応答・・・・・・・・・・・・・・・・35,129
簡易メール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・60
　閲覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
　削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・71
　作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
　受信ＢＯＸ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
　送信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
　送信ＢＯＸ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
　編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・67
　返信・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・65
　保護・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・68
キータッチ音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・99
キーロック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・112
機能初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
基本操作・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
クイック応答・・・・・・・・・・・・・・・・・・122
クイックサイレント機能・・・・・・・・・・・・・・35
クイック終話・・・・・・・・・・・・・・・・・・122
クイック発信・・・・・・・・・・・・・・・・・・123
グループ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
　グループ名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
　グループ着信音・・・・・・・・・・・・・・・・・48
　グループ着信色・・・・・・・・・・・・・・・・・49
圏外・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

サ　行
サブアドレス・・・・・・・・・・・・・・・・・・121
時刻アラーム・・・・・・・・・・・・・・・・・・・73
時刻設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・117
システム切替・・・・・・・・・・・・・・・・・・106
初期設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
　機能初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・113
　全初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・114
充電器・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19
充電する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25
受信ＢＯＸ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・63
受話音高域カット・・・・・・・・・・・・・・・・105
受話音量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・97
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・138
使用者名称・・・・・・・・・・・・・・・・・・・91
ステップトーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・96
ストラップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27
スピーカ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
接続装置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
切断理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・93
設定内容確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・130
全初期化・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・114
送信パワーダウン・・・・・・・・・・・・・・・・125
送信ＢＯＸ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・64
側音調整・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・101

タ　行
ダイヤルロック・・・・・・・・・・・・・・・・・109
ダイヤルボタンと文字の割り当て・・・・・・・・・・40
着信音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
　モード別着信音・・・・・・・・・・・・・・・・・95
　個別着信音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・56
　グループ着信音・・・・・・・・・・・・・・・・・48
　着信メロディ・・・・・・・・・・・・・・・・・・95
着信音鳴動先・・・・・・・・・・・・・・・・・・104
着信音量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・96
着信自動応答・・・・・・・・・・・・・・・・・・124
着信履歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
電源を入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
転送・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
電卓・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・134
電池アラーム音・・・・・・・・・・・・・・・・・100
電池残量・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26
電池パック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
　交換（取り付け）・・・・・・・・・・・・・・・・23
電話・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
　受ける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
　かける・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
　転送・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
　保留・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
電話帳・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・41
　アクセス禁止・・・・・・・・・・・・・・・・・・58
　グループ設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・47
　検索・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
　削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・57
　登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
　登録件数確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・59
　追加・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
　編集・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
　文字入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
特長・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
特番・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・127

ナ　行
内線番号確認・・・・・・・・・・・・・・・・・・119
内線番号表示・・・・・・・・・・・・・・・・・・90

索引（つづき）

ハ　行
バイブレータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・98
パスワード・・・・・・・・・・・・・・・・・・107
発信履歴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
ハンドオーバ音・・・・・・・・・・・・・・・・103
不在着信表示・・・・・・・・・・・・・・・・・94
付属品・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
ヘッドセット・・・・・・・・・・・・・・・・・104
ヘッドセットジャック・・・・・・・・・・・・・20
保留・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36

マ　行
マナーモード・・・・・・・・・・・・・・・・・133
待ち受け画面・・・・・・・・・・・・・・・・・88
メニュー一覧表・・・・・・・・・・・・・・・141
メモ録音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
　録音・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・84
　再生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85
　削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・86
目次・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
文字拡大・・・・・・・・・・・・・・・・・・・92
文字入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38

ヤ　行
予約アラーム・・・・・・・・・・・・・・・・・75
　作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・75
　修正・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・78
　登録件数確認・・・・・・・・・・・・・・・・79
　削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・80

ラ　行
リダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
リモート発信・・・・・・・・・・・・・・・・126
リモートロック・・・・・・・・・・・・・・・110
留守録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
　再生・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・85
　削除・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・86
　設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・83
連続通話時間・・・・・・・・・・・・・・・・138
連続待ち受け時間・・・・・・・・・・・・・・138
ローミング・・・・・・・・・・・・・・・・・135

ワ　行
ワンタッチ・・・・・・・・・・・・・・・・31,128

英　字
ＵＳＢコネクタ・・・・・・・・・・・・・・・・20
ＬＣＤ表示部・・・・・・・・・・・・・・・・・21

メニュー一覧表

機能	機能名称	ボタン操作	参照ページ
表示設定	待受画面設定	→ 1 → 1	88
	明るさ調整	→ 1 → 2	89
	内線番号表示	→ 1 → 3	90
	使用者名称	→ 1 → 4	91
	表示文字拡大	→ 1 → 5	92
	切断理由表示	→ 1 → 6	93
	不在着信表示	→ 1 → 7	94
音・バイブレータ	着信音	→ 2 → 1	95
	着信音量	→ 2 → 2	96
	受話音量	→ 2 → 3	97
	バイブレータ	→ 2 → 4	98
	キータッチ音	→ 2 → 5	99
	電池アラーム音	→ 2 → 6	100
	側音調整	→ 2 → 7	101
	エコーサプレス	→ 2 → 8	102
	ハンドオーバ音	→ 3 → 1	103
	着信音鳴動指定	→ 3 → 2	104
	受話音高域カット	→ 3 → 3	105
電話帳	グループ設定	→ 4 → 1	47
	電話帳登録件数	→ 4 → 2	59
モード	自営システム切替	→ 5 → 1	106
セキュリティ	パスワード変更	→ 6 → 1	107
	ダイヤルロック	→ 6 → 2 または ＊（2秒以上長押し）	109
	機能初期化	→ 6 → 3	113
	電話帳アクセス禁止	→ 6 → 4	58
	リモートロック	→ 6 → 5	110
	オートロック	→ 6 → 6	111
	全初期化	→ 6 → 7	114

メニュー一覧表（つづき）

機能	機能名称	ボタン操作	参照ページ
基本設定	時刻設定	→ 7 → 1	117
	エコ充電	→ 7 → 2	118
	自局番号表示	→ 0	119
ワンタッチ設定	ワンタッチ割付設定	→ 7 → 3	120
その他	ISDN サブアドレス	→ 8 → 1	121
	クイック応答	→ 8 → 2	122
	クイック発信	→ 8 → 3	123
	着信自動応答	→ 8 → 4	124
	送信パワーダウン	→ 8 → 5	125
	リモートスイッチ	→ 8 → 6	126
	特番設定	→ 8 → 7	127
	メール送信 BOX	→ 8 → 8	64
	クイックダイヤル	→ 8 → 9	128
	かけ直し応答	→ 9 → 0	129
	設定内容確認	→ 9 → 1	130
マナーモード	#マナー （2秒以上長押し）		133
キーロック	（2秒以上長押し）		112
アンテナサーチ	アンテナサーチ 保留/クリア （2秒以上長押し）		28